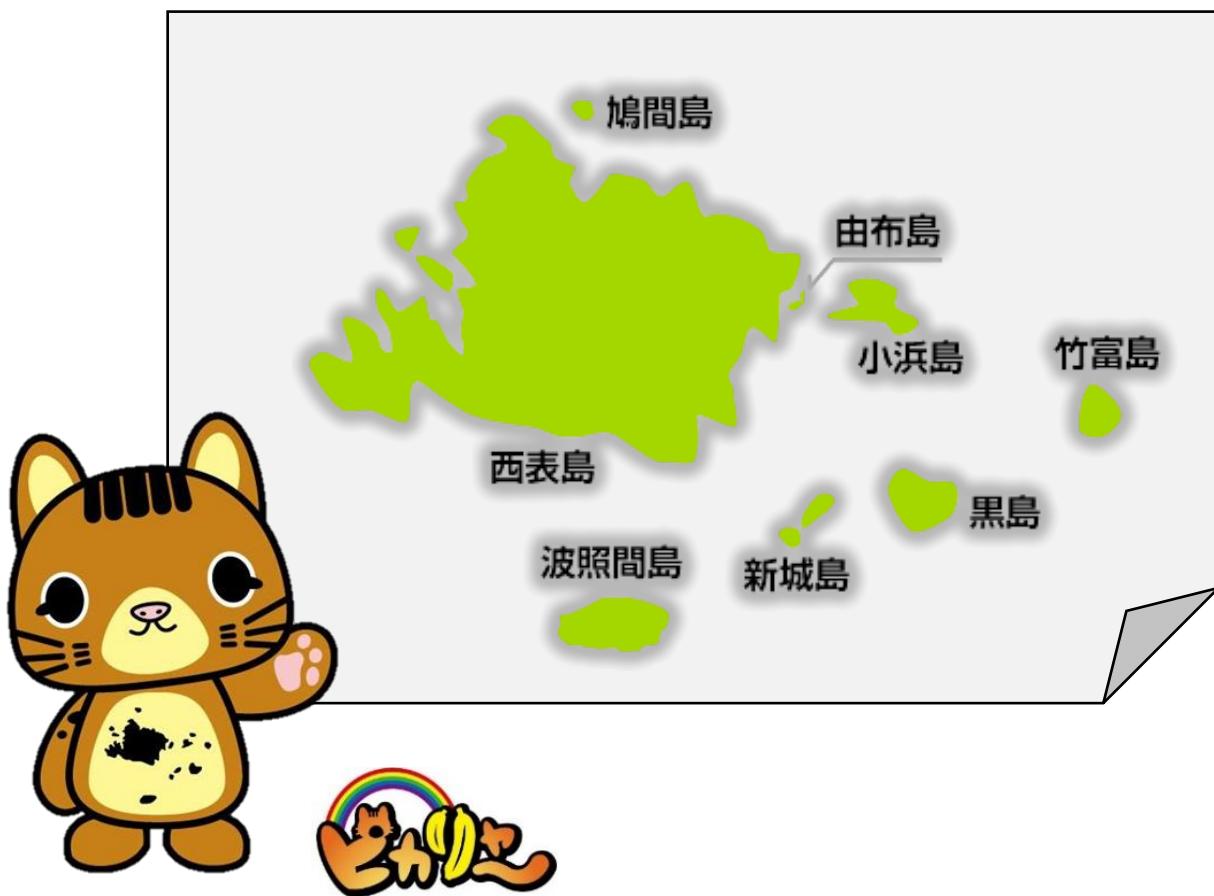


ぱいぬ島共生意識・要求調査報告書【本編】

「ぱいぬ島共生意識・要求アンケート調査」概要・結果 「ぱいぬ島“結”カフェ」報告書



平成 31 年(2019 年)4月
沖縄県 竹富町

【 目 次 】

第1章　ぱいぬ島共生意識・要求調査の概要 1

1	ぱいぬ島共生意識・要求調査の概要	3
(1)	ぱいぬ島共生意識・要求調査の目的	3
(2)	ぱいぬ島共生意識・要求調査の背景	3
(3)	ぱいぬ島共生意識・要求調査における居住地域の分類	4
2	アンケート調査の概要	6
(1)	アンケート調査の目的	6
(2)	アンケート調査の実施方針	6
3	“結”カフェの概要	7
(1)	“結”カフェの目的	7
(2)	“結”カフェの実施方針	7
4	本報告書を見る際の留意事項	8
(1)	集計方法	8
(2)	自由記入	8
(3)	その他	8

第2章　アンケート調査の結果 9

1	アンケート調査の内容	11
(1)	アンケート調査の方法	11
(2)	アンケート調査の時期	11
(3)	アンケート調査の対象者と回収率	13
(4)	アンケートの調査項目	15
2	回答者の属性	16
3	単純集計の結果	22
4	年齢別クロス集計の結果	42
5	島(地域)別クロス集計の結果	55
6	項目別・カテゴリー別分析	60
7	幸福感の比較結果	74
8	自由記入の特徴	76

第3章 “結”カフェの結果

83

1	“結”カフェの概要	85
(1)	“結”カフェの目的とねらい	85
(2)	“結”カフェの内容	85
2	“結”カフェのまとめ	86
(1)	“結”カフェでいただいた意見のまとめ	86
(2)	“結”カフェで出された島(地区)別の取り組み案	87

第4章 ぱいぬ島共生意識・要求調査のまとめ

91

1	全体のまとめ	93
2	島(地域)別のまとめ	95
3	ぱいぬ島共生意識・要求調査から見えてきた課題	98
4	今後の取り組みへの提言	99
	竹富町介護保険サービスおよび保険外サービス状況一覧	100

第1章 ぱいぬ島共生意識・要求調査の 概 要

1 ぱいぬ島共生意識・要求調査の概要

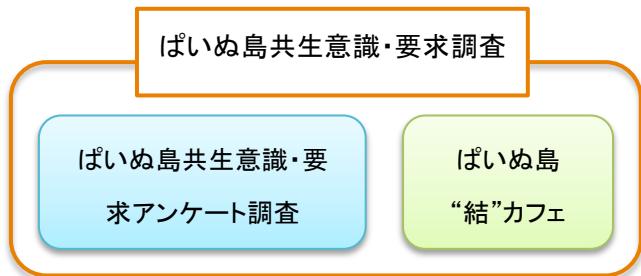
(1) ぱいぬ島共生意識・要求調査の目的

町民の福祉に関する意識と要求をつかみ、島(地域)のサービスに活かすため

ぱいぬ島共生意識・要求調査は、竹富町の介護・福祉に関する政策や計画を作成するために、町民が医療や介護についてどのように感じ、地域やご自身の「幸福」についてどのような考え方を持っているのかを調査することを目的に、沖縄県地域支えあい体制づくり推進事業の一環として竹富町福祉支援課と(一社)地域医療・福祉研究所¹が共同して実施したものです。

ぱいぬ島共生意識・要求調査は、「ぱいぬ島共生意識・要求アンケート調査」と「ぱいぬ島“結”カフェ」の2つで構成します

今回のぱいぬ島共生意識・要求調査は、「ぱいぬ島共生意識・要求アンケート調査(以下アンケート調査)」と、その調査結果の報告と論議を行うワークショップ「ぱいぬ島“結”カフェ(以下“結”カフェ)」で構成します。2つのとりくみを通じて、島(地域)ごとに必要な医療や福祉のサービスや施設を明らかにし、それらを住民参画によって創出することをめざします。



(2) ぱいぬ島共生意識・要求調査の背景

竹富町は、全国一の有人多島町³です

竹富町は9つの有人島を持つ全国2番目の多島基礎自治体です。町では全国一の有人島数となります。(表1-1参照)

また、それぞれの島間も東西約42km、南北に40kmと広範囲に及んでいます。さらに町役場を八重山諸島の中心地である石垣島(石垣市)に置くなど特異な行政形態となっています。

これらの地理的、行政形態的な条件が、町民の暮らしや意識にも大きな影響を及ぼしていると考えられます。

【表1-1 全国の市町村の有人島

順位	市町村名	有人島数
1	五島市(長崎県)	11
2	竹富町(沖縄県)	9 ²
3	松山市(愛媛県)	9
4	神島町(愛媛県)	8

¹ (一社)地域医療・福祉研究所(略称:ARSVITA:アルスヴィータ)は、離島での医療・福祉のあり方の研究、住民主体の医療・福祉事業を支援しています。本部:東京都中野区、理事長:日野秀逸(東北大学名誉教授)、Web page:<http://www.arsvita-ri.jp/>

²国土交通省や公益財団法人日本離島センターでは、新城島を上地と下地に分けて竹富町の有人島数を10としています。

³有人島の数え方は、統計によって違いがあります。住民基本台帳と国勢調査の結果にも差がありますが、ここでは公益財団法人日本離島センター会員の137町村を対象に集計しています。

竹富町では島ごとに福祉に対する要求が違うことが予想されます

竹富町は、八重山諸島の交通、医療・福祉の拠点となっている石垣島との距離や交通の便によって島ごとの暮らしと福祉の状況が大きく違っていると予想されます。

今後、竹富町でも後期高齢者が急増する中、この島ごとの違いが無視できないほど広がり、行政施策にも影響を及ぼすでしょう。そして限られた財源の中で福祉行政を行うとき、島ごとの施策的差異や優先順位を決めるにあたってのエビデンスが求められるようになると予想されます。

一方国は、「地域包括ケアシステム」をさらに広げて高齢者・障がい者・子どもを日常生活圏域でケアする『我が事・丸ごと』地域共生社会づくりを推進する政策を進めています。

これらの状況から、竹富町では、島ごとの状況にあった地域共生社会のあり方を模索する必要があると考えられます。それを実現するために本調査を実施しました。

(3) ぱいぬ島共生意識・要求調査における居住地域の分類

本調査では、以下の2つの基準で地区を分類して調査を行いました。実施単位は表1-2の通りです。

アンケート調査は、公民館単位を基本にしました

直接住民の要求を聞くアンケート調査は、住民が日常の生活の単位としている「公民館」地域を単位に行いました。また、アンケート実施の周知、アンケート記入会や地域の訪問などのご協力は、「公民館長」⁴・区長にお願いしました。

“結”カフェは、各島での実施を基本とし、西表島では3カ所で実施しました

“結”カフェも基本の実施単位は、アンケート調査に準じましたが、西表島については、上原地区(船浦、上原、中野、住吉、浦内)と西表地区(祖納、干立、白浜、船浮)、東部地区(高那、美原、由布、古見、大富、大原、豊原)の3地域で実施しました。

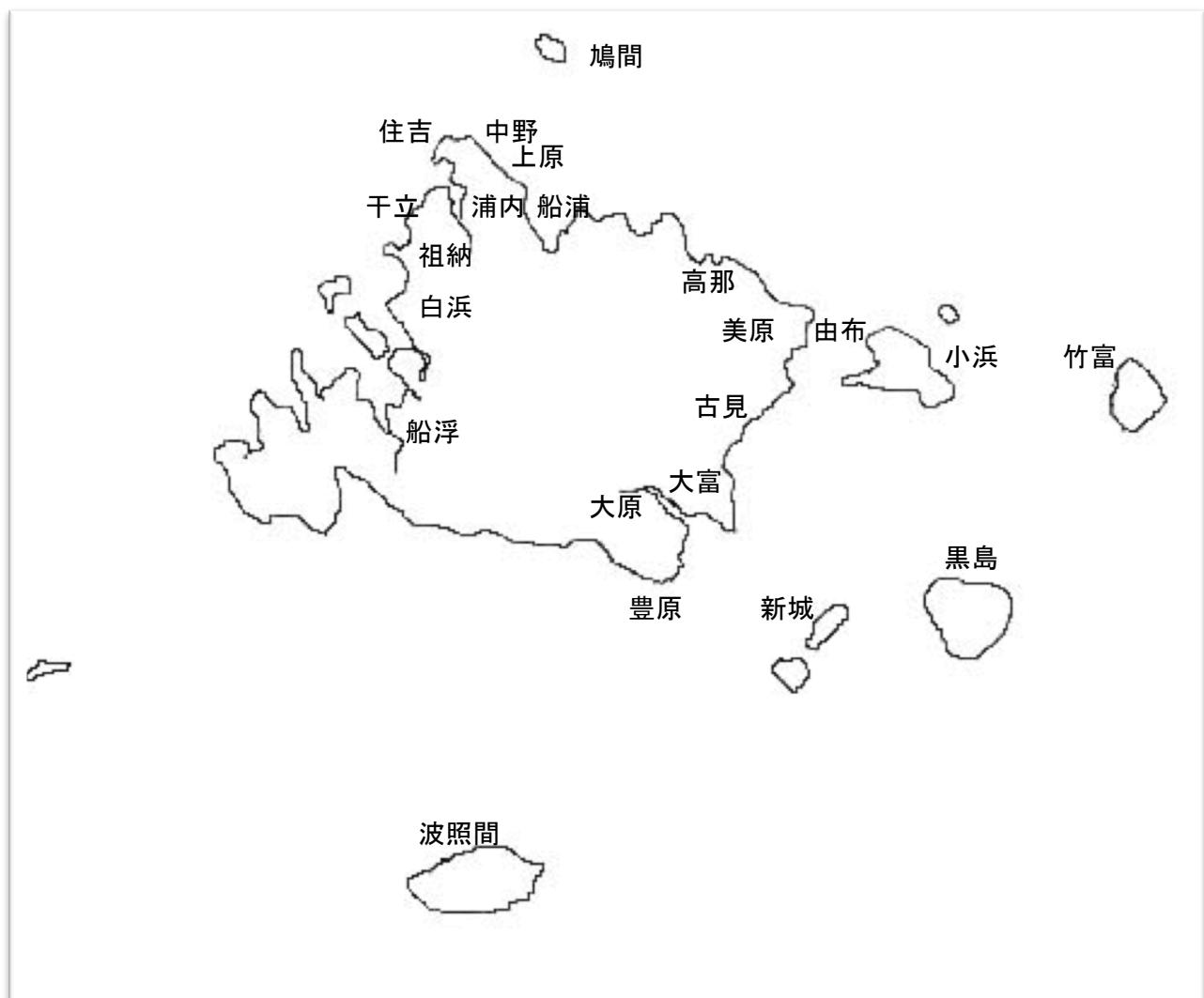
新城島では実施ませんでした。

【表1-2 本調査での実施単位】

島・地区名	集落名	アンケート調査の実施単位	“結”カフェの実施単位
竹富島	竹富	○	○
黒島	黒島	○	○
小浜島	小浜	○	○
新城島	新城	○	未実施
西表島 東部	大原	○	西表島 東部地区
	豊原	○	
	大富	○	
	古見	○	
	美原	○	
	由布	○	
	高那	○	
	船浦	○	
	上原	○	
	中野	○	
西表島 西部	住吉	○	西表島 上原地区
	浦内	○	
	祖納	○	
	干立	○	
	白浜	○	西表島 西表地区
	舟浮	○	
	鳩間島	○	
	波照間島	○	

⁴竹富町においては、「公民館長」は、文字通りの公民館の管理をする他、地域の住民のまとめ役、祭りなどの行事の仕切り役などをを行う風習があります。公民館長は、町から委託されて行政の一端を担う「区長」を兼ねることもあり、また別々のこともあります。

【ぱいぬ島共生意識・要求調査関連の竹富町地域図】



2 アンケート調査の概要

(1) アンケート調査の目的

島(地域)ごとの住民の要望をより詳しく直接的に把握するため

本アンケート調査は、島嶼町であり人的資源の限られている竹富町において、高齢者、障がい者、子育てを一体的に進める『我が事・丸ごと』地域共生社会」を実現することの意義や可能性を探ることを目的とします。

とりわけ、地域に出かけてアンケート調査を行うことで、住民の福祉に関する関心、考える機会を増やしながら地域の現状や今後の課題についての認識を深め、竹富町にすみ続けるために必要なサービスを考える機会とします。

(2) アンケート調査の実施方針

町民が主体的にアンケート調査に参加し、地域の状況を考えながら、自らの意識や要求を自覚できるようにします

本アンケート調査は、対象者の全員参加と正確なアンケート記入をめざします。また地域の状況に対する認識を深め、将来の自分の医療や福祉の課題について考える機会とします。

これらを実現するために、対象者にできる限り調査項目の説明を行い、また回答にあたっての疑問に答えられるように工夫します。

調査員⁵が直接各島(地域)を訪問してアンケート調査を行います

前項の実施方針を実現するために本アンケート調査は、抽出法や郵送を使わず、調査員がそれぞれの島(地域)に出かけて行って説明を行い、対象者からの質問に答えながらアンケート記入を行う「集団記入方式」を採用します。

この方法によって、アンケート調査と合わせて調査員による地域の状況把握、地域組織や福祉関係者との面談、インタビューなどが可能となり、アンケート集約や分析を正確に行う条件を広げます。

⁵ 竹富町福祉支援課の職員と(一社)地域医療・福祉研究所の研究者が調査員として同行し、地域訪問を行いました。それぞれの立場で専門的なインタビューや調査を行い、また課題意識や状況認識の共有化を図りました。

3 “結” カフェ(アンケートの報告と意見交換会)の概要

(1) “結” カフェの目的

アンケート調査の結果を共有し、それぞれの島(地域)の課題や必要とされる福祉サービスについての認識を深めるため

アンケート結果の報告を聞いて、島(地域)の分析結果や特徴について意見交換を行います。

また、改めて地域の福祉課題についての認識を深め、それらの課題を「我が事」として捉える機会とします。

同時に、竹富町福祉支援課の職員も参加することにより、町の施策への反映や今後の活動のヒントを得ることを目的とします。

(2) “結” カフェの実施方針

アンケート調査の結果報告を聞き、島(地域)の住民の意識動向を把握した上で、自由に意見交換を行います

- ① (一社)地域医療・福祉研究所からアンケート調査の分析結果を報告します。
- ② 参加者から質問や感想を出してもらいます。
- ③ 討論のまとめを行い、参加者で確認します。

4 本報告書を見る際の留意事項

(1) 集計方法

本報告書では、以下の3つの集計を行っています。

① 全体単純集計

回答者全体を単純に集計した結果です。

② クロス集計

上記①の全体単純集計を年代別、島(地域)別、介護保険の保険者別、病気の有無別などで集計した結果です。

③ 自由記入

自由記入は、ほぼ全回答を掲載しています。記載方法は、島別、意見の内容別としました。

(2) 自由記入

本調査の特徴は、自由記入の多さです。

本調査では、記入会の会場でも、郵送による回答でもたくさんの自由記入がありました。

住民の意思を尊重して特定の個人に関するものを除き、行政や団体などに対する要望はそのまま「資料編」に掲載しました。

また、直接福祉に関わらないと思われる意見や要望もありましたが、これらについても記載しました。福祉の定義を広く暮らし全般の豊かさ、幸福に関する事項とする視点に立ったためです。

(3) その他

① 回答者数

回答者数は、それぞれの質問の回答者数を基礎としています。項目によっては「無回答」を省略している場合もあります。また、複数回答の項目などは合計が100%にならない場合もあります。

② 図表における数値について

本文中に出てくる数値は小数点第2位以下を四捨五入している関係で、足し合わせた数値が一致していないことがあります。

③ 報告書での図表の掲載について

報告書の本体での図表の掲載は、読みやすさを考慮して必要最小限にとどめています。報告内容の確認のために「資料編」を参照ください。

第2章 アンケート調査の 結 果

1 アンケート調査の内容

(1) アンケート調査の方法

アンケート調査は、集団記入会を基本にしました

調査は、質問の意図を正確に理解して答えてもらうために、「集団記入会」方式を採用しました。

- ① アンケートの趣旨説明を集落ごとに行い、その場で記入してもらうこと(集団記入)を基本としました。
集団記入会に参加した人で家族や知り合いのいる人には、アンケート用紙を持ち帰っていただき、
自宅等で記入会で受けた説明をしていただくようお願いしました。
- ② 参加できなかった人には企業の職場や医療福祉施設で集団記入してもらいました。
- ③ どうしてもそれができなかった人は、アンケート用紙を配布し、それぞれのご家庭で記入してもらうとい
う方法をとりました。
- ④ それぞれの家庭で記入したアンケートは、公民館長に回収をお願いしたり、町福祉支援課に届けて
もらったり、郵送してもらったりしました。

集団記入会は、19 地区で 30 回会開催し、351 人が参加しました。開催地区と参加者数は表 2-1 を参
照してください。

小浜地区、新城地区、豊原地区、高那地区、船浦地区では集団記入会が開催できませんでした。参
加者の少ない地区(西表島西部中野地区)では、複数会開催しました。また、波照間地区では、集落別
に昼と夜の2回開催するなど参加者を広げる工夫をしました。

(2) アンケート調査の時期

平成 30(2018)年 10 月～12 月に実施しました

本アンケート調査は、3 次に渡って実施しました。(日程は表 2-1 を参照)

- ① 第1次調査 平成 30(2018)年 10 月 4 日(木)～10 月 23 日(火)
- ② 第2次調査 平成 30(2018)年 11 月 6 日(火)～11 月 18 日(日)
- ③ 第3次調査 平成 30(2018)年 12 月 5 日(水)～12 月 13 日(木)

【表 2-1 島(地区)別アンケート集団記入会の実施記録】

島・地区名	集落名	開催日	参加者数	島・地区名	集落名	開催日	参加者数
竹富島	竹 富	11月6日夜	56	西表島 西部	住 吉	12月10日夜	3
黒 島	黒 島	10月10日昼	13		浦 内	10月17日夜	10
		10月15日昼	12		祖 納	12月9日夜	5
小浜島	小 浜	実施せず	0		干 立	10月23日夜	23
新城島	新 城	実施せず	0		白 浜	10月18日夜	13
西表島 東部	大 原	12月6日夜	18		舟 浮	10月17日夜	14
	豊 原	実施せず	0		鳩 間	10月22日夜	28
	大 富	12月12日夜	18		富嘉	11月14日昼	11
	古 見	10月17日夜	12			11月14日夜	8
	美 原	10月12日夜	17	波照間島	名石・前	11月12日昼	2
	由 布	10月12日夜	8			11月12日夜	7
	高 那	実施せず	0			11月13日昼	13
西表島 西部	船 浦	実施せず	0			11月13日夜	12
	上 原	12月13日夜	2	北・南	北・南	11月12日昼	4
	中 野	10月11日昼	0			11月12日夜	14
		10月11日夜	9		北・南	11月13日昼	9
		12月11日昼	0			11月13日夜	9
	12月11日夜	1		合 計			351

(3) アンケート調査の対象者と回収率

1) アンケート調査の対象

介護保険の被保険者である 40 歳以上の全町民(2,134 名)を対象にしました

- ① 竹富町の福祉政策の当面の最大の課題が高齢者の医療・福祉政策、介護保険制度であることから介護保険の第1号被保険者(65 歳以上の方)と第2号被保険者(40 歳から 64 歳までの方)を対象とすることとしました。
このことによって第1号被保険者)と第2号被保険者の意識や要求の違いをクロス集計で分析できるようになります。
- ② 竹富町内に住民登録をされ、実際に住んでいらっしゃる方を対象にしました。
町外の病院・施設に入院・入所されている方、時期によって竹富町を離れられる方は対象から外しました。
実際に住んでいらっしゃる方の確認については公民館長さん、民生委員さんなどにご協力いただきました。
最終的に、竹富町内に住民登録され、実際に居住している 40 歳以上の方は、2,134 名でした。

2) アンケートの回収率

859 名から回答があり、回収率は、40.3%でした

平成 30(2018) 年 12 月 31 日までに、859 名の方から回答をいただきました。回収率は 40.3% であり、竹富町の町民の思いを反映した質の高い結果を得ることができました。

アンケートの島(地区)別の回収率は表 2-2 をご覧ください。

【表 2-2 アンケート調査の対象者数と回収率】

島・地区名	集落名	対象人口				アンケート回収			
		40～64歳	65歳以上	40歳以上合計	調査時実在数	記入会回収数	配布回収数	回収合計	回収率
竹富島	竹富	104	118	222	220	56	67	123	55.9%
黒島	黒島	73	61	134	131	25	14	39	29.8%
小浜島	小浜	214	130	344	288	0	63	63	21.9%
新城島	新城	3	10	13	1	0	1	1	100.0%
西表島東部	大原	114	61	175	160	18	35	53	33.1%
	豊原	73	34	107	100	0	27	27	27.0%
	大富	107	71	178	168	18	32	50	29.8%
	古見	22	16	38	37	12	4	16	43.2%
	美原	13	14	27	19	17	0	17	89.5%
	由布	5	6	11	10	8	0	8	80.0%
	高那	6	0	6	5	0	1	1	20.0%
	地区不明					0	8	8	
	合計	340	202	542	499	73	99	172	34.5%
西表島西部	船浦	66	51	117	53	0	25	25	47.2%
	上原	103	34	137	131	2	11	13	9.9%
	中野	83	23	106	72	10	26	36	50.0%
	住吉	92	27	119	92	3	24	27	29.3%
	浦内	38	20	58	53	10	14	24	45.3%
	祖納	52	47	99	87	5	27	32	36.8%
	干立	44	29	73	70	23	12	35	50.0%
	白浜	40	35	75	69	13	33	46	66.7%
	舟浮	18	13	31	30	14	2	16	53.3%
	地区不明					0	31	31	
	合計	536	279	815	657	80	205	285	43.4%
鳩間島	鳩間	18	17	35	28	28	0	28	100.0%
波照間島	波照間	182	152	334	310	89	51	140	45.2%
合計		1,470	969	2,439	2,134	351	500	859	40.3%

(4) アンケートの調査項目

本アンケート調査の項目と内容は、表 2-3 の通りです。

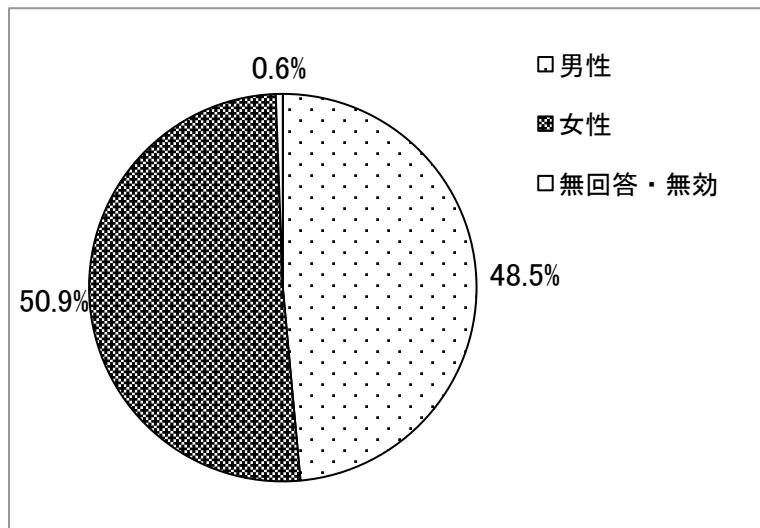
【表 2-3 アンケート調査の項目・内容】

項目	問番号	設問
基本属性	①～⑬	性別、年齢、家族構成、居住形態、居住地域、職業、資格、活動、年収、相談相手、石垣島での滞在先、障がい者手帳の有無
町への思い	問 1	町への愛着
	問 2	町の誇り
	問 3	町に住み続けたいか
身の回りの環境	問 4	自然環境・住環境
住宅環境	問 5	住宅環境
医療・福祉環境	問 6	医療・福祉や健康増進にかかわる環境
安全・安心な暮らし	問 7	安全・安心な暮らし
地域の状況	問 8	島の地域活動や行事
行政とのかかわり方	問 9	島の行政運営
あなた自身の健康や医療機関とのかかわり方	問 10	現在治療中の病気
	問 11	診療所に行く際の交通手段
	問 12	介護が必要になった際に介護してくれる人
	問 13	家族がわからないくらいの重い認知症になった際にどうしたいか
	問 14	高齢になった際にあつたらいいと思うサービス
	問 15	各サービスに一時間当たりいくら払うのが妥当か
	問 16	島にあればいいと思う施設やサービス
	問 17	最期はどこで迎えたいか
	問 18	治療や介護が必要になった場合について
あなた自身の行動	問 19	自身の行動について
あなた自身の意識	問 20	日常的な生活意識について
あなた自身の満足度	問 21	健康状態、食生活、暮らし方についての満足度
あなた自身の幸福感	問 22	今幸せか
幸福感	問 23	幸福感を判断する際に重視すること
自由記入	問 24	自由記入

2 回答者の属性

(1)男女のバランスの良い調査

性別については、「男性」48.5%、「女性」50.9%となっており、若干女性からの回答が多かったものの誤差の範囲であり、バランスよく抽出できたと言えます。

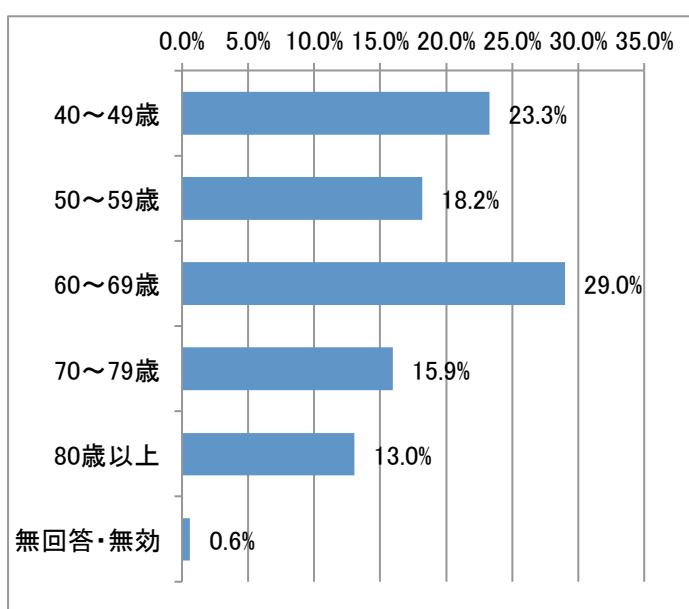


(2)各年代からまんべんなく抽出、平均年齢は 62.3 歳

介護保険の第一号、第二号被保険者¹の数はほぼ半数

年齢については、「40 代」23.3%、「50 代」18.2%、「60 代」29.0%、「70 代」15.9%、「80 代以上」13.0%となっており、60 代が若干多くなっているものの、全ての年代から 10%以上の回答が得られていることから分析には支障がなく、各年代からまんべんなく抽出できた良い調査であると言えます。

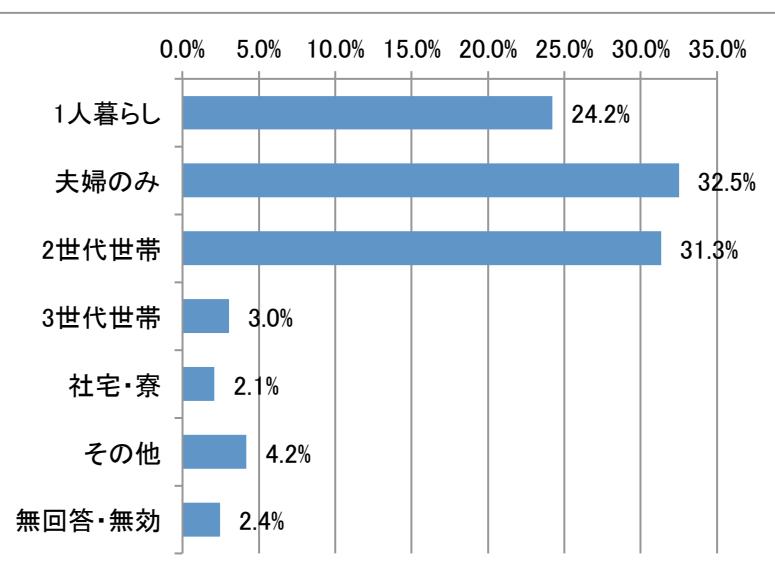
回答者のうち介護保険の介護サービスを受けられる第一号被保険者(65 歳以上)は 44.3%、第二号被保険者(40 歳～65 歳未満)は、55.7%です。なお、本調査は 40 歳以上の町民が対象のため、回答者の平均年齢は 62.3 歳と高くなっています。



¹ 介護保険の被保険者は、65 歳以上の方(第1号被保険者)と、40 歳から 64 歳までの医療保険加入者(第2号被保険者)に分けられます。第1号被保険者は、原因を問わず要介護認定または要支援認定を受けたときに介護サービスを受けることができます。

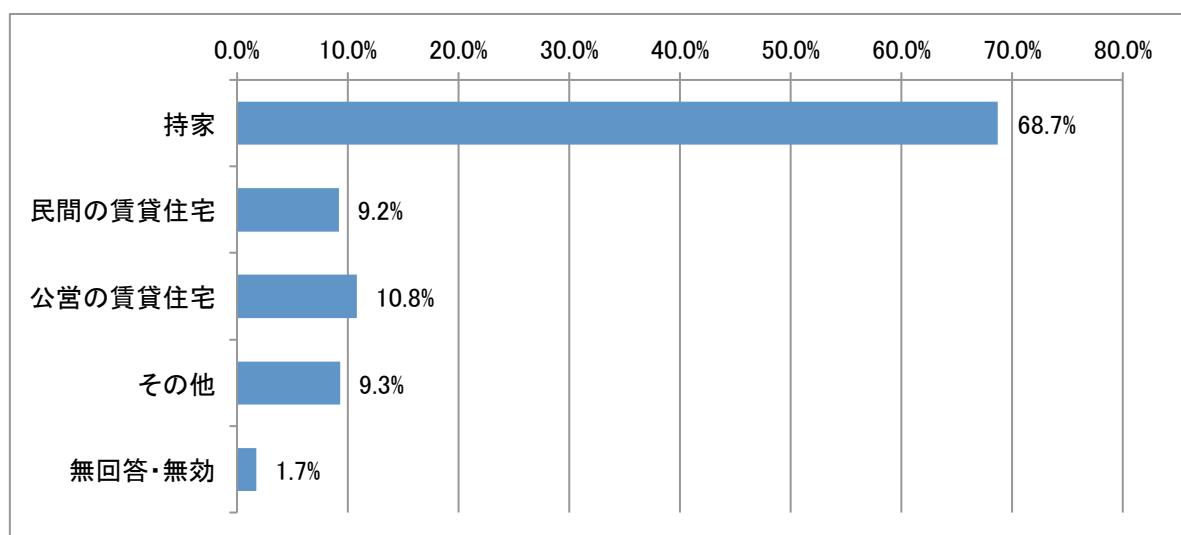
(3) 夫婦のみが 32.5%と最も多く、一人暮らしも 24.2%

家族構成をみると、「夫婦のみ」32.5%と最も多く、次いで「2 世代世帯」31.3%、「一人暮らし」24.2%、「3 世代世帯」3.0%（「その他」4.2%）となっています。町民の 6 割以上（63.8%）が夫婦か親子の世帯です。なお、一人暮らしのうち 70 歳以上の一人暮らしは 66.9%となっています。



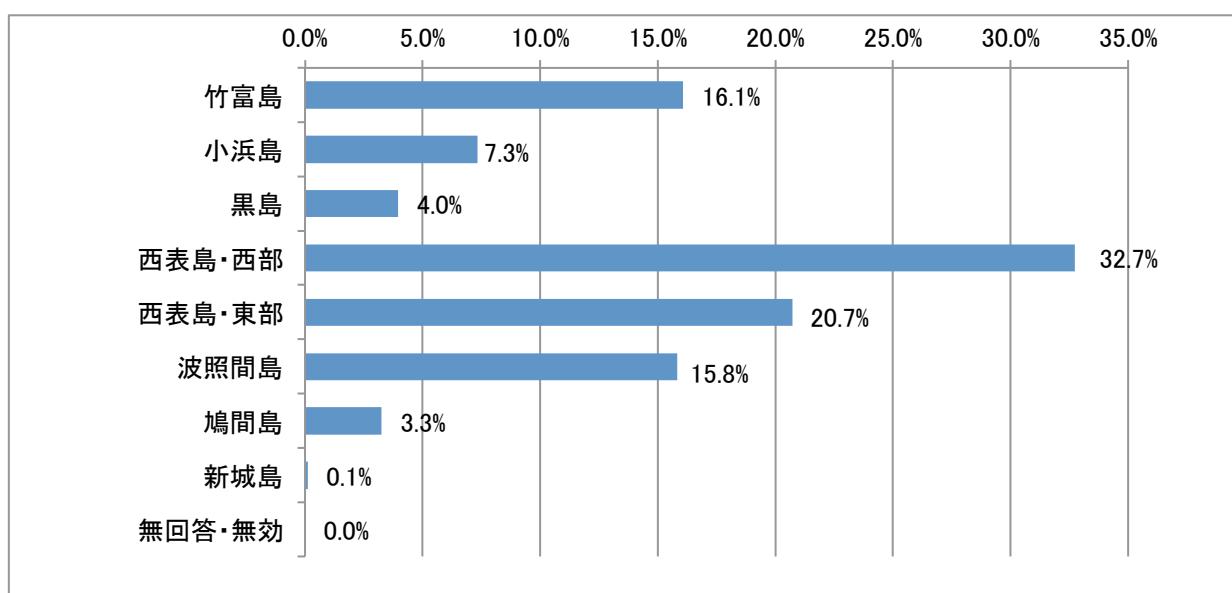
(4) 7 割の町民が持家

居住形態をみると、「持家」が 68.7%と最も多く、次いで「公営の賃貸住宅」10.8%、「民間の賃貸住宅」9.2%（「その他」9.3%）となっています。持家の割合が非常に高く、町民の 7 割が持家に住んでいることが分かります。



(5)半数は西表島の町民からの回答

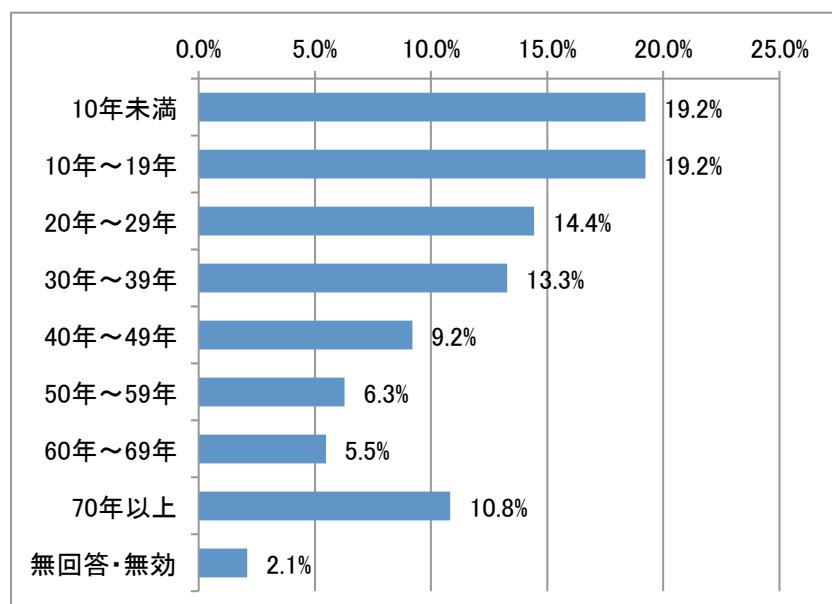
居住地域については、「西表島・西部」32.7%、「西表島・東部」20.7%、「竹富島」16.1%、「波照間島」15.8%、「小浜島」7.3%、「黒島」4.0%、「鳩間島」3.3%、「新城島」0.1%となっています。回答者の5割以上は西表島に居住の町民ですが、竹富町の人口の5割以上は西表島に集中していることから、この回答は正常なものです。ただし、黒島や小浜島からは20%台の回答しか得られなかつたことから、これらの島での分析には留意が必要です。



(6)居住歴「10年未満」と「10年～19年」の町民が最も多い

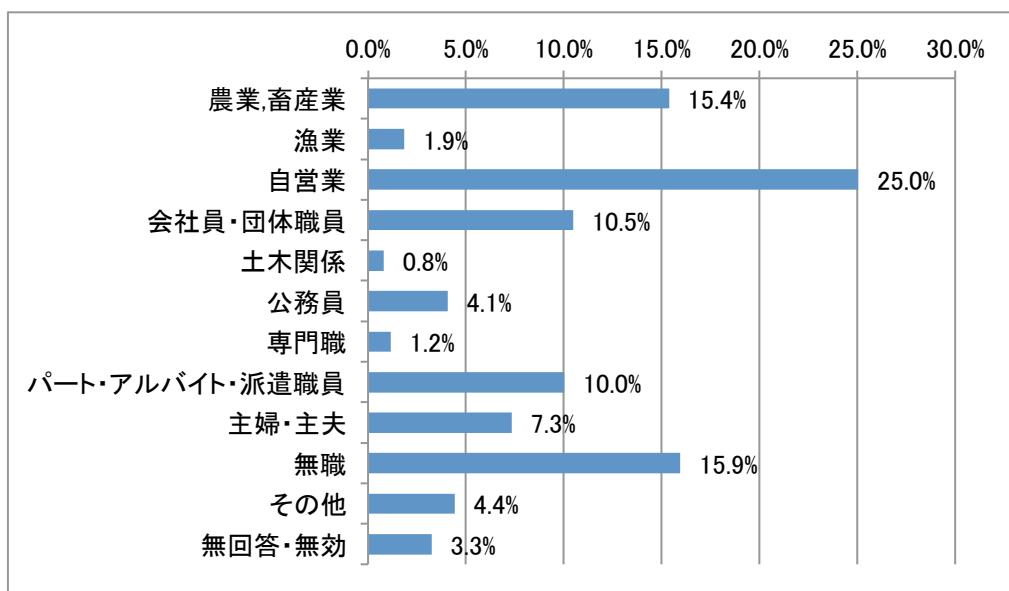
居住歴については、「10年未満」と「10年～19年」が19.2%で同数、「20年～29年」14.4%、「30年～39年」13.3%、「40年～49年」9.2%、「50年～59年」6.3%、「60年～69年」5.5%、「70年以上」10.8%となっており、居住歴20年未満の町民が4割近くとなっています。

なお、年齢と居住歴の関係を分析した結果、居住歴は年齢と比例関係になっていることが明らかとなりました。



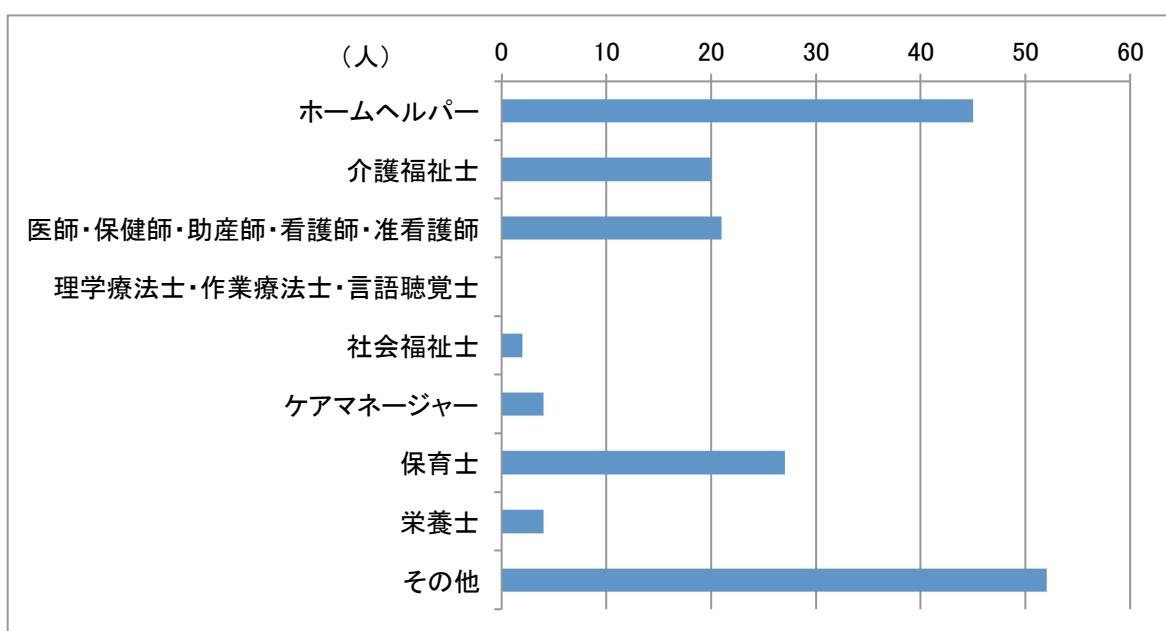
(7)町民の4人に1人が自営業

職業をみると、「自営業」が25.0%と最も多く、次いで「無職」15.9%、「農業畜産業」15.4%、「会社員・団体職員」10.5%、「パート・アルバイト・派遣職員」10.0%、「主婦・主夫」7.3%、「公務員」4.1%、「漁業」1.9%、「専門職」1.2%、「土木関係」0.8%（「その他」4.4%）となっています。町民の4人に1人は自営業を営んでいます。



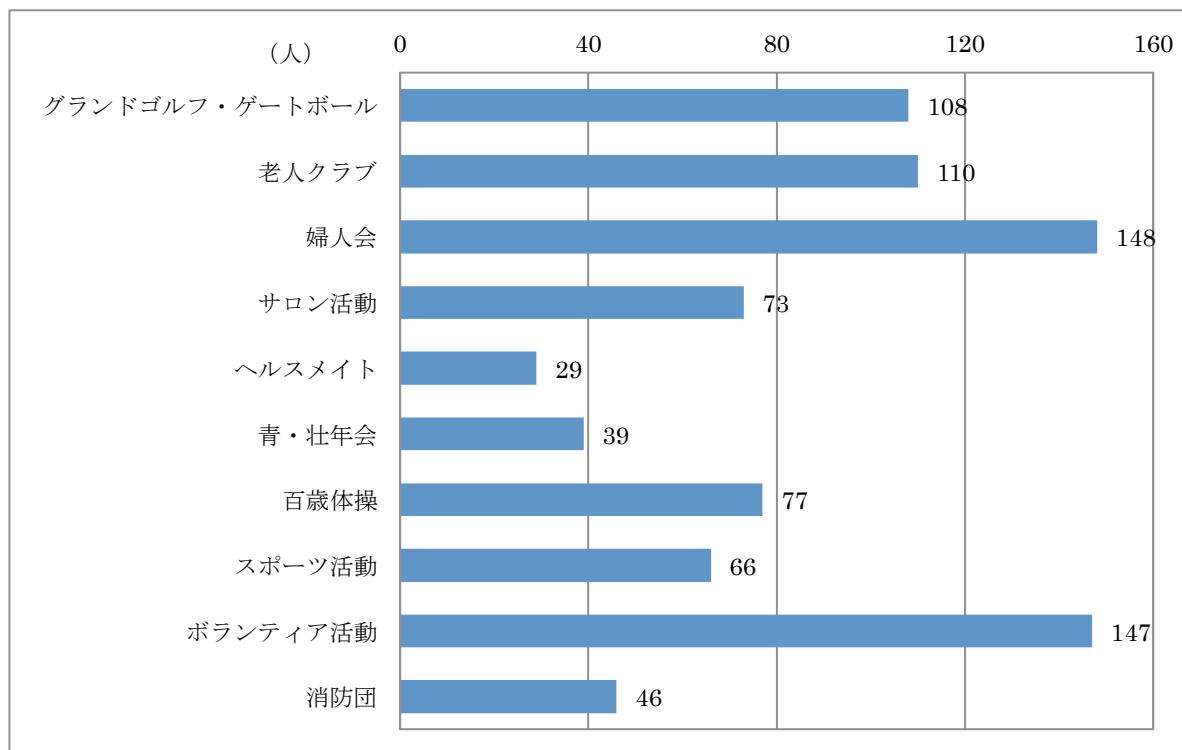
(8)ホームヘルパーの資格保有者が45名

回答者に医療や介護・福祉の資格保有者が92名います。資格保有者の意見がアンケート結果にも反映されています。しかし、全員が現在資格を生かして介護福祉の職場で働いているとは限りません。



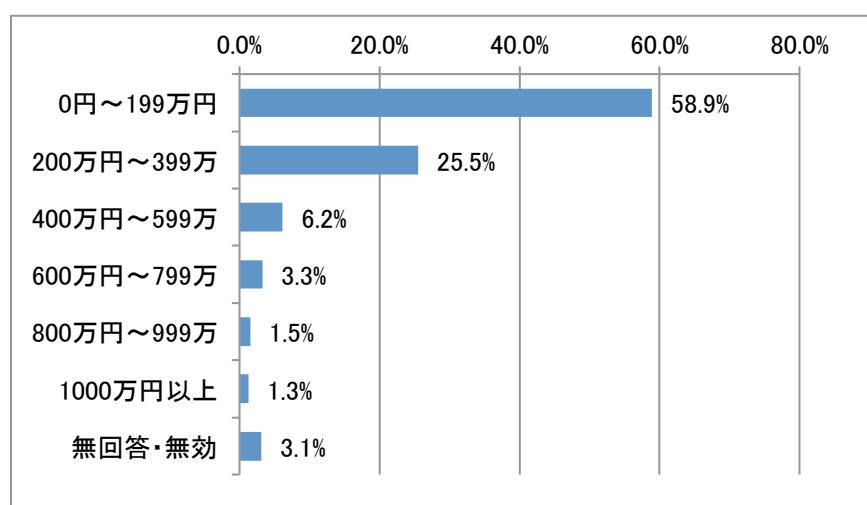
(9) 婦人会は 148 名、ボランティア活動は、147 名、老人会は、110 名、 グランドゴルフ・ゲートボール愛好者は 108 名

現在の活動については、「婦人会」が 148 名と最も多くなっています。100 名以上が行っている活動を見ると、「ボランティア活動」147 名、「老人会」110 名、「グランドゴルフ・ゲートボール」108 名となっています。40 歳～50 歳台は、「婦人会」、70 歳以上は、「老人会」、「グランドゴルフ・ゲートボール」「ボランティア活動」への参加が多くなっています。



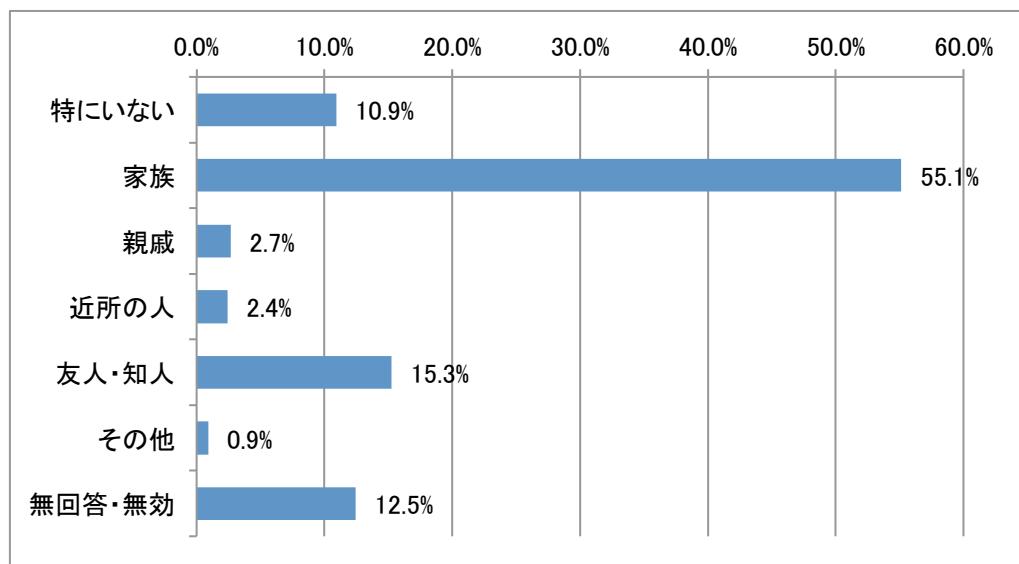
(10) 総年収 200 万円未満の町民が 58.9%

平成 29 年の個人の総年収については「0 円～199 万円」58.9%、「200 万円～399 万円」25.5%、「400 万円～599 万円」6.2%、「600 万円～799 万円」3.3%、「800 万円～999 万円」1.5%、「1000 万円以上」1.3% となっていま
す。総年収 1000 万円を超える町民もいる(11 名)一方、5 割以上の町民は総年収 200 万円未満の低所得者です。



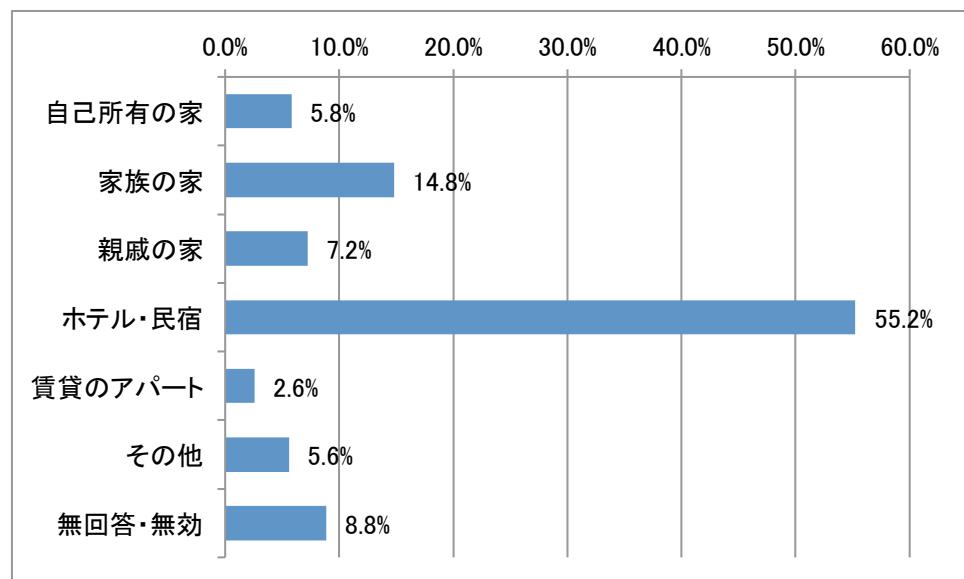
(11)町民の半数は家族に相談、1割は相談相手がいない

日ごろの相談相手を見ると、「家族」55.1%が最も多く、次いで「友人・知人」15.3%、「特にいない」10.9%、「親戚」2.7%、「近所の人」2.4%（「その他」0.9%）となっています。町民の半数以上が家族に相談していることが分かります。一方、1割の町民は相談できる相手がないことも明らかとなりました。



(12)石垣島ではホテル・民宿に滞在する島民が5割、自己所有・家族・親戚の家も27.8%

石垣島での滞在先を見ると、「ホテル・民宿」が55.2%と最も多く、次いで「家族の家」14.8%、「親戚の家」7.2%、「自己所有の家」5.8%（「その他」5.6%）となっています。町民の半数がホテルや民宿に滞在している一方、3割の町民(27.8%)はお金を支払わなくても石垣島に滞在できることが明らかとなりました。

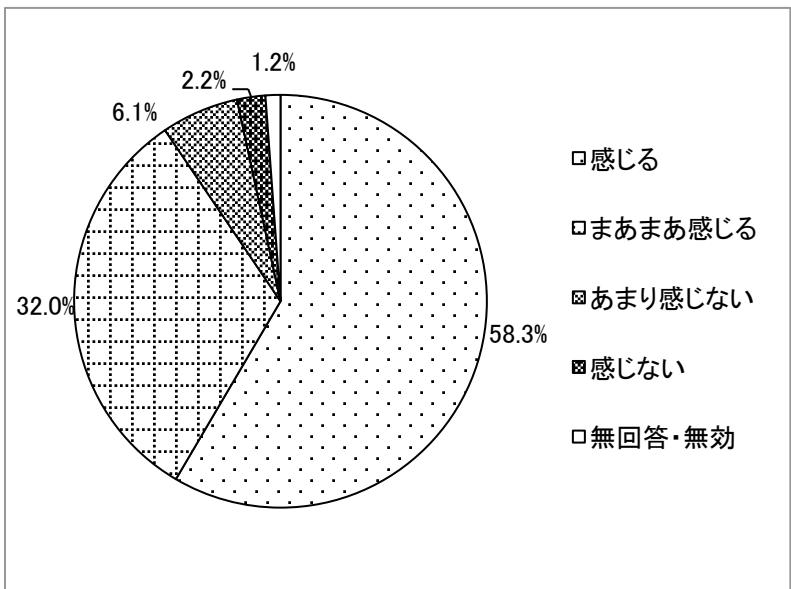


3 単純集計の結果

(1) 町民は地域に愛着や親しみを持っている！(問1)

「あなたは、竹富町という地域に愛着や親しみを感じますか」という設問に対し、「感じる」58.3%、「まあまあ感じる」32.0%となっていきます。これらを足し合わせると90.3%に達します。9割以上の町民が地域に愛着や親しみを感じています。

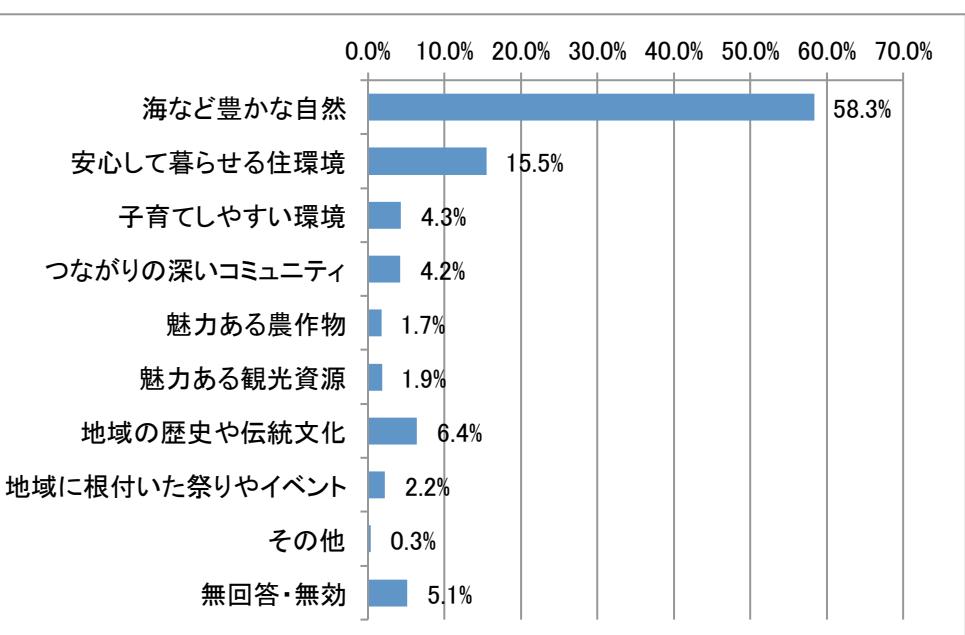
この項目では、住居歴による違いは認められず、「移住者」の方も地域に親しみを持っています。



(2) 町民の誇りは「豊かな自然」と「安心して暮らせる住環境」(問2)

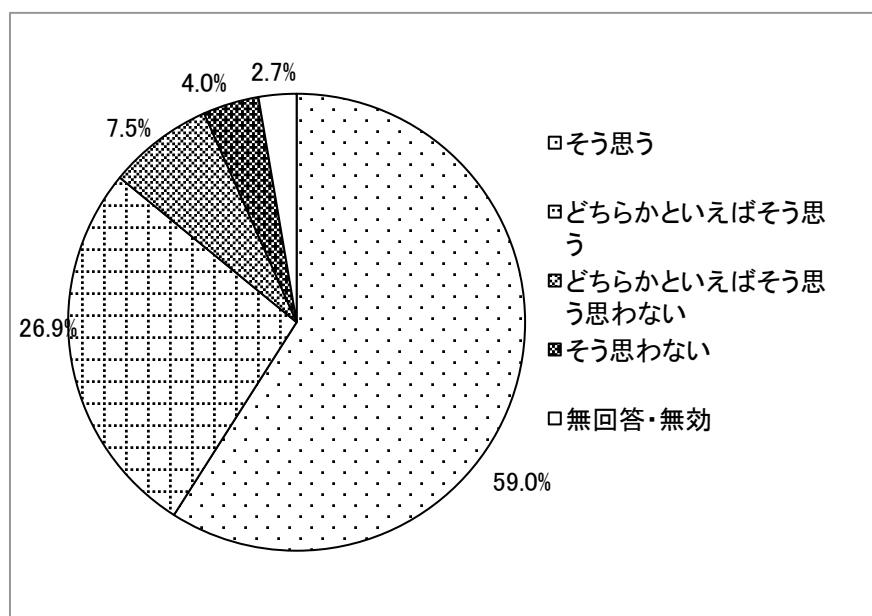
「あなたが竹富町について誇りに思うことは何ですか」という設問に対し、1位に挙げた理由で最も多かったのは「海などの豊かな自然」58.3%、次いで「安心して暮らせる住環境」15.5%となっています。この2つは他の項目を大きく引き離しています。

竹富町の町民の誇りは「豊かな自然と安心して暮らせる住環境」と言えるでしょう。この項目でも、住居歴の長短による違いはありません。



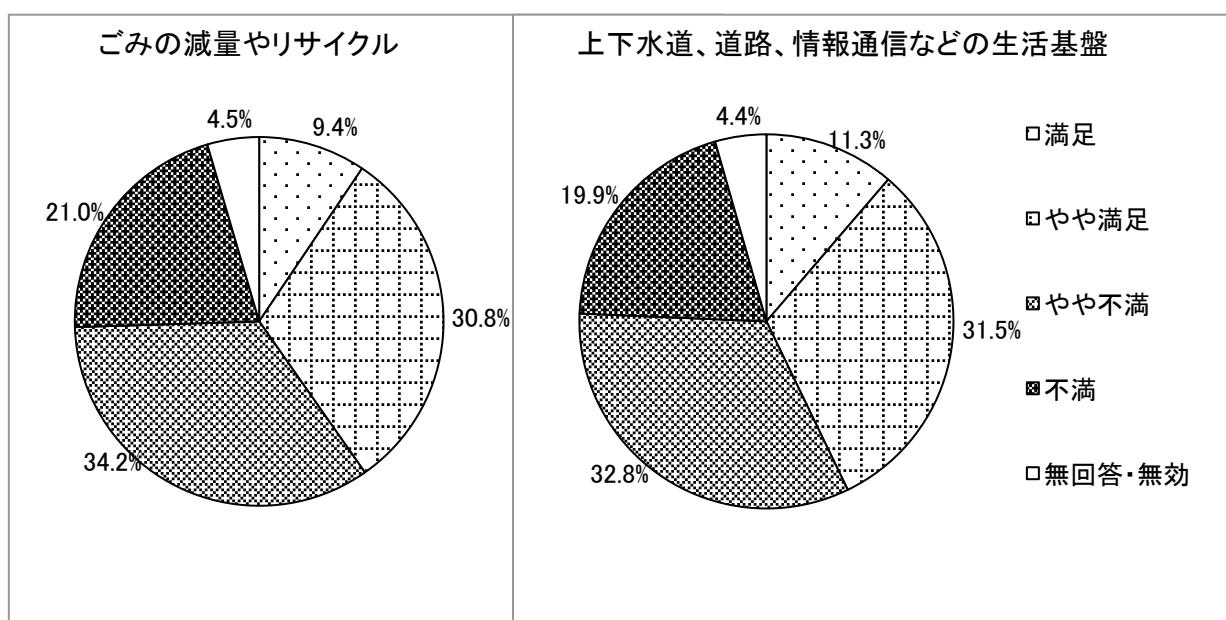
(3)町民は、竹富町に住み続けたい！(問3)

「あなたは、竹富町に住み続けたいと思いますか」という設問に対し、「そう思う」59.0%、「どちらかといえばそう思う」26.9%となっています。これらを足し合わせると85.9%に達します。住居歴の長短に関係なく8割以上の町民が今後も竹富町に住み続けたいと思っています。

(4)ごみの減量やリサイクル、生活基盤の整備には不満の方が多い
(問4)②③

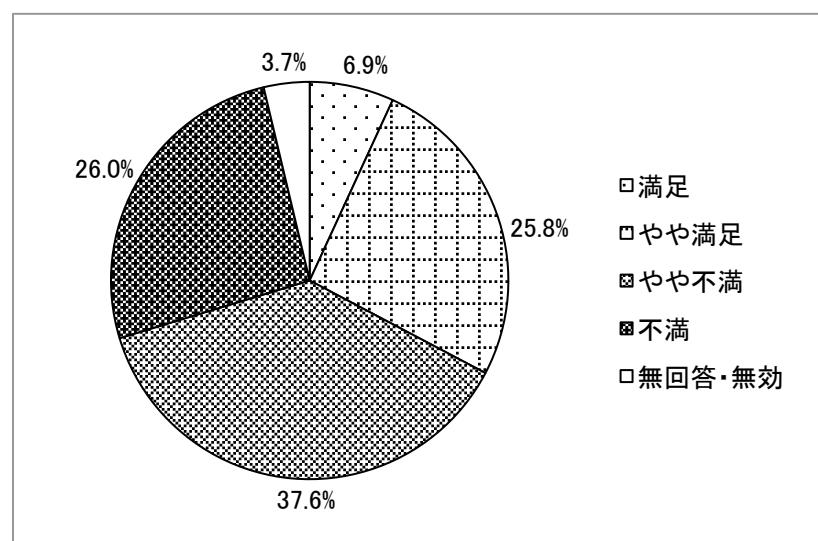
竹富町の自然環境・住環境について、「ごみの減量やリサイクルの取り組み」という設問に対し、「不満」21.0%、「やや不満」34.2%となっています。これらを足し合わせると55.2%に達します。

また、「上下水道、道路、情報通信などの生活基盤」という設問に対し、「不満」19.9%、「やや不満」32.8%となっています。これらを足し合わせると52.7%に達します。いずれの問い合わせでも「不満」の方が「満足」より多くなっていますが、ほとんど差がありません。



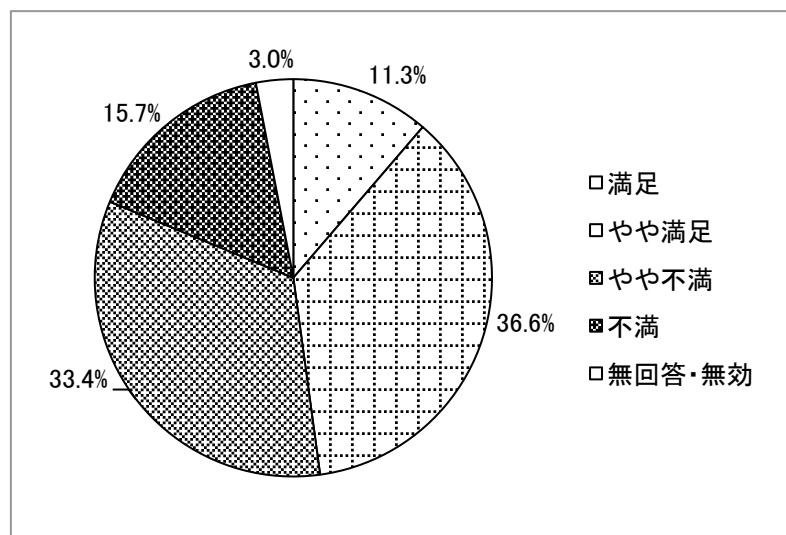
(5) 日常の買い物の便利さについては不満が多い(問4)④

竹富町の自然環境・住環境について、「日常の買い物の便利さ」という設問に対し、「不満」26.0%、「やや不満」37.6%となっています。これらを足し合わせると63.6%になります。これは「満足」と「やや満足」を足し合わせた割合32.7%を大きく上回っています。他の自然環境・住環境に関する項目と比較しても不満の多い項目といえます。



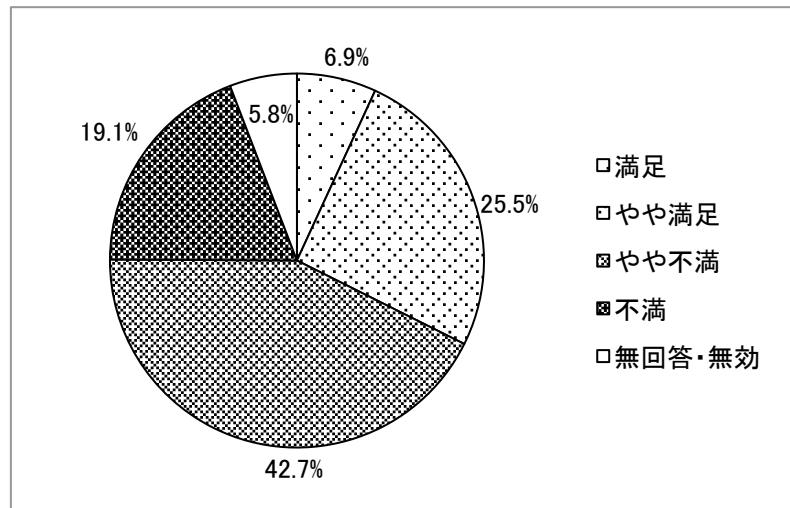
(6) 医療サービスには満足と不満が拮抗(問6)①

竹富町での医療・福祉や健康増進にかかわる環境について、「病気やけがなどの際に利用できる医療サービス」という設問に対し、「満足」11.3%、「やや満足」36.6%となっています。これらを足し合わせると47.9%になります。一方「不満」15.7%、「やや不満」33.4%となっています。これらを足し合わせると49.1%になり、町民は病気やけがなどの際に利用できる医療サービスへの評価は拮抗しています。



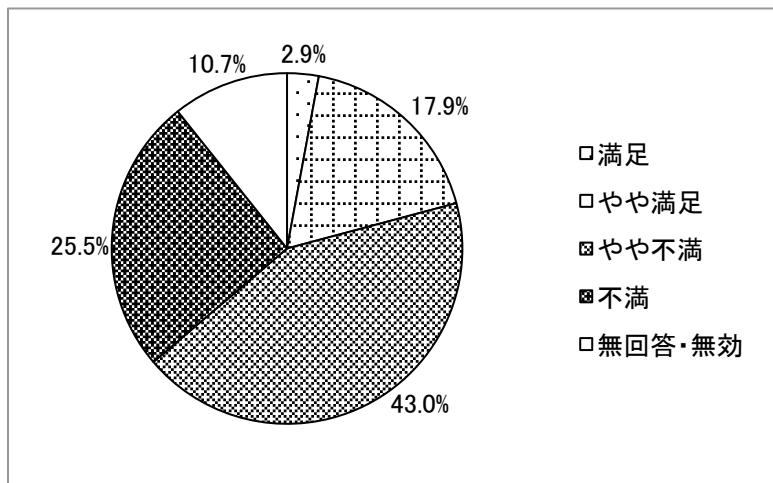
(7) 高齢者が利用できる介護・福祉サービスには不満(問6)②

竹富町での医療・福祉や健康増進にかかわる環境について、「高齢者が利用できる介護・福祉サービス」という設問では、「満足」6.9%と「やや満足」25.5%の計32.4%に対し、「不満」19.1%、「やや不満」42.7%となっています。これらを足し合わせると61.8%になります。約6割の町民は高齢者が利用できる介護・福祉サービスに不満を持っています。



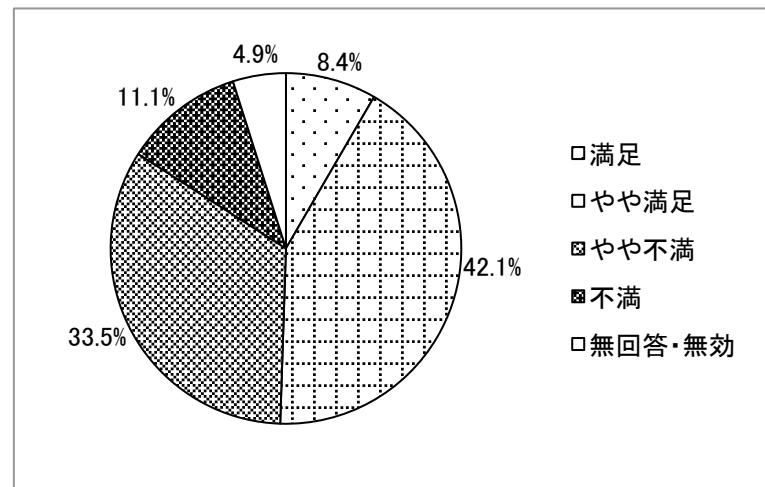
(8) 障がい者が利用できる介護・福祉サービスには不満(問6)③

竹富町での医療・福祉や健康増進にかかわる環境について、「障がい者が利用できる介護・福祉サービス」という設問に対し、「不満」25.5%、「やや不満」43.0%となっています。これらを足し合わせると68.5%になります。これは「満足」と「やや満足」を足し合わせた20.8%を大きく上回ります。約7割の町民は障がい者が利用できる介護・福祉サービスに不満があります。



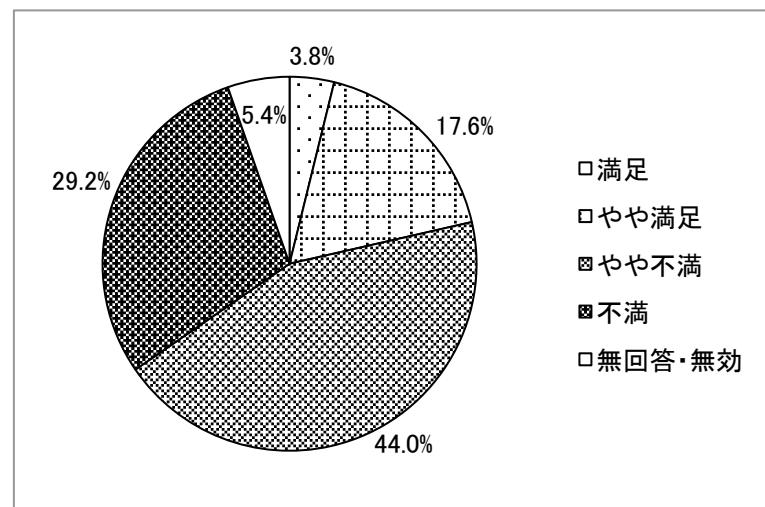
(9) 健康診断や指導、健診などの病気予防対策は満足と不満が拮抗(問6)④

竹富町での医療・福祉や健康増進にかかわる環境について、「健康診断や指導、検診などの病気予防対策」という設問に対し、「満足」8.4%、「やや満足」42.1%となっています。これらを足し合わせると50.5%に達します。これは「不満」と「やや不満」を足し合わせた割合44.6%を上回っていますが、ほとんど差がありません。町民は健康診断や指導、健診などの病気予防対策については、満足でもなければ不満でもない状態と言えます。



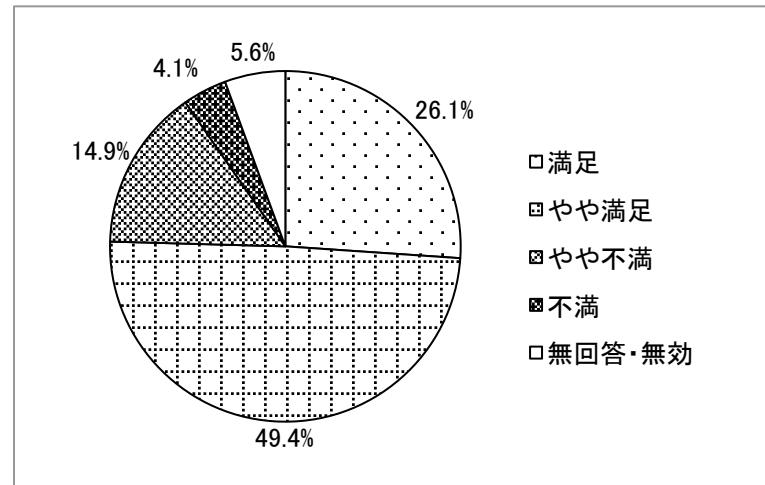
(10) 健康増進のための施設整備は不満が多い(問6)⑤

竹富町での医療・福祉や健康増進にかかわる環境について、「健康増進のための施設整備」という設問に対し、「不満」は29.2%、「やや不満」は44.0%となっています。これらを足し合わせると73.2%に達します。一方「満足」3.8%、「やや満足」17.6%となっており、約7割の町民は健康増進のための施設整備に不満を持っています。



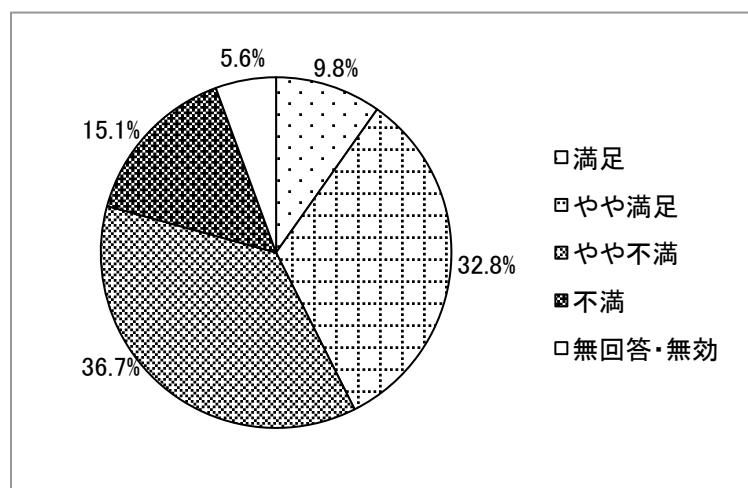
(11) 保育・子育て環境の整備に満足(問7)⑤

竹富町における安全・安心な暮らしについて、「保育・子育て環境の整備」という設問に対し、「満足」26.1%、「やや満足」49.4%となっています。これらを足し合わせると75.5%に達します。「不満」は4.1%、「やや不満」は14.9%であり、全体として町民は保育・子育て環境の整備に満足しています。



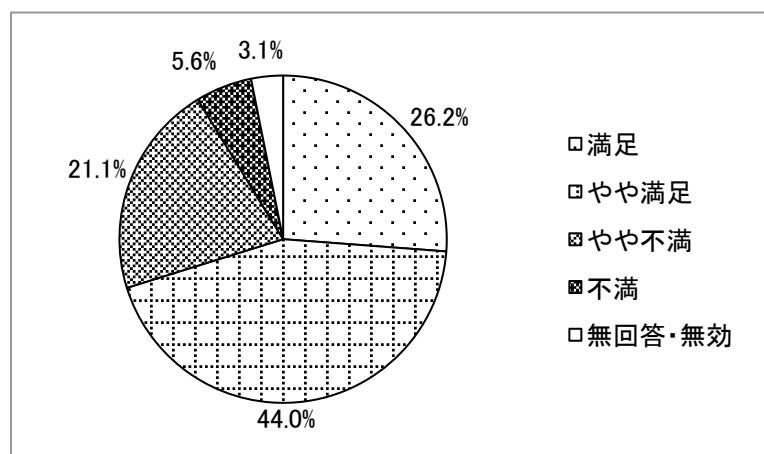
(12)お年寄りが気軽に楽しめる場は満足と不満が拮抗(問7)⑥

竹富町における安全・安心な暮らしへについて、「お年寄りが気軽に楽しめる場」という設問に対し、「満足」9.8%、「やや満足」32.8%となってています。これらを足し合わせると42.6%に達します。これは「不満」と「やや不満」を足し合わせた割合51.8%を下回っていますが、ほとんど差がありません。町民はお年寄りが気軽に楽しめる場については、満足でもなければ不満でもない状態と言えます。



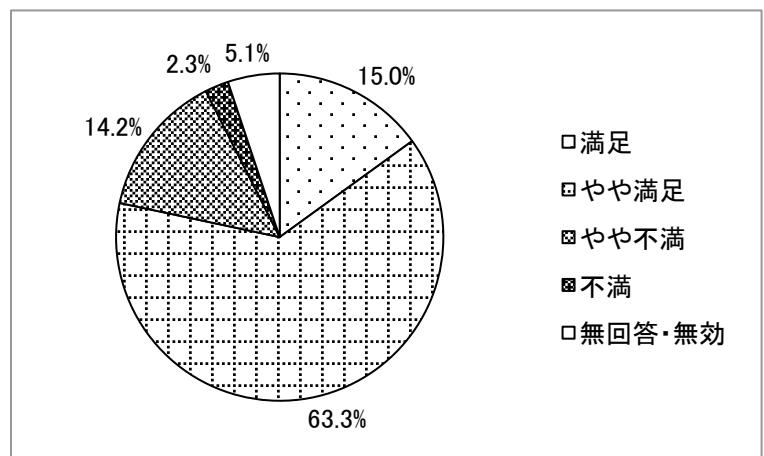
(13)島の行事などの活動に満足(問8)①

自分が住んでいる地域の活動や行事について、「島の行事などの活動」という設問に対し、「満足」26.2%、「やや満足」44.0%となっています。これらを足し合わせると70.2%に達します。7割以上の町民は島の行事などの活動に満足しています。



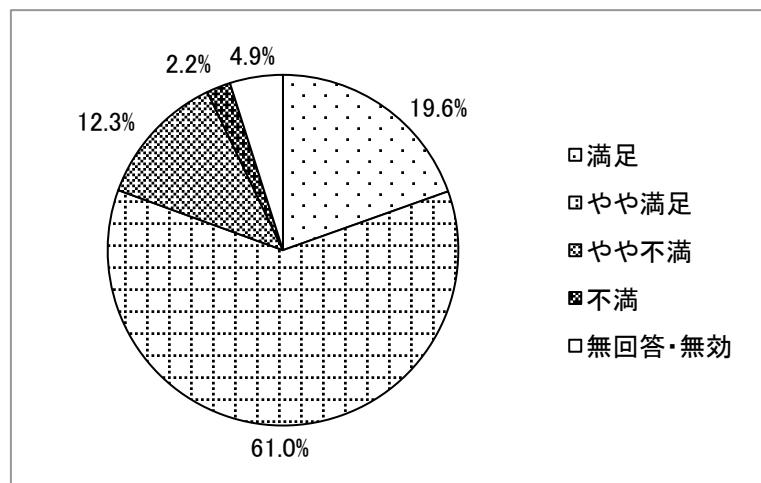
(14)子どもとお年寄りなどとの世代間交流に満足(問8)②

自分が住んでいる地域の活動や行事について、「子どもやお年寄りなどとの世代間交流」という設問に対し、「満足」15.0%、「やや満足」63.3%となっています。これらを足し合わせると78.3%に達します。8割の町民は子どもやお年寄りなどとの世代間交流に満足しています。



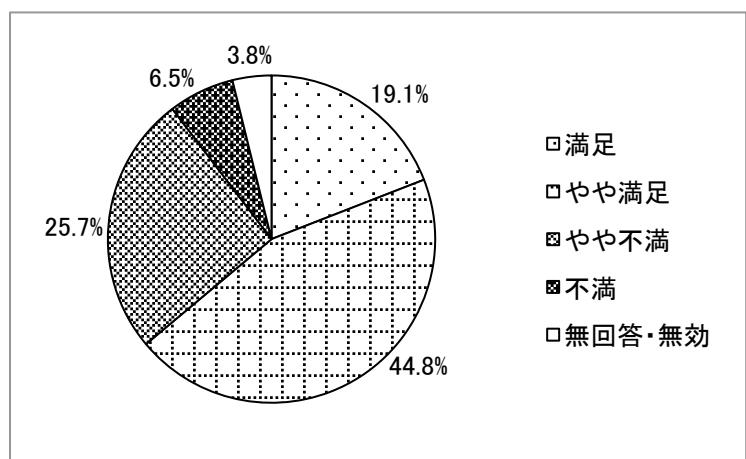
(15) 困ったときに地域で支えあう関係に満足(問8)③

自分が住んでいる地域の活動や行事について、「困ったときに地域で支えあう関係」という設問に対し、「満足」19.6%、「やや満足」61.0%となって います。これらを足し合わせると 80.6%に達します。約 8 割の町民は困ったときに地域で支えあう関係に満足しています。



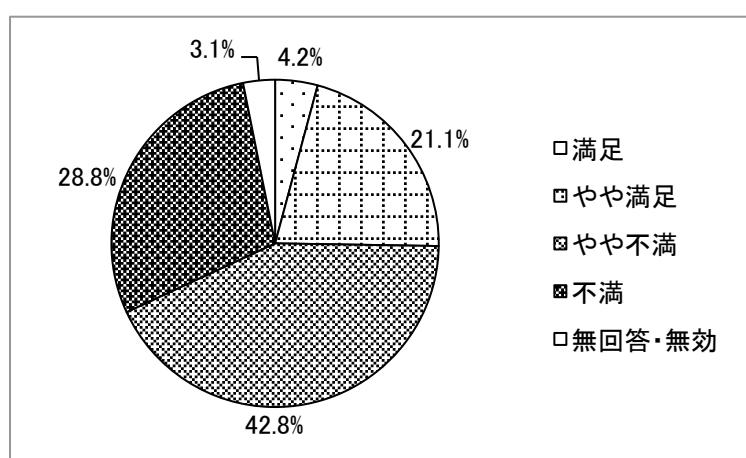
(16) 冠婚葬祭は満足が多い(問8)④

自分が住んでいる地域の活動や行事について、「冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事、入学、卒業、成人式・お葬式)」という設問に対し、「満足」19.1%、「やや満足」44.8%となっています。これらを足し合わせると 63.9%になり、町民は冠婚葬祭について満足しています。



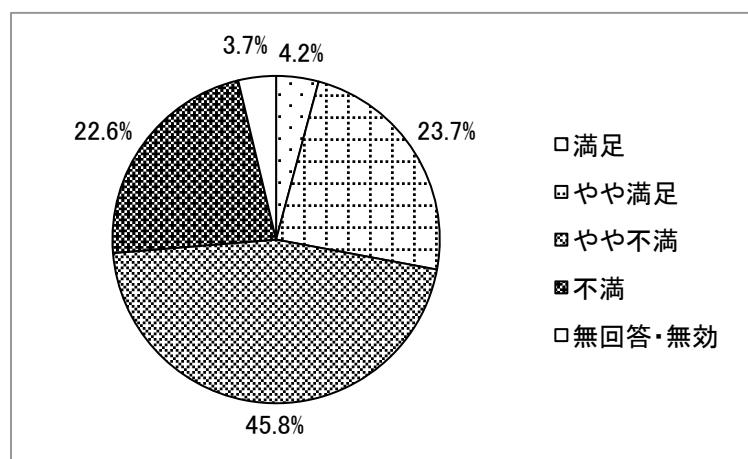
(17) 「役場に住民の声が届いているか」は不満が多い(問9)①

竹富町の行政運営について、「役場に住民の声が届いているか」という設問に対し、「不満」28.8%、「やや不満」42.8%となっています。これらを足し合 わせると 71.6%になります。町民は役場に住民の声が届いているかについて 不満があります。



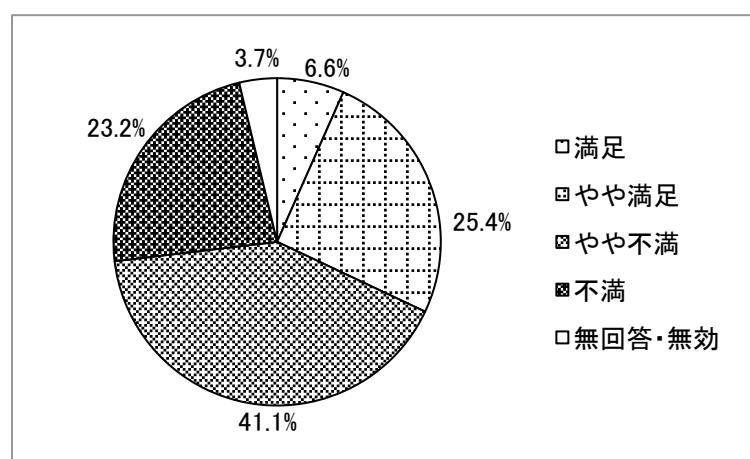
(18)「必要な情報が入手しやすいか」は不満が多い(問9)②

竹富町の行政運営について、「必要な情報が入手しやすいか」という設問に対し、「不満」22.6%、「やや不満」45.8%となっています。これらを足し合わせると78.4%になります。町民は必要な情報が入手しやすいかについて不満を持っています。



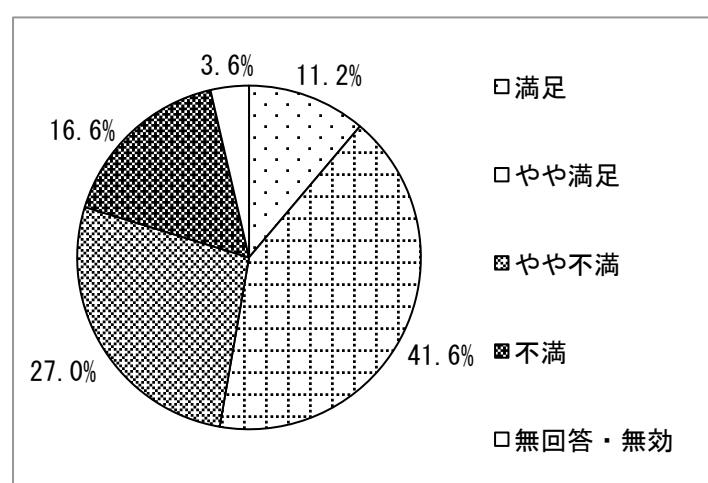
(19)「役場に気軽に意見が言えるか」は不満が多い(問9)③

竹富町の行政運営について、「役場に気軽に意見が言えるか」という設問に対し、「不満」23.2%、「やや不満」41.1%となっています。これらを足し合わせると64.3%になります。町民は行政に気軽に意見が言えるかについて不満が多いと言えます。



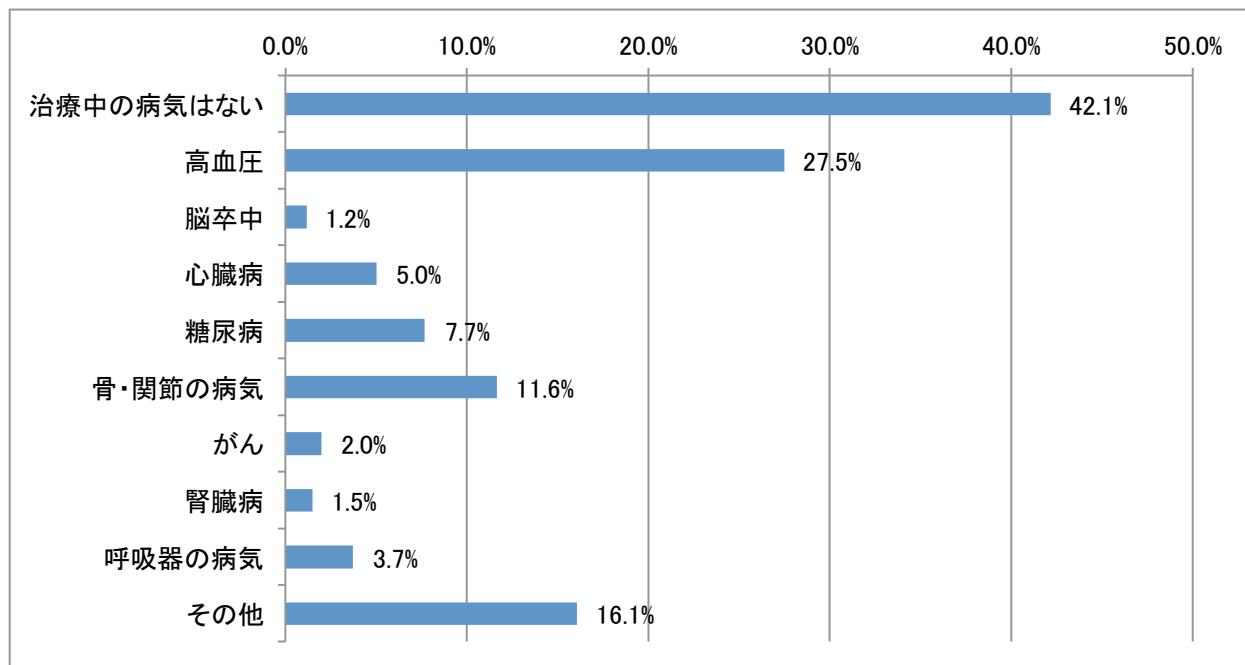
(20)職員の対応には満足と不満が拮抗(問9)④

竹富町の行政運営について、「職員の対応は丁寧か」という設問に対し、「満足」11.2%、「やや満足」41.6%となっています。これらを足し合わせると52.8%になります。町民は職員の対応については満足でもなければ不満でもない状態と言えます。



(21) 治療中の病気がない町民は 42.1%、高血圧が 27.5%(問10)

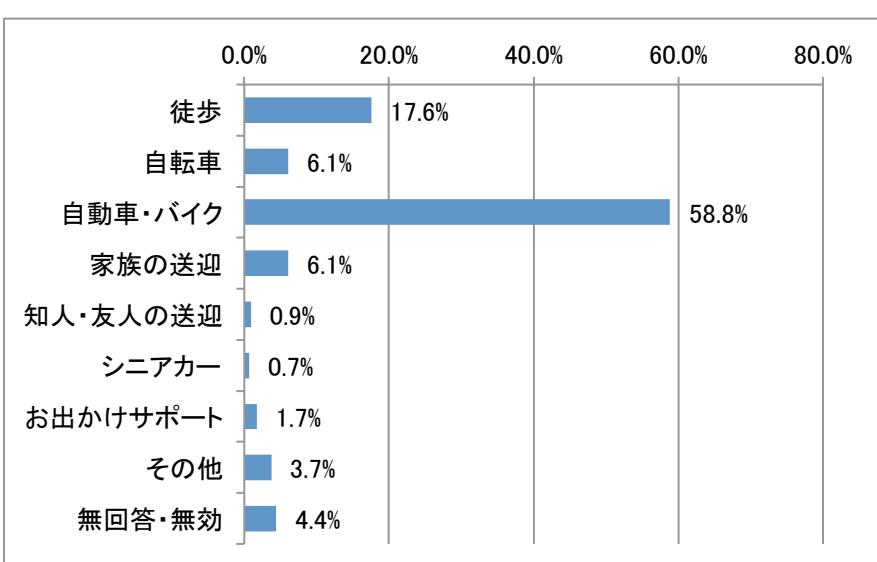
「現在治療(受診)している病気についてお聞きします」という設問に対し、「治療中の病気はない」42.1%となっています。一方、「高血圧」27.5%となっており、町民の 4 人に 1 人が高血圧の治療をしています。また、「脳卒中」1.2%、「心臓病」5.0%、「糖尿病」7.7%、「骨・関節の病気」11.6%、「がん」2.0%('その他' 16.1%) となっています。慢性疾患の日常的な管理が求められます。



(22) 診療所には自動車・バイクで行く人が多い(問11)

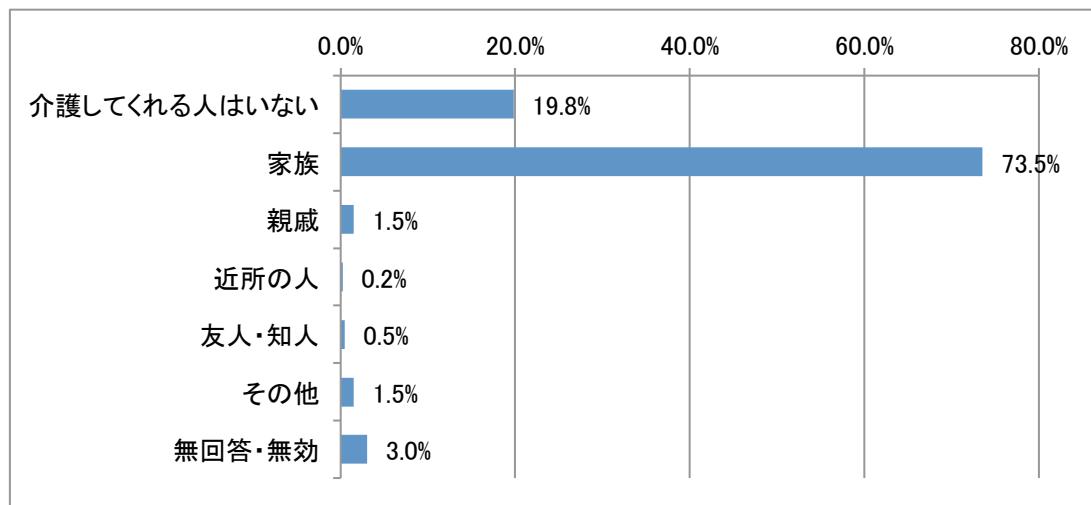
「診療所に行く場合、どのような交通手段を利用しますか」という設問に対し、「自動車・バイク」58.8%が最も多く、次いで「徒歩」

17.6%、「家族の送迎」6.1%、「自転車」6.1%、「おでかけサポート」1.7%、「知人・友人の送迎」0.9%('その他' 3.7%) となっています。町民の 6 割が診療所受診に自動車やバイクを利用しています。将来、自動車やバイクが運転できない状態になったときの移動手段が課題と言えます。



(23) 家族が介護 73.5%、介護者がいない人も 19.8%(問12)

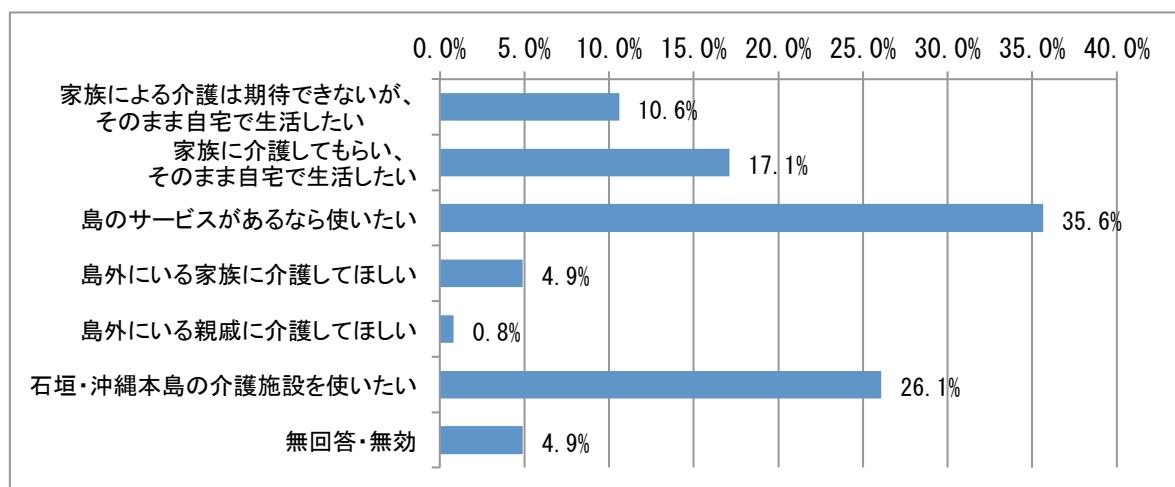
「もし、あなたが介護が必要な状態になった場合、介護してくれる人は誰ですか」という設問に対し、「家族」が 73.5%と最も多く、次いで「介護してくれる人はいない」19.8%、「親戚」1.5%、「友人・知人」0.5%（「その他」1.5%）となっています。町民の約 7 割は家族が介護してくれる一方、約 2 割の町民は介護してくれる人がいないことが明らかとなりました。介護してくれる人がいない町民が利用できる介護サービスが望まれます。



(24) 認知症になつたら島のサービスを使いたい 35.6%(問13)

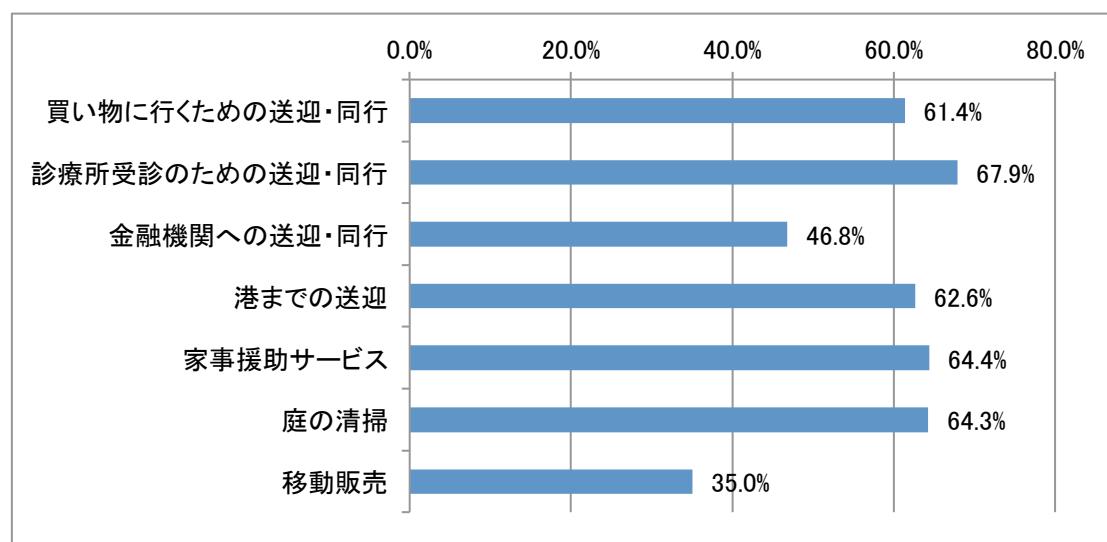
「もし、あなたが家族が分からぬくらいの重い認知症になった場合、どうしたいですか」という設問に対し、「島のサービスがあるなら使いたい」が 35.6%と最も多く、次いで「石垣・沖縄本島の介護施設を使いたい」26.1%、「家族に介護してもらいそのまま自宅で生活したい」17.1%、「家族による介護は期待できないが、そのまま自宅で生活したい」10.6%などとなっています。

3 割を超える町民が島にサービスがあるなら使いたいと思っていることが明らかとなりました。なお、町内で生活したいと思っている人は 73.3%に達します。認知症に対応できる施設を切望している町民は少なくありません。

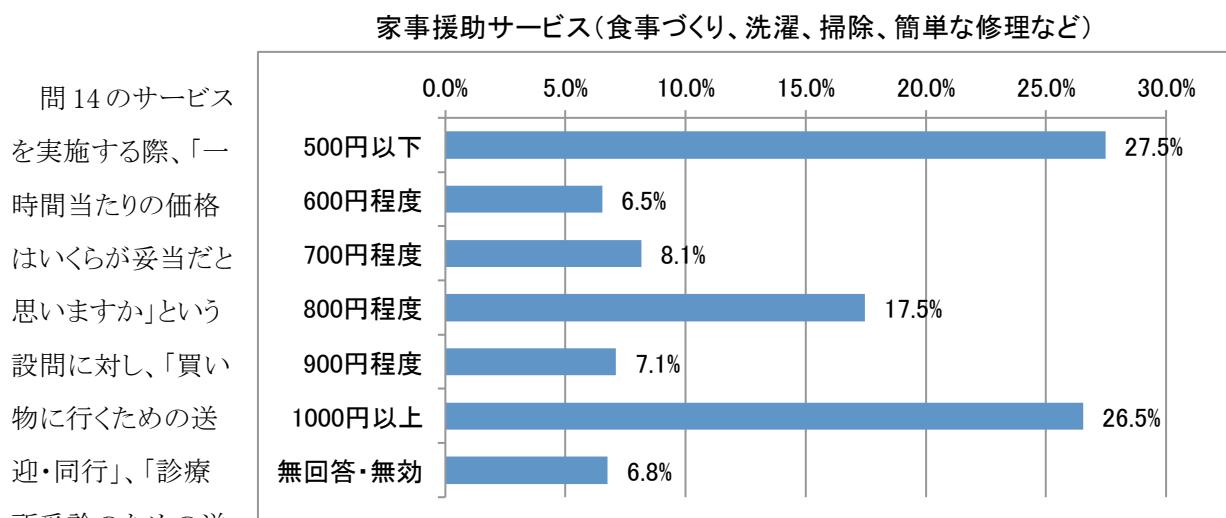


(25) 町民が高齢になつたらほとんどのサービスを利用したい！(問14)

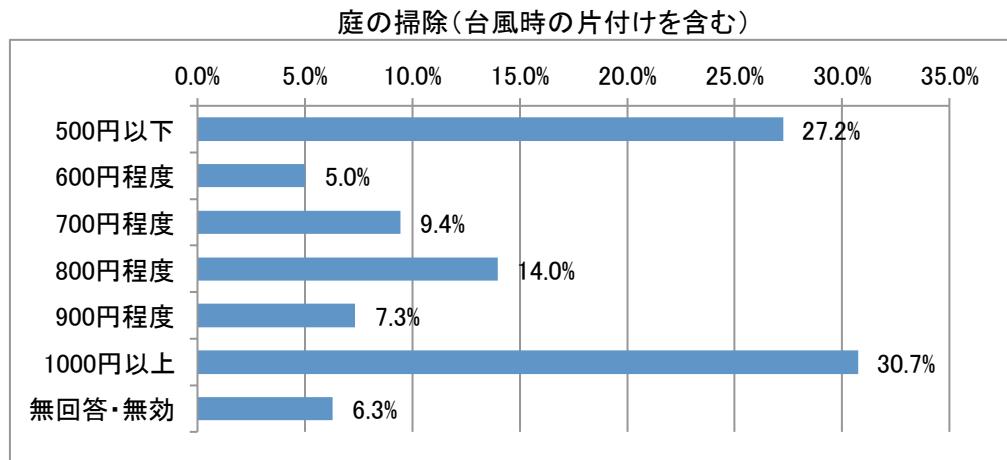
「あなたが高齢になりサービスが必要な時、下記のサービスがあれば利用したいと思いますか」という設問に対し、「診療所受診のための送迎・同行」が 67.9%と最も多く、次いで「家事援助サービス」64.4%、「庭の清掃」64.3%、「港までの送迎」62.6%、「買い物に行くための送迎・同行」61.4%、「金融機関への送迎・同行」46.8%となっています。診療所受診のための送迎・同行は町民の 7 割が希望しており、「移動販売」の 35.0%を除くサービスを町民の半数が利用したいと思っています。



(26) 家事援助と庭の清掃は 500 円以下と 1,000 円以上払ってでも利用したい人が拮抗！(問15)



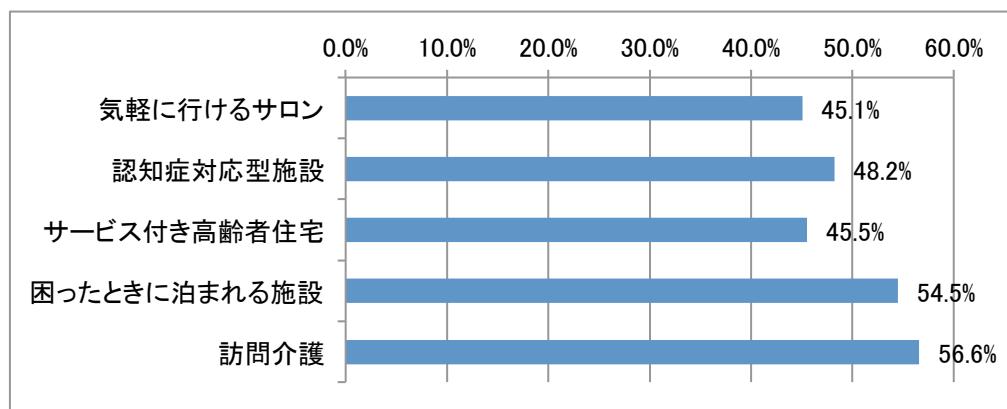
設問に対し、「買い物に行くための送迎・同行」、「診療所受診のための送迎・同行」、「港までの送迎」は「500 円以下」の回答が最も多い一方、「家事援助サービス」および「庭の清掃」は「500 円以下」と「1,000 円以上」の回答が多くなっています。町民は家事援助サービスと庭の清掃は 1,000 円以上払ってでも利用したいと思っている人が拮抗しています。



(27) 町民は、高齢者サービスや施設が島にあれば利用したい！

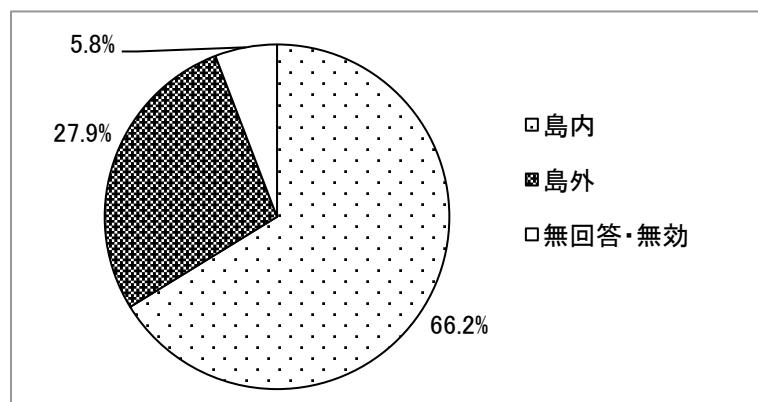
(問16)

「あなたは下記の施設が島にあれば利用したいと思いますか」という設問に対し、「訪問介護」56.6%、「困ったときに泊まれる施設」54.5%、「認知症対応型施設」48.2%、「サービス付き高齢者住宅」45.5%、「気軽に行けるサロン」45.1%、となってています。「訪問介護」、「困ったときに泊まれる施設」はそれぞれ半数の町民が利用したいと思っていることが分かります。町民は高齢者のサービスや施設が島にあれば利用したいと思っています。



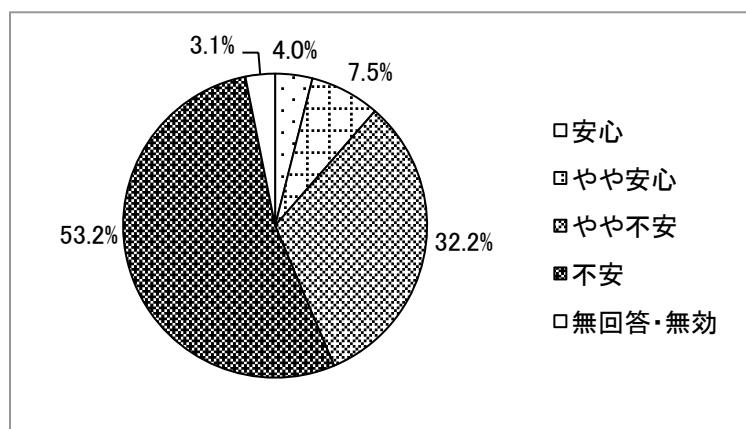
(28) 町民は、島内で最期を迎えるたい！(問17)

「最期はどこで迎えたいですか」という設問に対し、「島内」という回答が66.2%に達し、「島外」という回答 27.9%を大きく上回りました。町民の 6 割以上が島内で最期を迎えるたいと思っています。



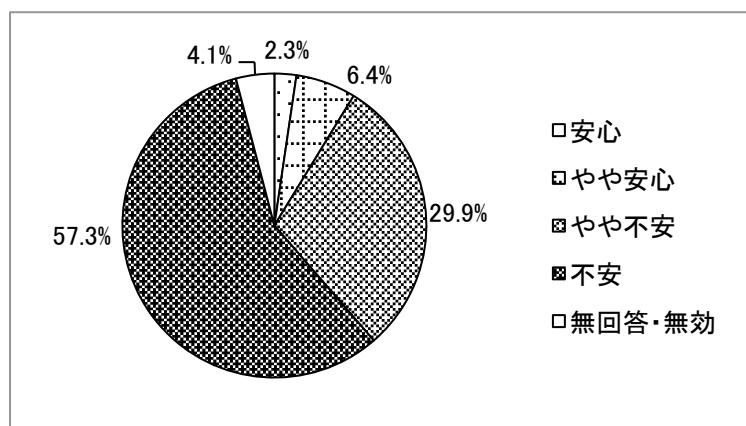
(29) 病気や介護でお金がかかることが不安(問18)①

自分が病気や介護が必要になった場合について、「お金がかかること」という設問に対し、「不安」53.2%、「やや不安」32.2%となっています。これらを足し合わせると85.4%に達します。9割近くの町民は自分が病気や介護が必要になった場合、お金がかかることに不安を感じています。



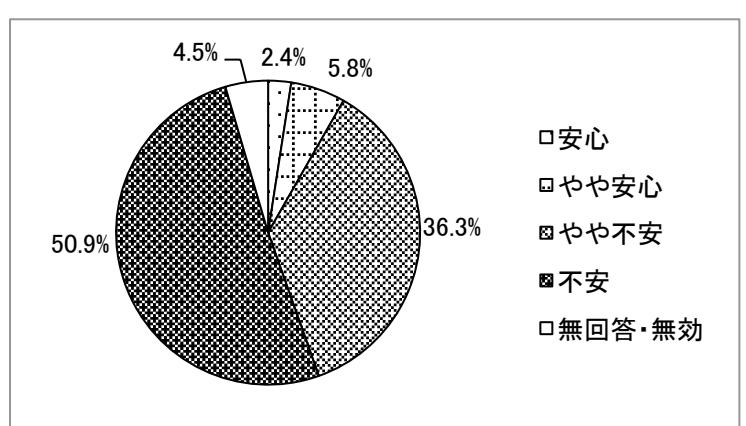
(30) 病気や介護で家族の負担が増えることが不安(問18)②

自分が病気や介護が必要になった場合について、「家族の負担が増えること」という設問に対し、「不安」57.3%、「やや不安」29.9%となっています。これらを足し合わせると87.2%に達します。9割の町民は自分が病気や介護が必要になった場合、家族の負担が増えることに不安を感じています。



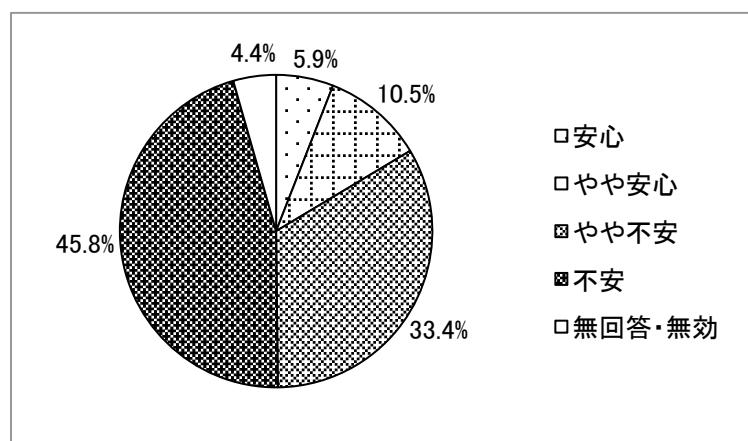
(31) 施設に入るかが不安(問18)③

自分が病気や介護が必要になった場合について、「施設に入るかどうか」という設問に対し、「不安」50.9%、「やや不安」36.3%となっています。これらを足し合わせると87.2%に達します。9割の町民は自分が病気や介護が必要になった場合、施設に入るかどうかに不安を感じています。



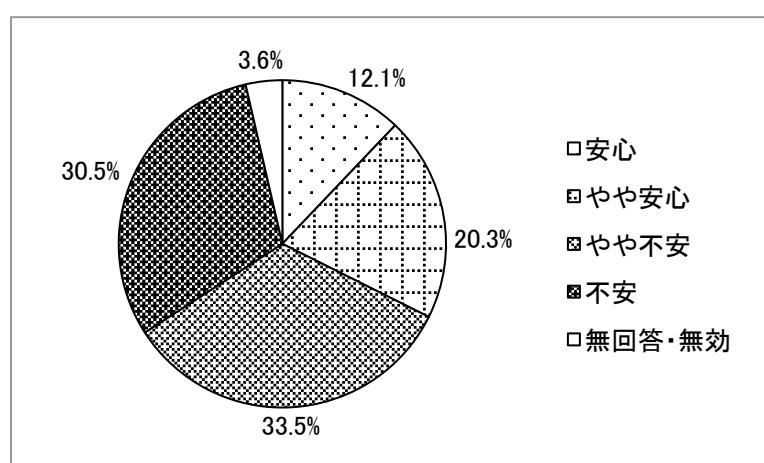
(32)介護者がいるかどうかが不安(問18)④

自分が病気や介護が必要になった場合について、「介護者がいるかどうか」という設問に対し、「不安」45.8%、「やや不安」33.4%となっています。これらを足し合わせると79.2%に達します。8割の町民は自分が病気や介護が必要になった場合、介護者がいるかどうかに不安を感じています。



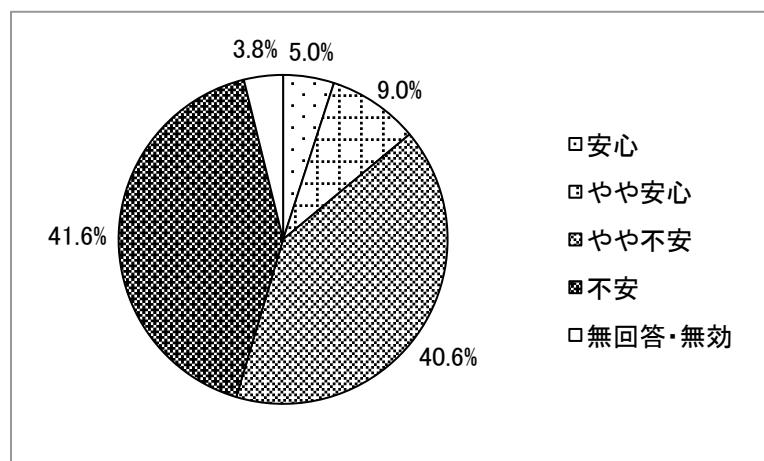
(33)病気や介護の相談できる相手がいるかどうかが不安(問18)⑤

自分が病気や介護が必要になった場合について、「相談できる相手がいるかどうか」という設問に対し、「不安」30.5%、「やや不安」33.5%となっています。これらを足し合わせると64.0%に達します。町民は自分が病気や介護が必要になった場合、相談できる相手がいるかどうかに不安を感じています。



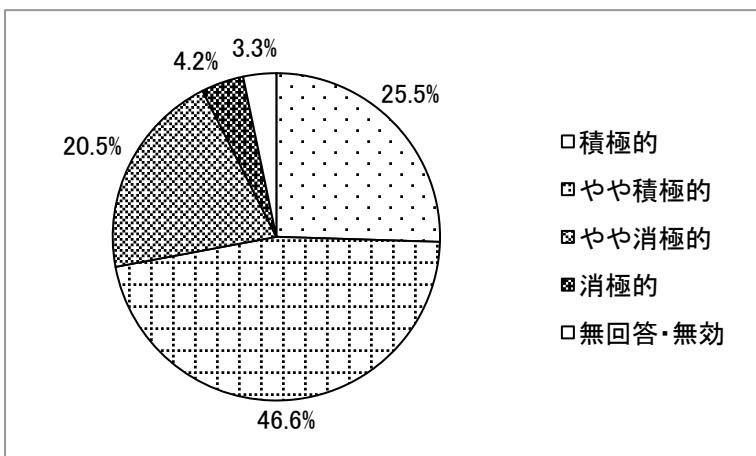
(34)8割の町民が在宅で利用できるサービスがあるかどうか不安(問18)⑥

自分が病気や介護が必要になった場合について、「在宅で利用できるサービスがあるかどうか」という設問に対し、「不安」41.6%、「やや不安」40.6%となっています。これらを足し合わせると82.2%に達します。8割を超える町民が自宅で利用できるサービスを望んでいます。



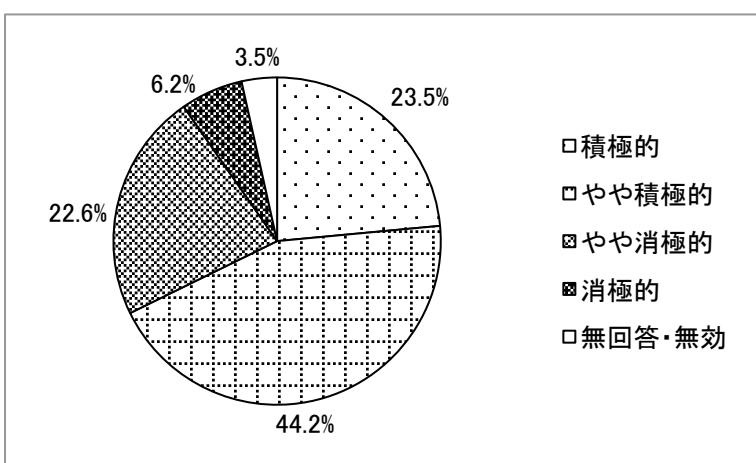
(35) 町民は、節電など環境を意識した生活行動に積極的(問19)①

自分の行動について、「身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など)」という設問に対し、「積極的」25.5%、「やや積極的」46.6%となっています。これらを足し合わせると72.1%に達します。7割以上の町民は節電など環境を意識した生活行動に積極的です。



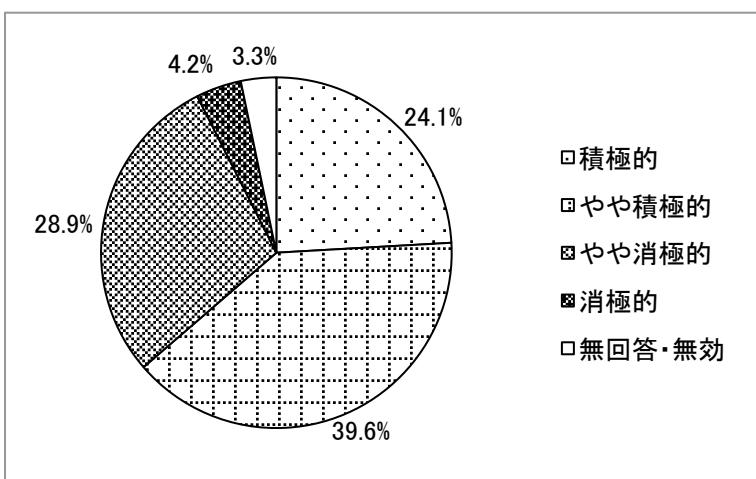
(36) 町民は、清掃活動など環境保全のための活動に積極的(問19)②

自分の行動について、「身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など)」という設問に対し、「積極的」23.5%、「やや積極的」44.2%となっています。これらを足し合わせると67.7%に達します。6割以上の町民は地区活動や清掃活動など環境保全のための活動に積極的です。



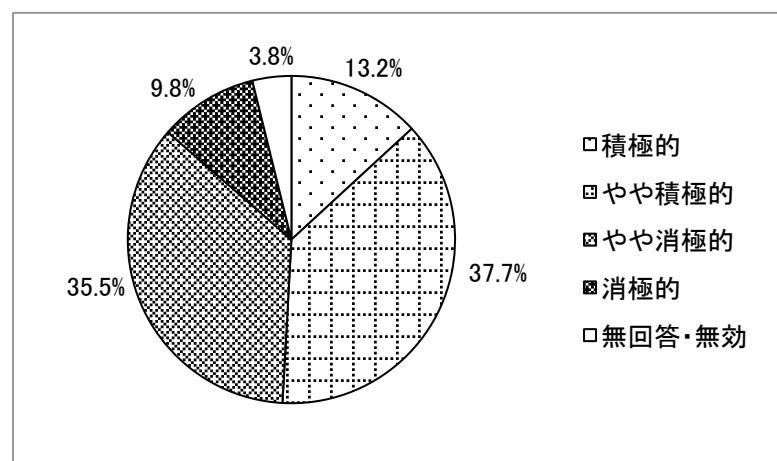
(37) 町民は、食事や運動などの健康づくりには概ね積極的(問19)③

自分の行動について、「規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり」という設問に対し、「積極的」24.1%、「やや積極的」39.6%となっています。これらを足し合わせると63.7%になります。6割の町民は規則正しい食事や運動などの健康づくりに積極的です。



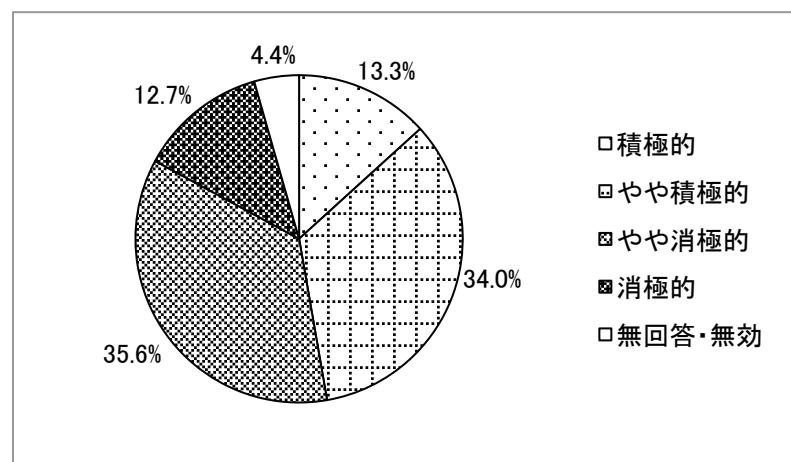
(38) 防犯・防災活動は積極的と消極的が拮抗(問19)④

自分の行動について、「防犯・防災活動」という設問に対し、「積極的」13.2%、「やや積極的」37.7%となっています。これらを足し合わせると50.9%になります。これは「消極的」と「やや消極的」を足し合わせた割合45.3%を上回りますが、ほとんど差がありません。つまり、町民は防犯・防災活動について積極的でもなければ消極的でもない状態と言えます。



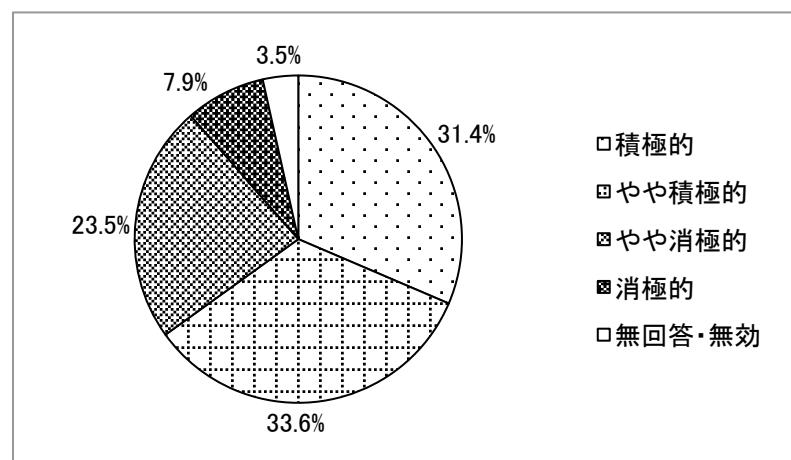
(39) 学習活動への参加は積極的と消極的が拮抗(問19)④

自分の行動について、「学習活動」という設問に対し、「積極的」13.3%、「やや積極的」34.0%となっています。これらを足し合わせると47.3%になります。これは「消極的」と「やや消極的」を足し合わせた割合48.3%とほぼ同数であり、学習活動への参加は、積極的でも消極的でもない状態と言えます。



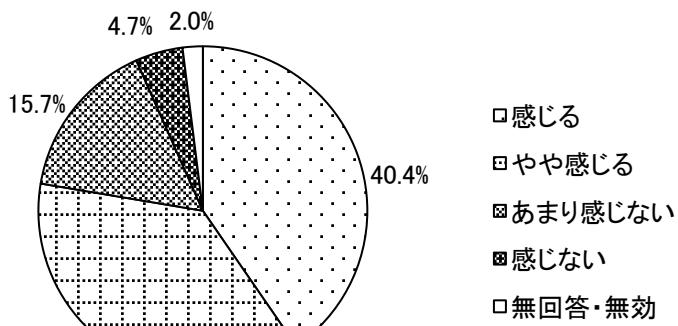
(40) 町民は、祭りや伝統行事への参加に積極的(問19)⑤

自分の行動について、「地域の祭りや伝統行事への参加」という設問に対し、「積極的」31.4%、「やや積極的」33.6%となっています。これらを足し合わせると65.0%に達します。6割以上の町民は地域の祭りや伝統行事への参加に積極的です。



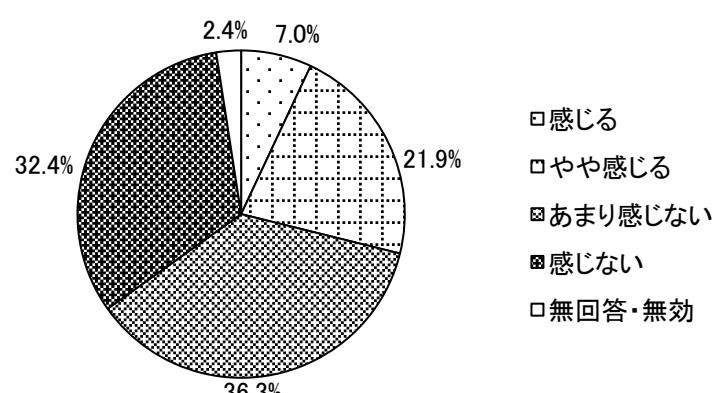
(41) 町民は、集落の一員としての連帯感を感じている(問20)①

自分の日常的な意識について、「集落(部落)の一員としての連帯感」という設問に対し、「感じる」40.4%、「やや感じる」37.3%となっています。これらを足し合わせると77.7%に達します。8割近くの町民は部落の一員としての連帯感を感じています。



(42) 町民は、孤独感は感じていない(問20)②

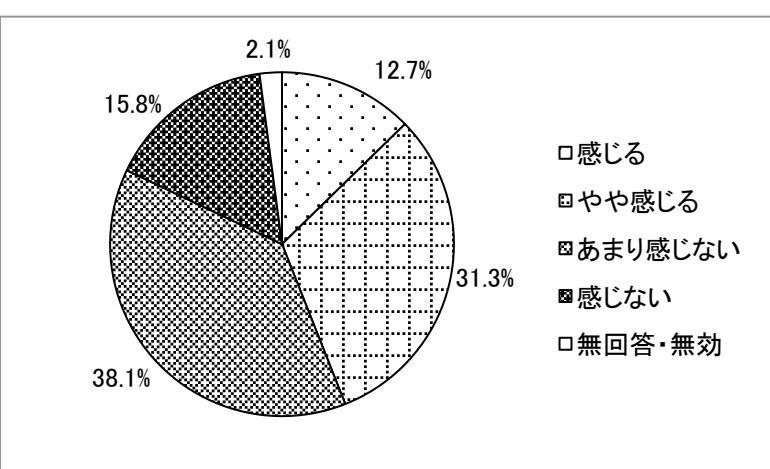
自分の日常的な意識について、「日々の生活の中での孤独感」という設問に対し、「感じない」32.4%、「あまり感じない」36.3%となっています。これらを足し合わせると68.7%に達します。約7割の町民は日々の生活の中での孤独感を感じていません。



(43) 町民は、日々の生活の中での不安や悩みを感じていない

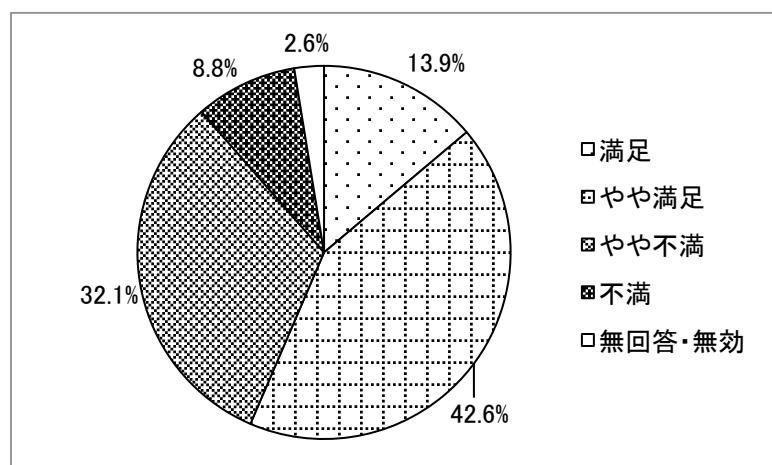
(問20)③

自分の日常的な意識について、「日々の生活の中での不安や悩み」という設問に対し、「感じない」15.8%、「あまり感じない」38.1%となっています。これらを足し合わせると53.9%になります。「感じる」「やや感じる」を合わせた44.0%より10%高くなっています。



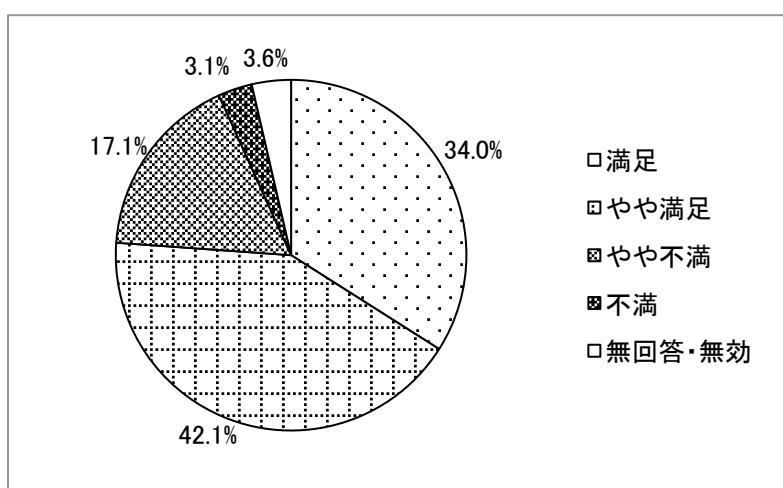
(44) 町民は、自分の健康状態には概ね満足(問21)①

自分の健康状態、食生活、暮らし方について、「自分の健康状態」という設問に対し、「満足」13.9%、「やや満足」42.6%となっています。これらを足し合わせると 56.5%になります。約 6 割の町民は自分の健康状態に満足しています。



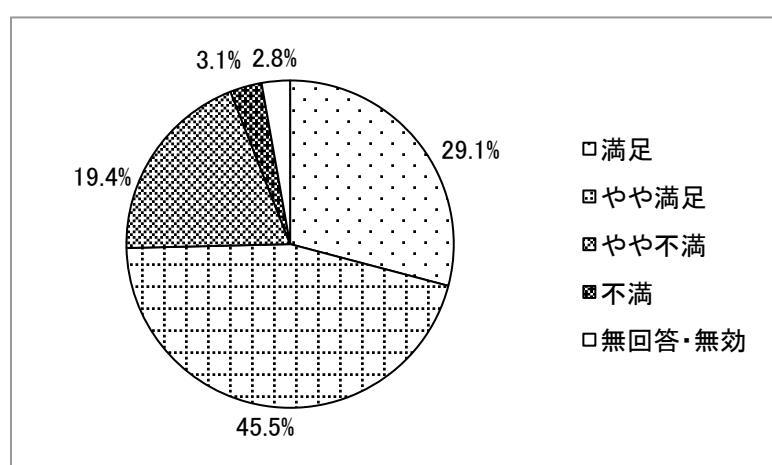
(45) 町民は、話し相手に満足(問21)②

自分の健康状態、食生活、暮らし方について、「話し相手」という設問に対し、「満足」34.0%、「やや満足」42.1%となっています。これらを足し合わせると 76.1%に達します。8 割近くの町民は自分の話し相手に満足しています。



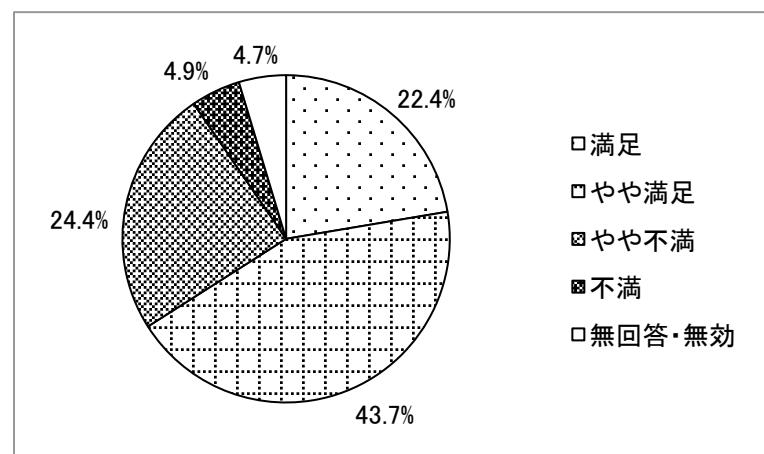
(46) 町民は、日常の食生活の内容に満足(問21)③

自分の健康状態、食生活、暮らし方について、「日常の食生活の内容」という設問に対し、「満足」29.1%、「やや満足」45.5%となっています。これらを足し合わせると 74.6%に達します。7 割以上の町民は日常の食生活の内容に満足しています。



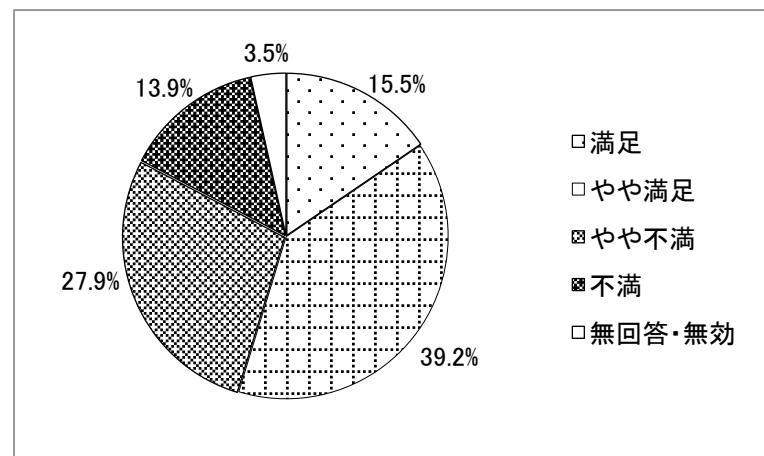
(47) 町民は、仕事と生活のバランスに満足(問21)④

自分の健康状態、食生活、暮らし方について、「仕事と生活のバランス」という設問に対し、「満足」22.4%、「やや満足」43.7%となっています。これらを足し合わせると66.1%に達します。7割近くの町民は仕事と生活のバランスに満足しています。



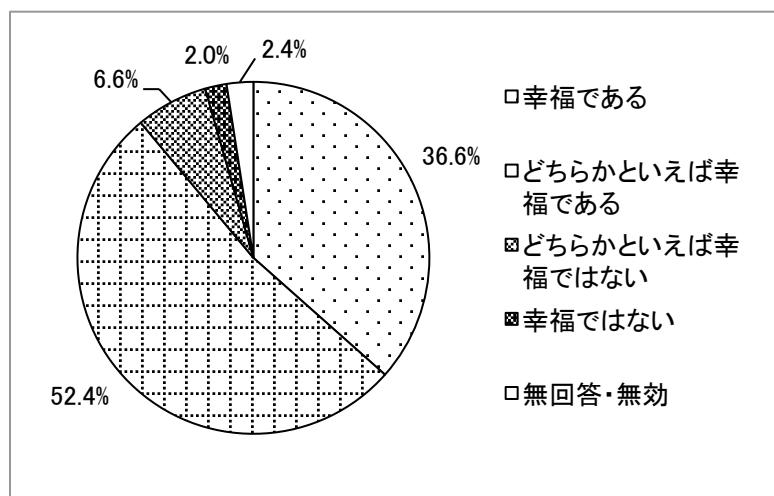
(48) 自分の生活費は不満が多い(問21)⑤

自分の健康状態、食生活、暮らし方について、「あなたの生活費」という設問に対し、「満足」15.5%、「やや満足」39.2%となっています。これらを足し合わせると54.7%になります。これは「不満」と「やや不満」を足し合わせた割合41.8%を上回ります。つまり、町民はどちらかというと自分の生活費について不満が多いと言えます。



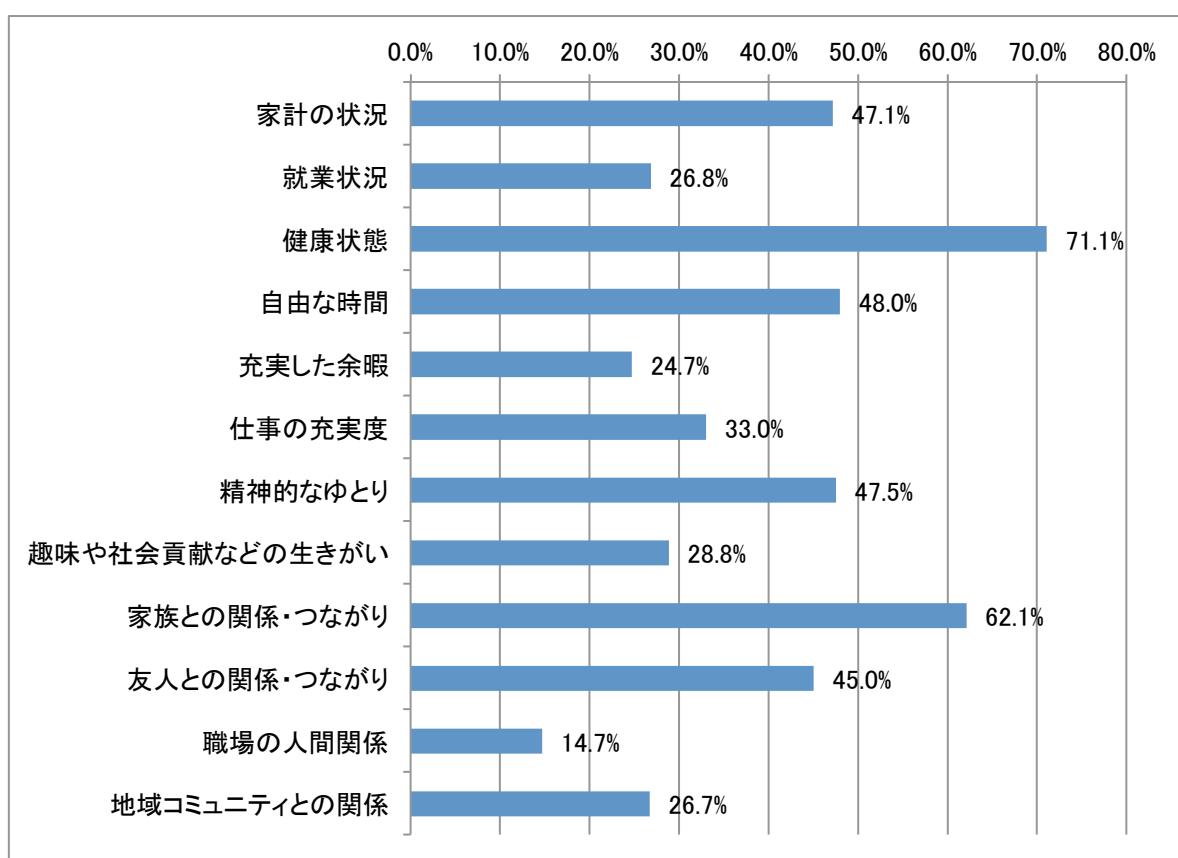
(49) 町民は、幸せだと感じている(問22)

「あなたは、いま幸せですか」という設問に対し、「幸福である」36.6%、「どちらかといえば幸福である」52.4%となっています。これらを足し合わせると89.0%に達します。約9割の町民が幸せと感じています。



(50) 幸福感の判断基準は健康状態 71.1% (問23)

「あなたが幸福感を判断する際に重視することは何ですか」という設問に対し、「健康状態」71.1%が最も多くなっています。4割以上の町民が挙げている他の判断基準を見ると、「家族との関係・つながり」62.1%、「自由な時間」48.0%、「精神的なゆとり」47.5%、「家計の状況」47.1%、「友人との関係・つながり」45.0%、となっています。町民の約7割は幸福感の判断基準に健康状態を挙げています。町民の幸せをより強固なものにするためには健康増進と同時に、町民が病気や介護が必要になった際の不安を取り除くことが不可欠でしょう。

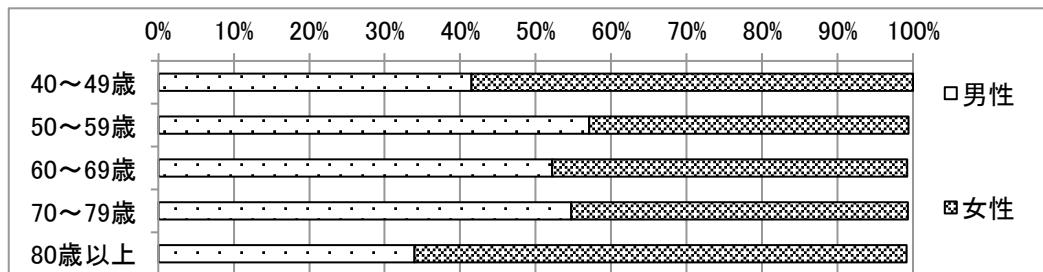


4 年齢別クロス集計の結果

10歳区分の年齢別にみると、以下のような特徴が見受けられます。

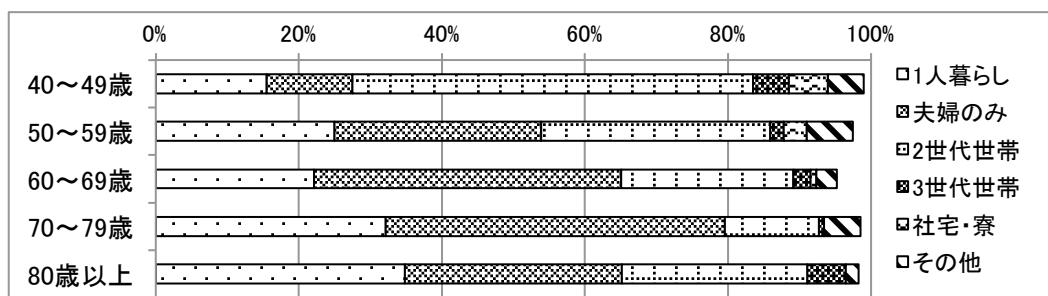
(1)回答者の属性に関して

- ① 40歳代と80歳代は女性の回答者が多く、その他の世代は男性の回答者がやや多くなっています。

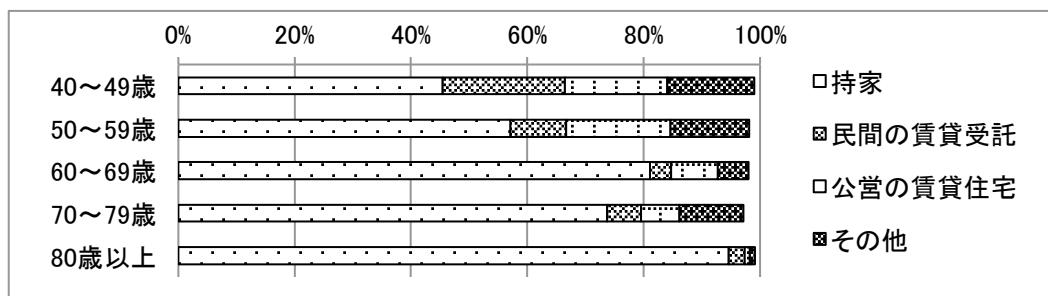


- ② 40歳代は、2世帯で住んでいる人が多いがその他の世代は夫婦2人暮らしが多くなっています。

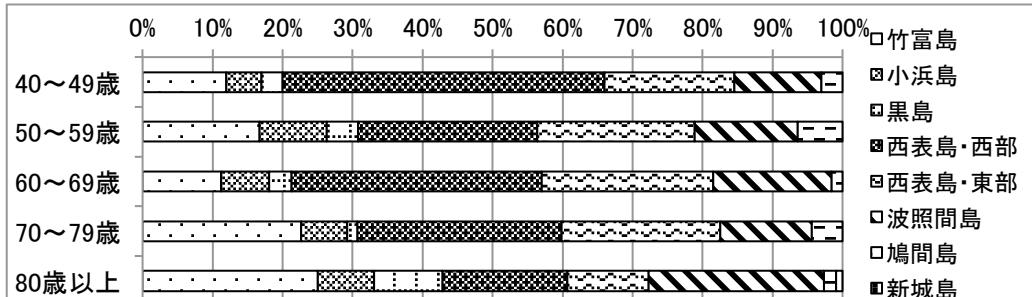
70歳を超えると一人暮らしが急増しています。



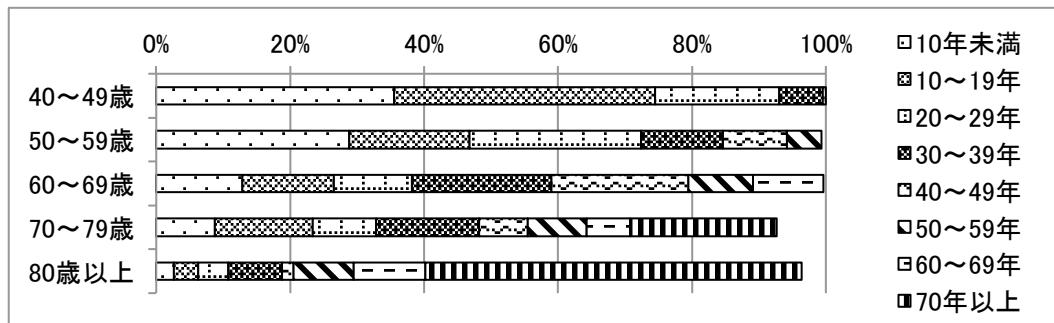
- ③ 全世代で持ち家が多く、特に60歳以上は7割以上が持ち家です。



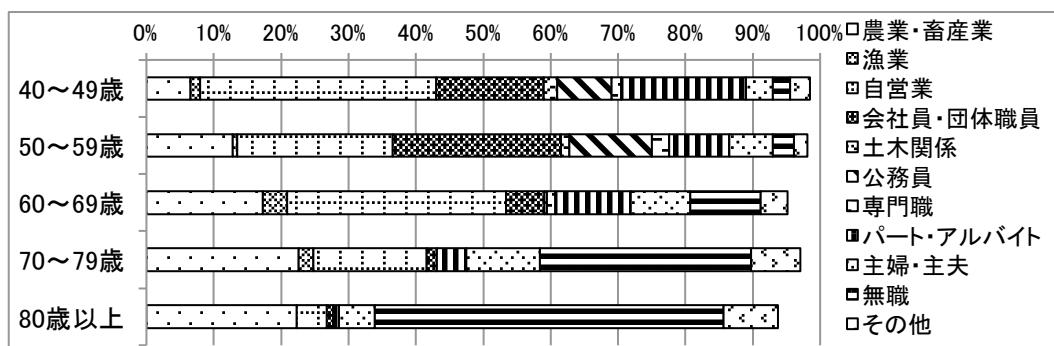
- ④ 西表西部地区は、40歳代の回答者の比率が高く、80歳以上を除く全世代で最も回答者が多くなっています。



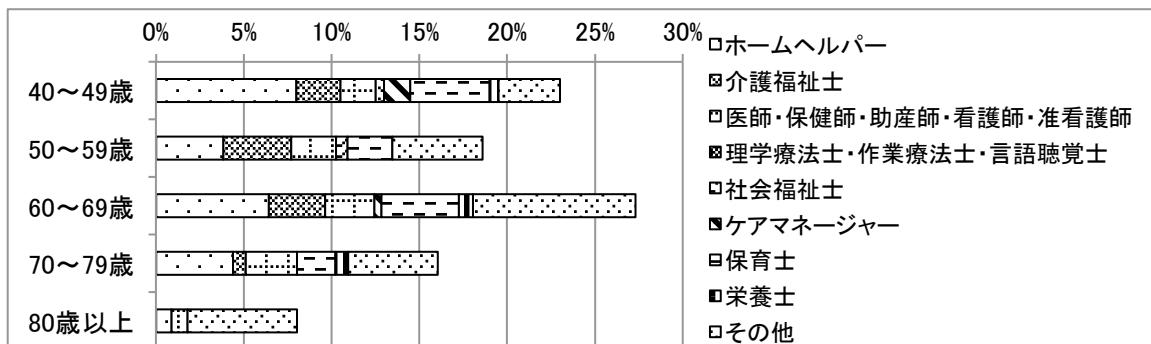
- ⑤ 70歳以上の人々は町外で暮らした期間が短く、40～50歳代は、町内での居住歴が10年未満の人々が多くなっています。



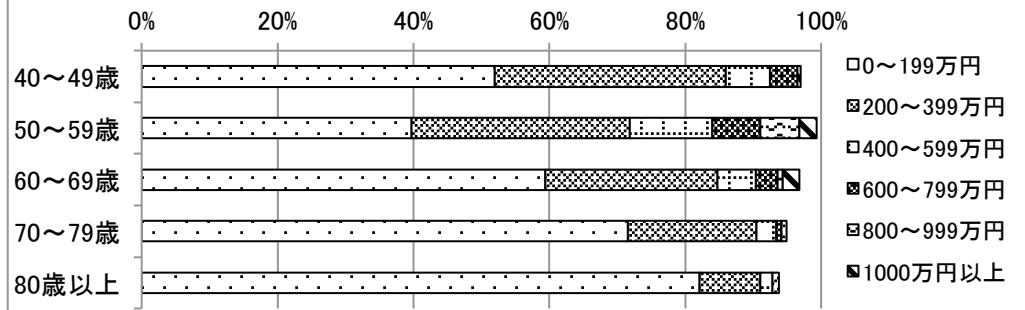
- ⑥ 40～60歳代は自営業の人々が多く、次いで会社員、農業となっています。70歳代以降は、無職と農業が多くなっています。



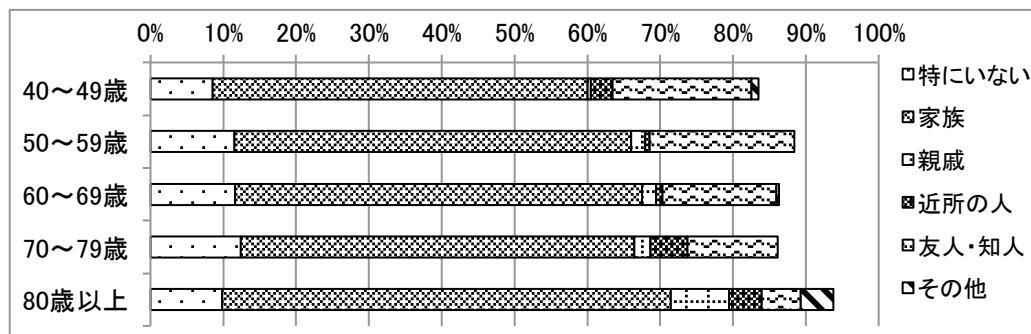
- ⑦ 全国平均と比較して福祉関連の有資格者比率が高いと考えられます。特に40～60歳代のヘルパー、介護福祉士の資格保有者の比率が高くなっています。



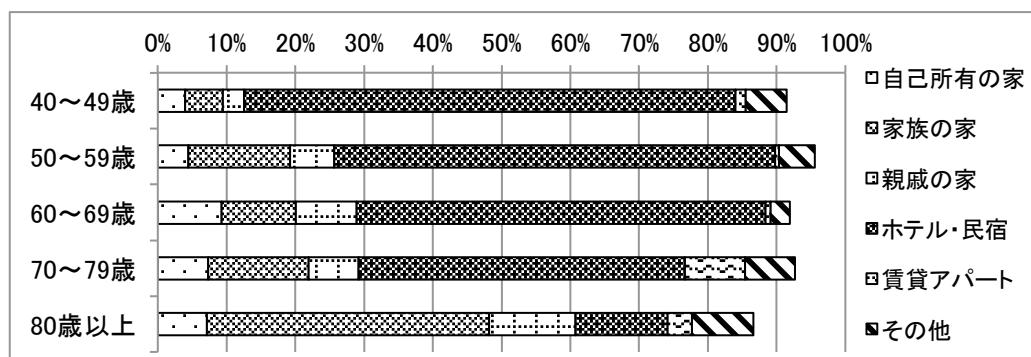
- ⑧ 50歳代の収入が高く、60歳代以降は収入が激減します。年金額の低さなどの影響について検討が必要です。



- ⑨ 相談相手は、全世代で「家族」が圧倒的に多くなっています。特に80歳以上は6割以上が家族と相談しています。40～50歳代は、2割が友人と相談しています。

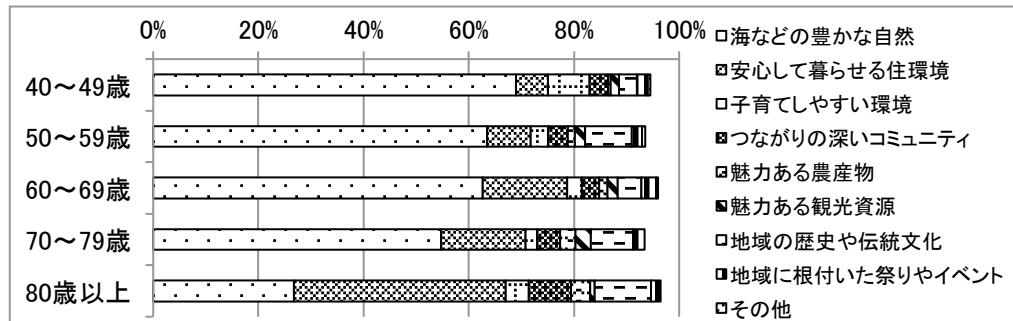


- ⑩ 80歳以上の人の4割は石垣島に家族がいますが、若い世代は石垣島ではホテル・民宿に滞在しています。石垣島での宿泊先の確保は、今後の課題になると考えられます。

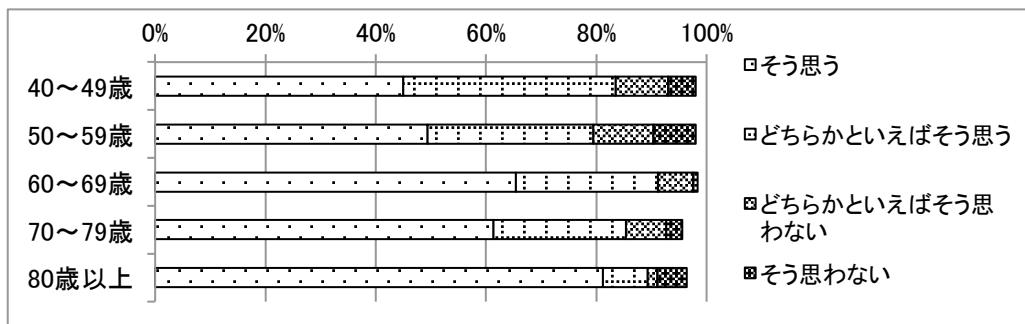


(2) 質問項目について

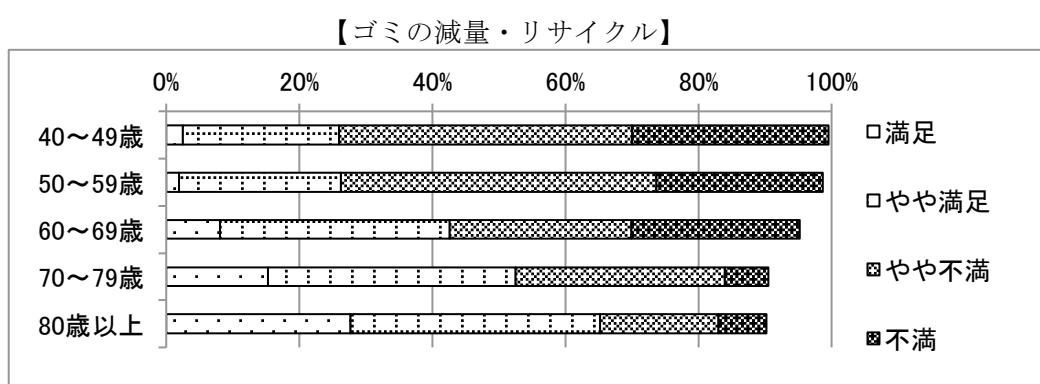
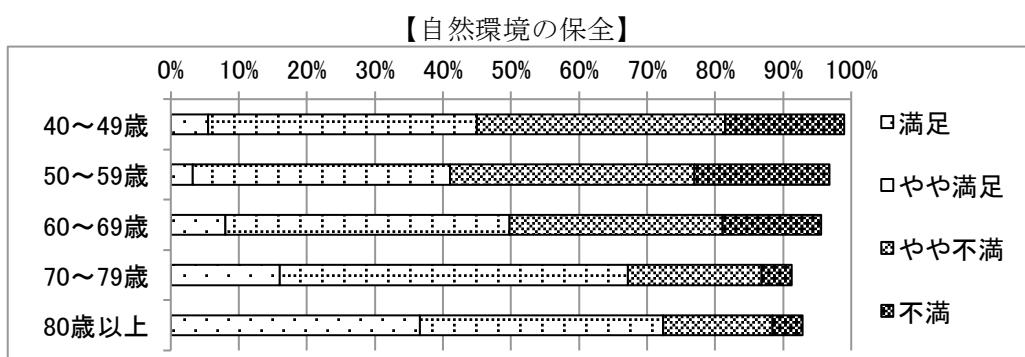
- ① 全ての世代で「海などの豊かな自然」に愛着を感じているが、80歳以上は「安心して暮らせる住環境」を誇りに思っている。



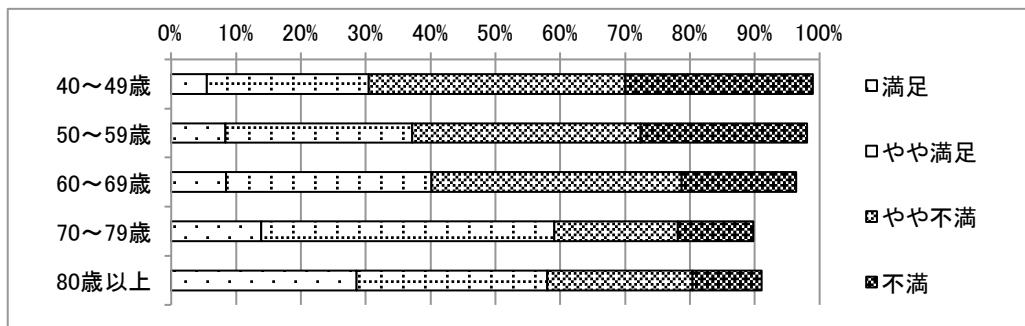
- ② 全世代で8割の住民が竹富町に住み続けたいと考えている。



- ③ 40～60歳の人は自然環境の保全、ゴミ問題、生活インフラについて不満を持つ人の割合が高い。

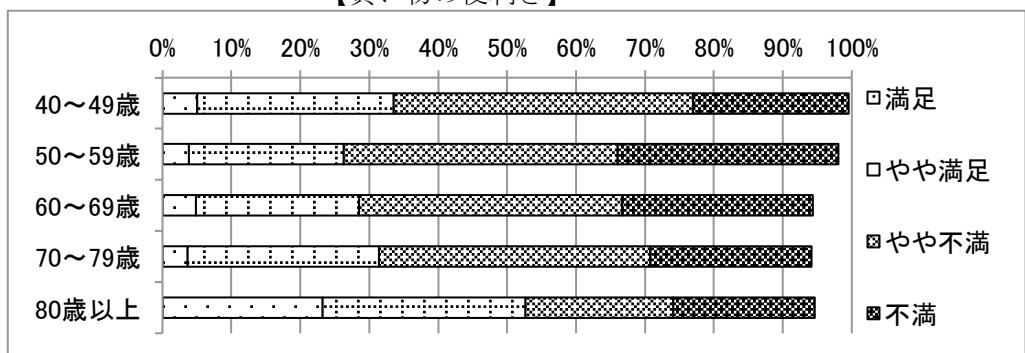


【下水道・道路・情報通信】

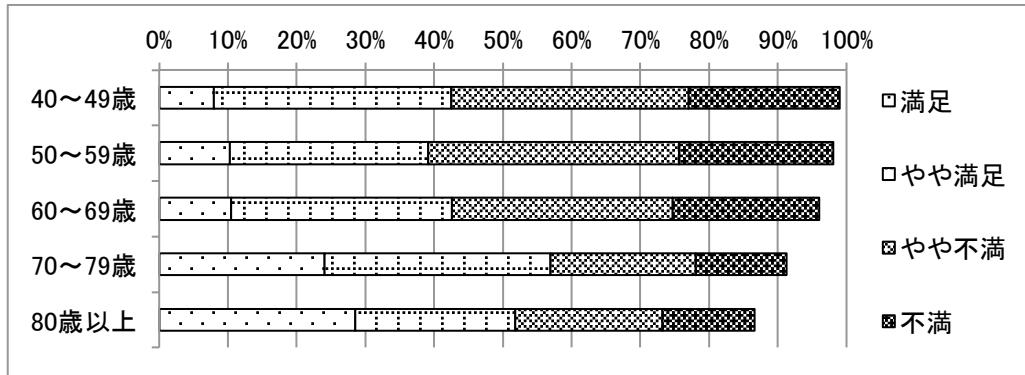


- ④ 日常的な買い物では80歳、移動手段の確保では70歳を超えると不安や不満が高くなる。

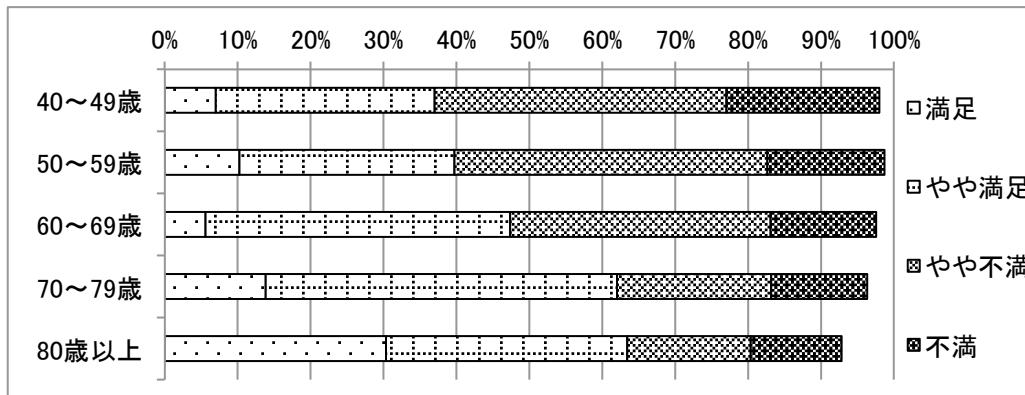
【買い物の便利さ】



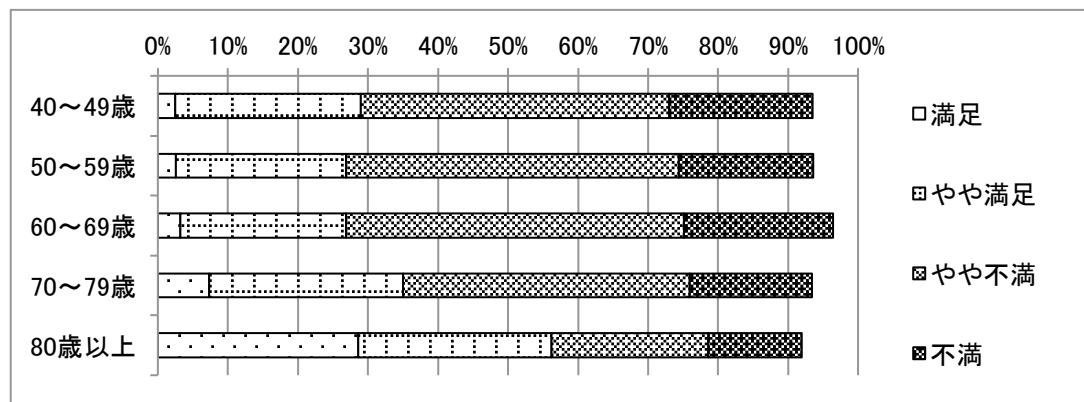
【日常的移動手段】



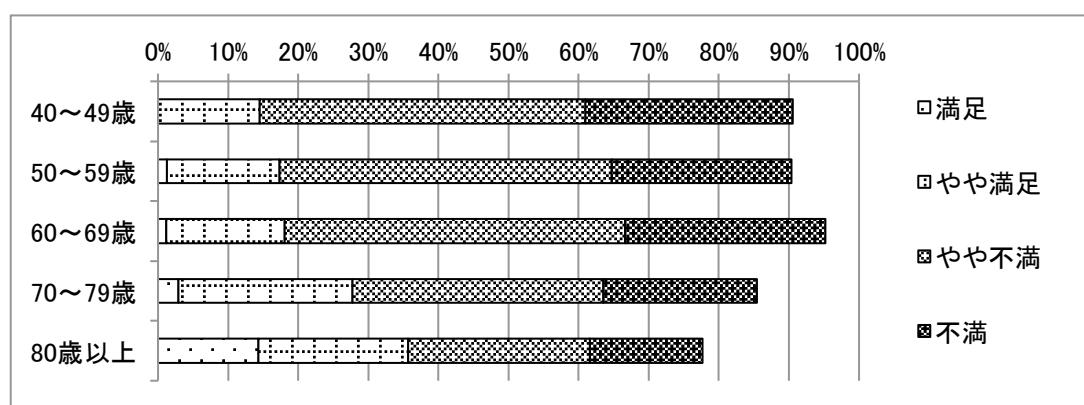
- ⑤ 病気やケガなどの際に利用できる医療サービスについては、40～69歳までの不満が5割を超え、また若い世代ほど不満が多い。70歳以上は満足が6割を超え、現状を受け入れる傾向が見受けられる。



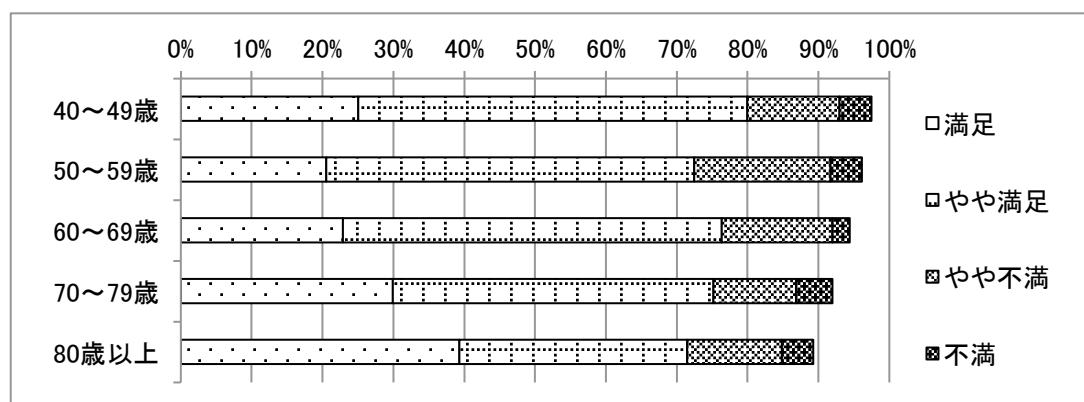
- ⑥ 高齢者が利用できる介護・福祉サービスに対しての不満が強く40～69歳までの不満が7割を超え、70歳台も6割を超えている。医療サービスの不満に比べても高い。



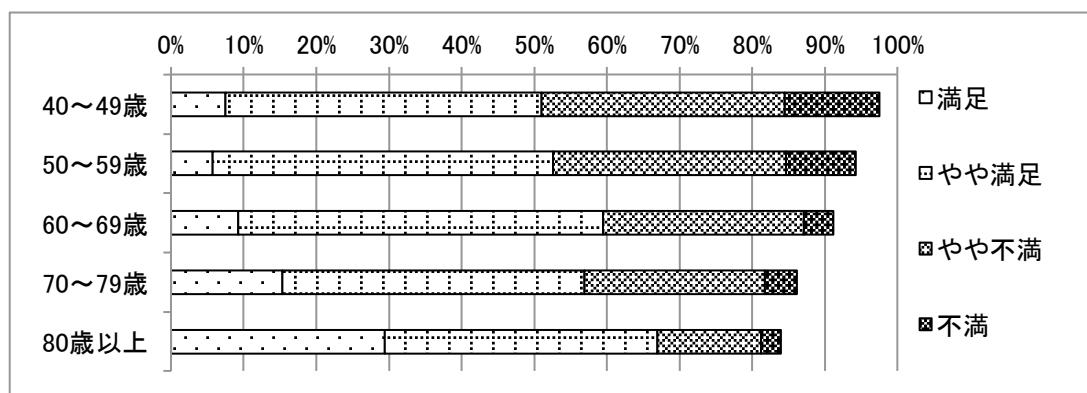
- ⑦ 障がい者が利用できる介護・福祉サービスに対しての不満も強く40～69歳までの不満が8割を超え、70歳台も7割を超えている。実態がよくわからないためと思われる未記入も多い。



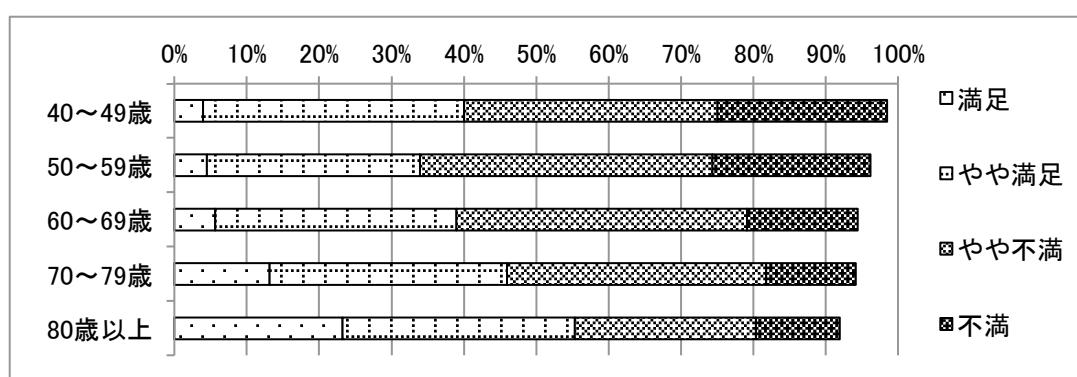
- ⑧ 健康相談や健康指導、健診や病気予防などに対する満足度は全世代で高い。50歳代の不満が比較的強く、中年の働き盛りの人への対策が望まれる。



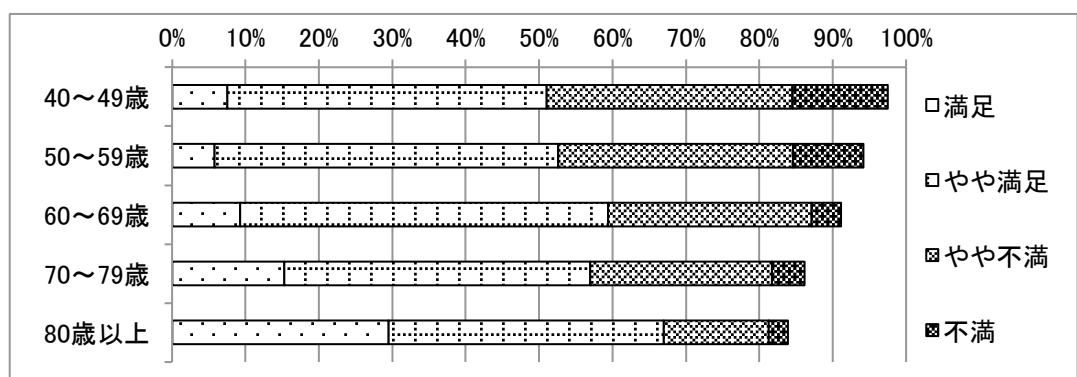
- ⑨ 健康増進に施設については 40～79 歳までが 4 割を超えて不満を持っている。



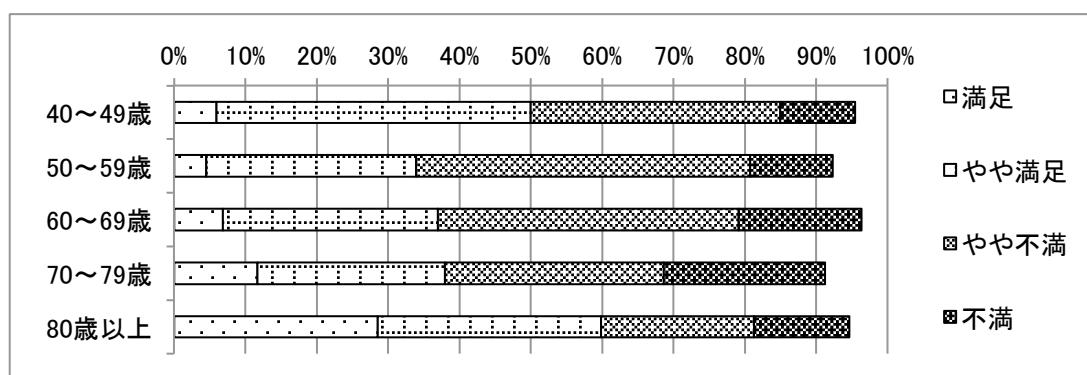
- ⑩ 町の防災・避難対策については、60 歳代までの若い世代の不満が高い。



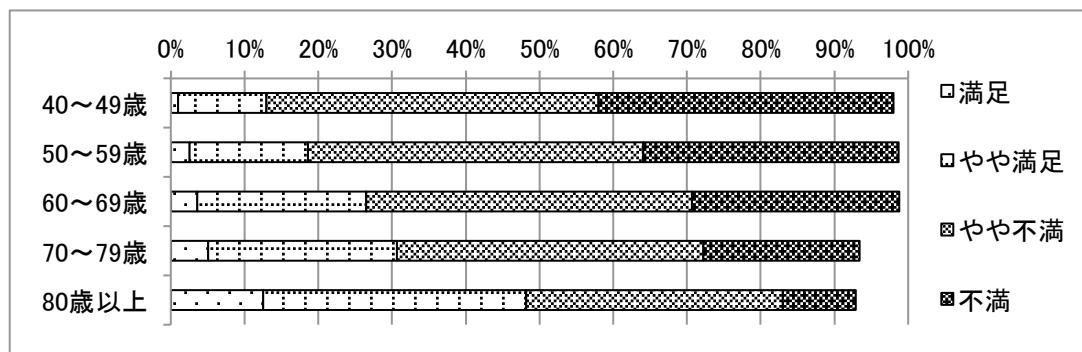
- ⑪ 子育て環境の整備については、全世代で満足度が高いが、比較的若い世代に不満が高い。



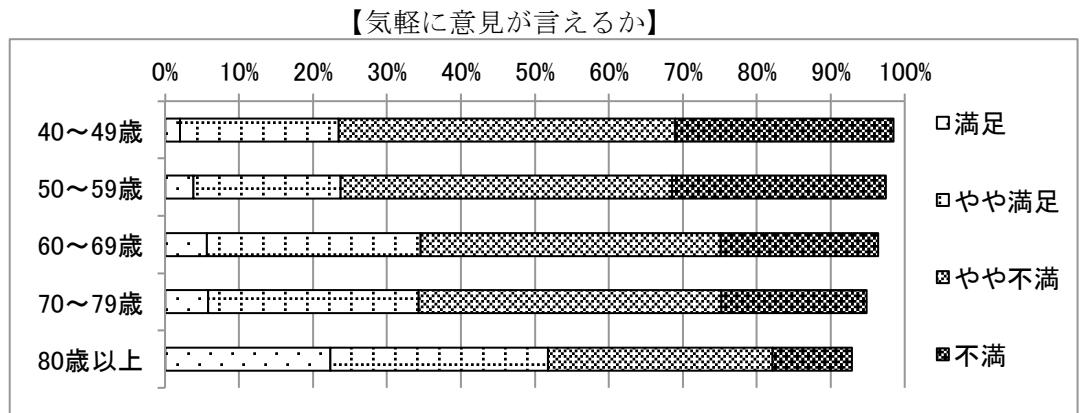
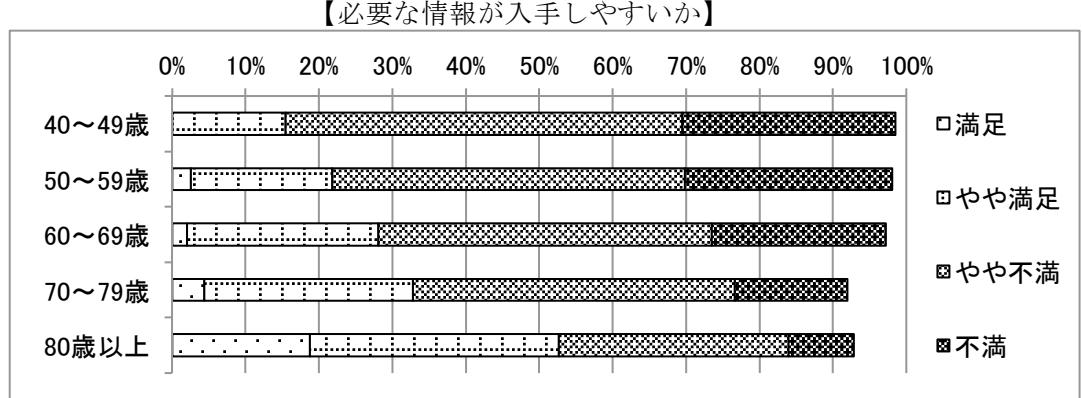
- ⑫ お年寄りが気軽に楽しめる場所は、50～70 歳代の不満が高い。80 歳以上では、満足度が高い。



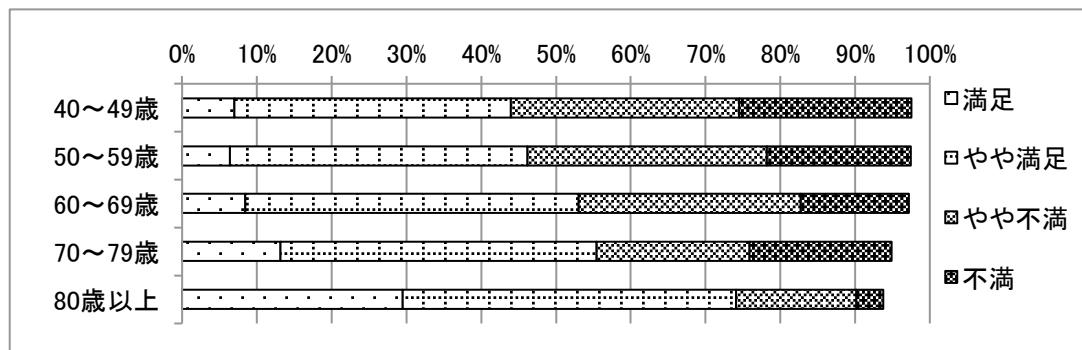
- ⑬ 若い世代ほど役場に町民の声が届いていないと感じている。



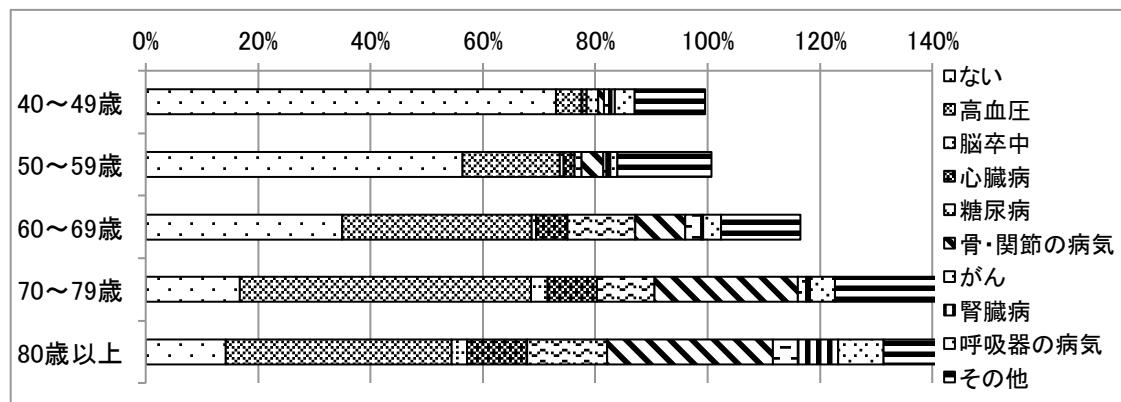
- ⑭ 「必要な情報が入手しやすいか」と「気軽に意見を伝えるか」については、40~50 歳代の不満が特に強い。



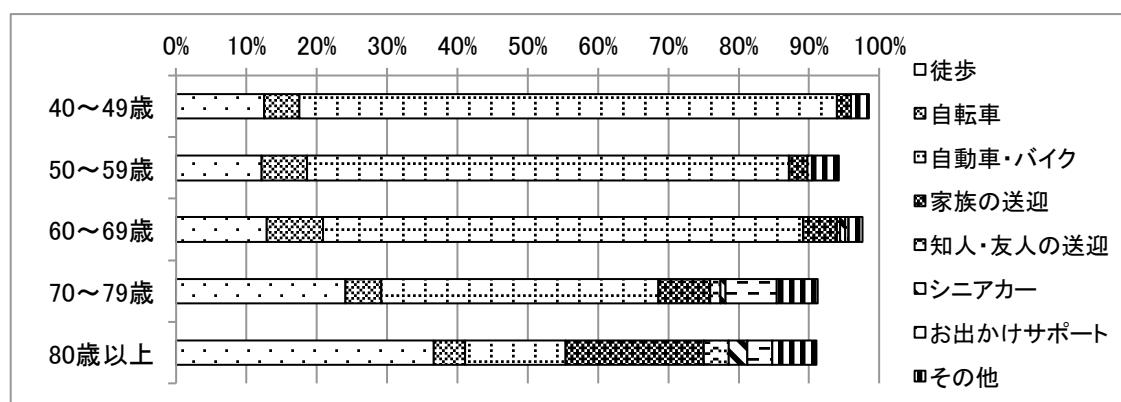
- ⑮ 町職員の対応については、若い世代で「やや不満」の割合が高い。



- ⑯ 高齢になるにつれて治療中の病気は増えるが、圧倒的に高血圧が多く、70歳以上では骨や関節の病気が激増する。(複数回答あり)



- ⑰ 70歳を超えると「徒歩」で診療所に通う人が激増する。

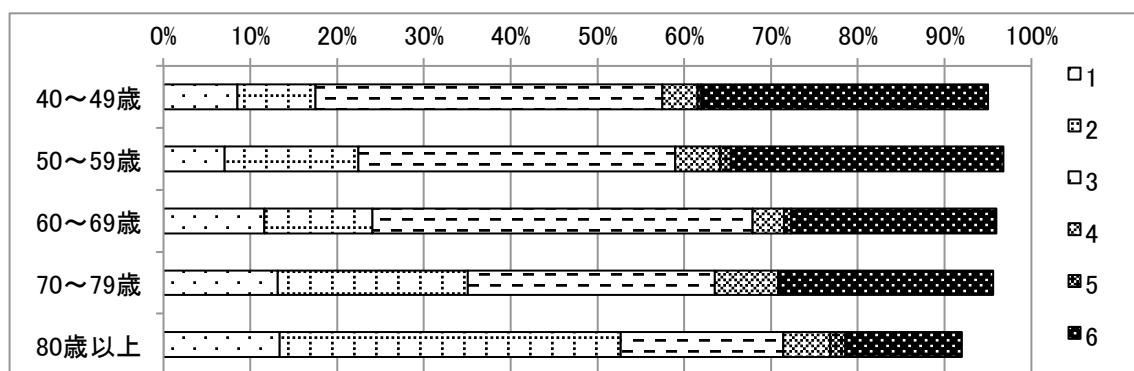


- ⑯ 認知症対応では、はつきりと意識の違いが認められる。

70歳代…家族に介護してもらい自宅で過ごしたい

60歳代…島にサービスがあるなら使いたい

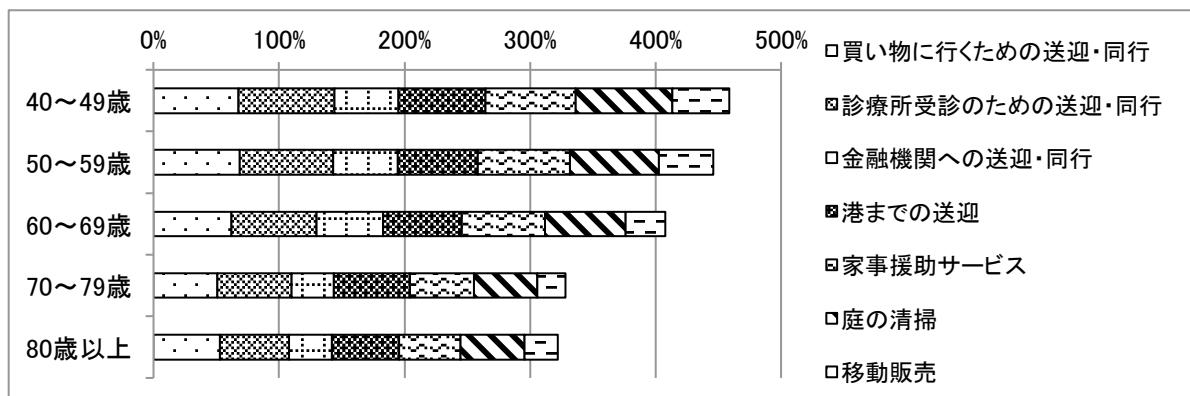
40~50歳代…石垣・沖縄本島の施設を使いたい



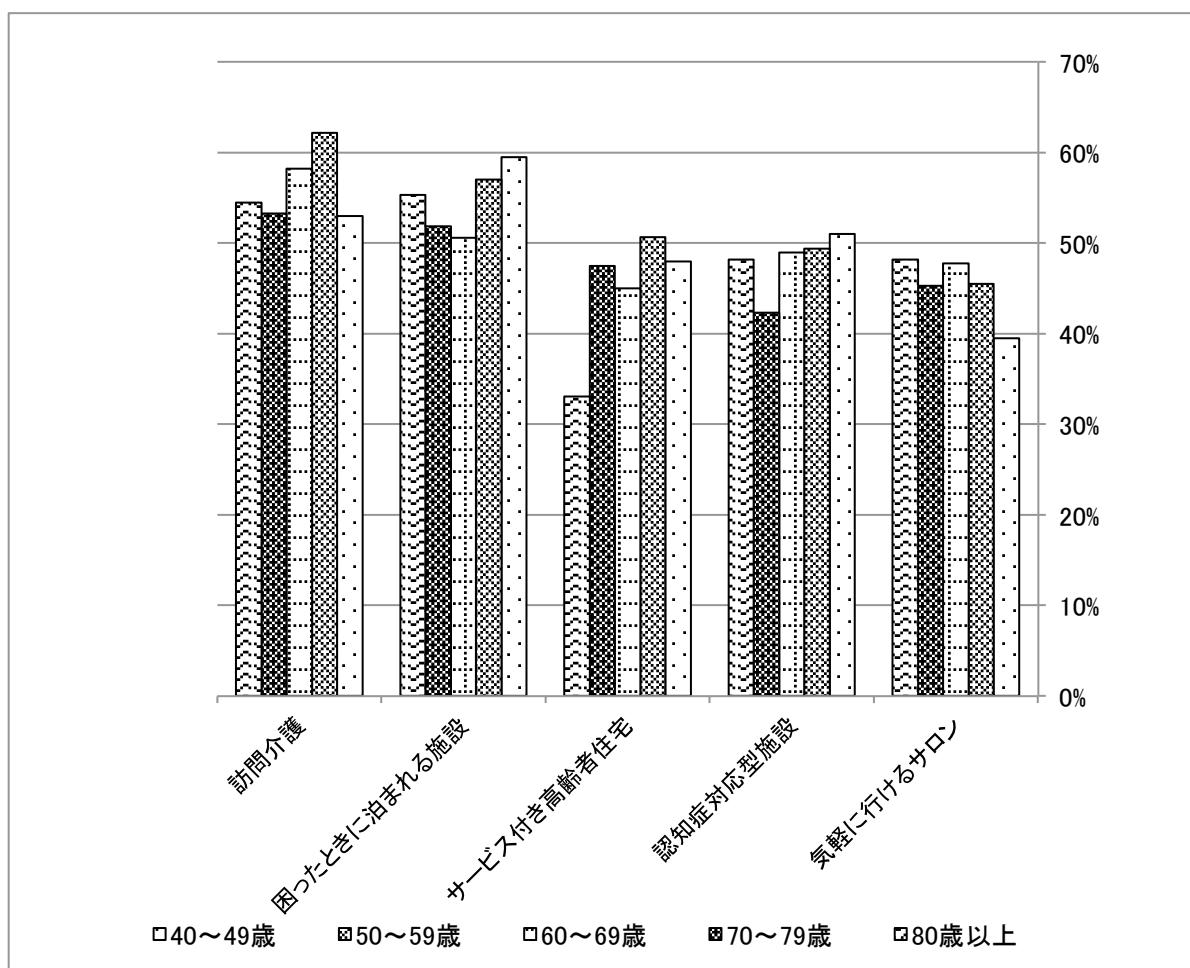
1. 家族による介護は期待できないが、そのまま自宅で生活したい
2. 家族に介護してもらい、そのまま自宅で生活したい
3. 島のサービスがあるなら使いたい

4. 島外にいる家族(子ども等)に介護してほしい
5. 島外にいる親戚に介護してほしい
6. 石垣・沖縄本島の介護施設を使いたい

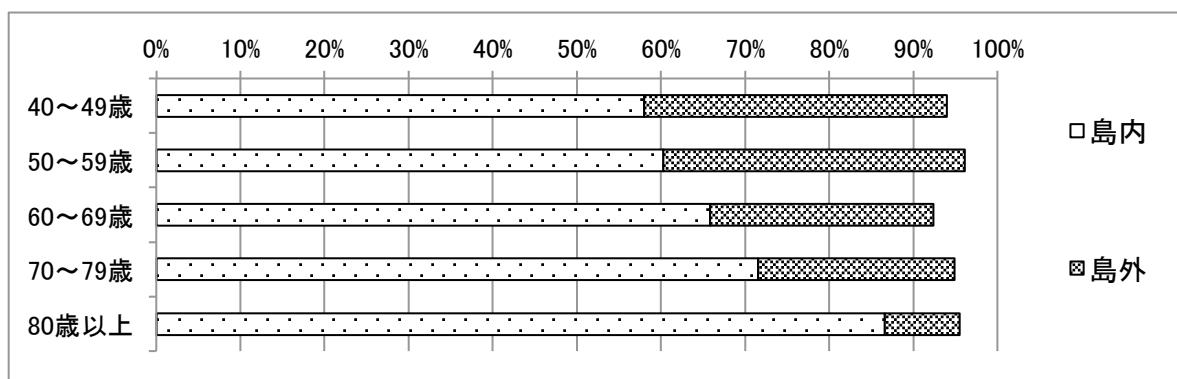
- ⑯ 高齢期のサービス要求では、庭の掃除や家事援助、送迎などの要求が高く、全ての要望が若い世代ほど高い。(複数回答あり)



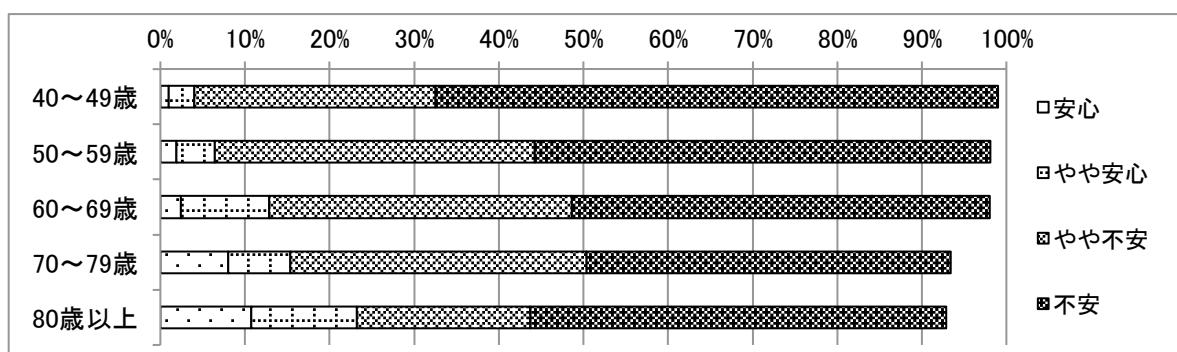
- ⑰ 島に必要な高齢者福祉サービスについては、40歳代で泊まれる施設、50～70歳代で訪問介護の要望が高い。全世代で訪問介護、泊まれる施設、認知症対応型施設の要望が高い。(複数回答あり)



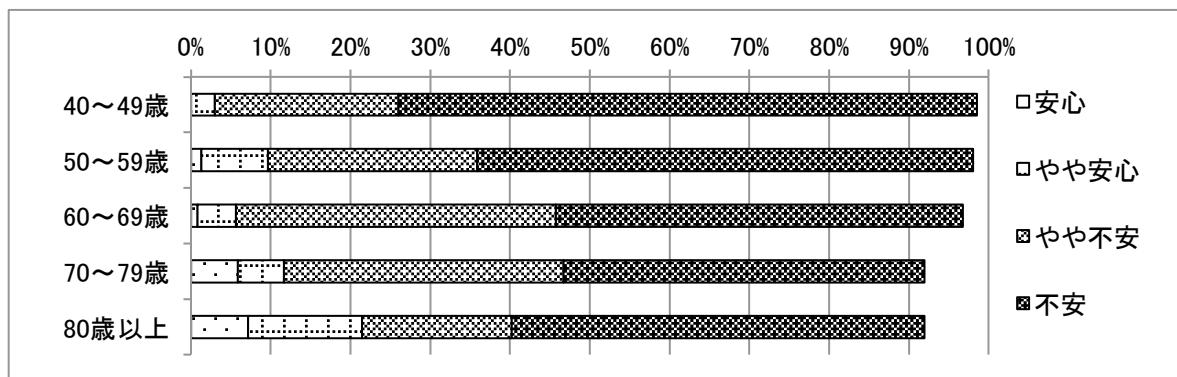
- ② 最期をどこで迎えるかでは、全世代で圧倒的に「島内」が多い。70歳代以上で特に顕著である。



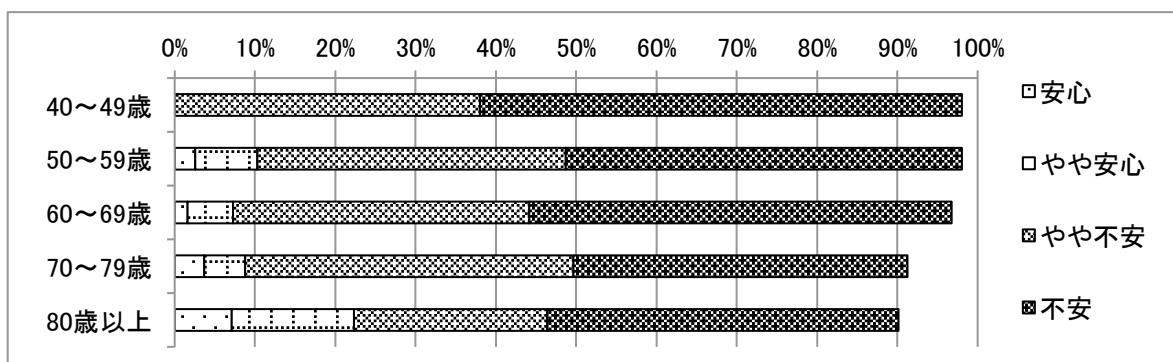
- ② 医療や介護が必要になった時の心配事は、全世代で「お金がかかる」ことを不安としているが、特に若い世代ほど不安の率が高い。



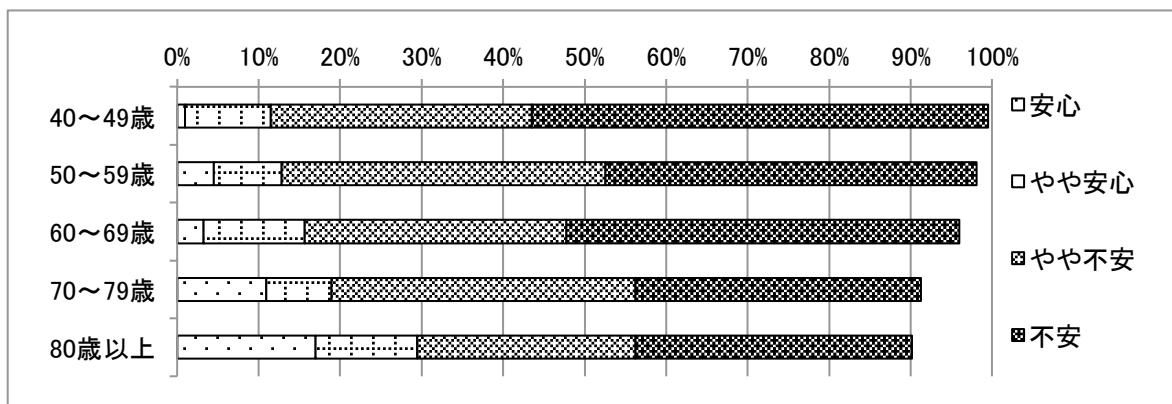
- ③ 40～50歳代の人は、家族の負担が増えることを特に心配している。



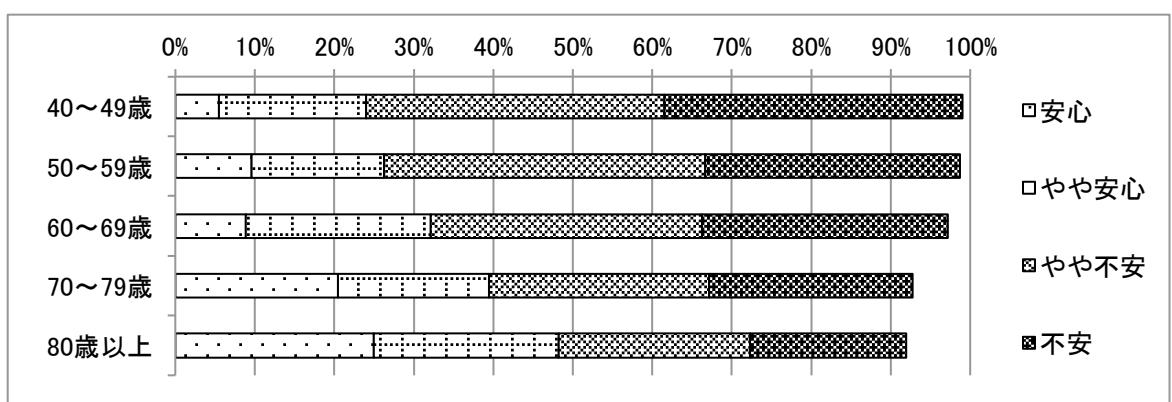
- ④ 施設に入るかどうかの不安は、40～70歳代までの全ての世代で強い不安が示されている。



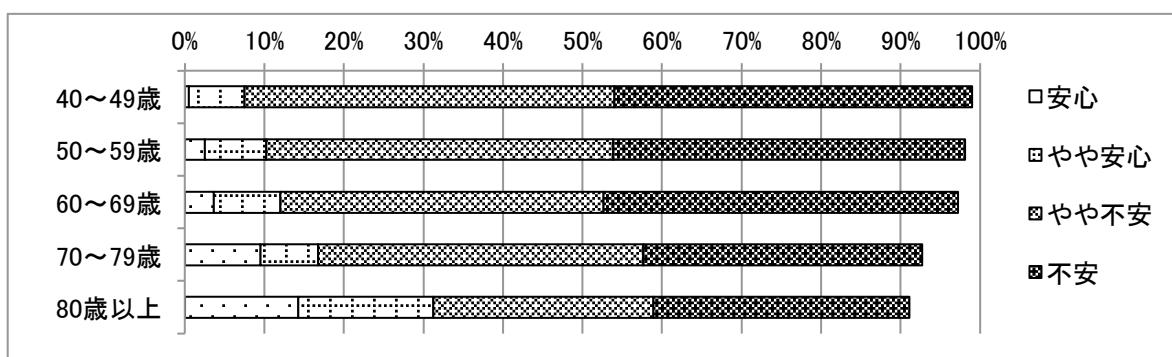
- ㉕ 医療や介護が必要になった時に40～60歳代の人は介護者がいないことに不安を持っている。



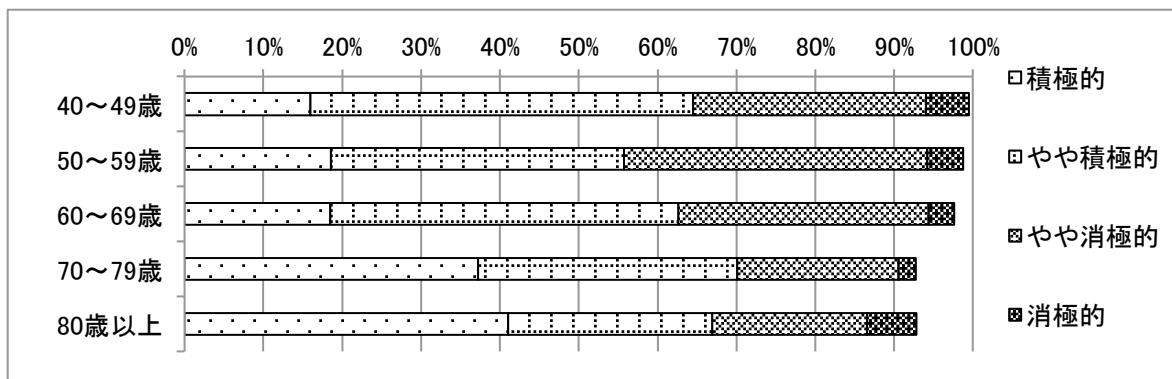
- ㉖若い世代ほど治療や介護が必要になった時に相談できる相手がいないことに不安がある。



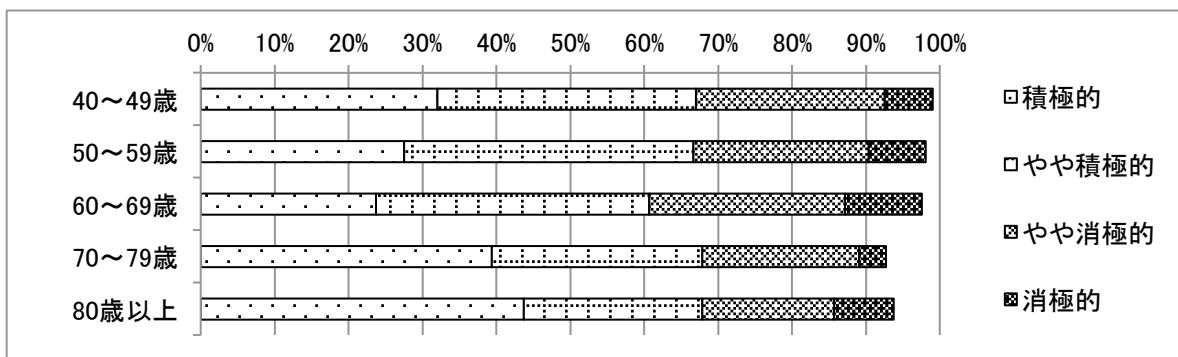
- ㉗全世代で「在宅で利用できるサービス」がないことが大きな不安材料になっている。



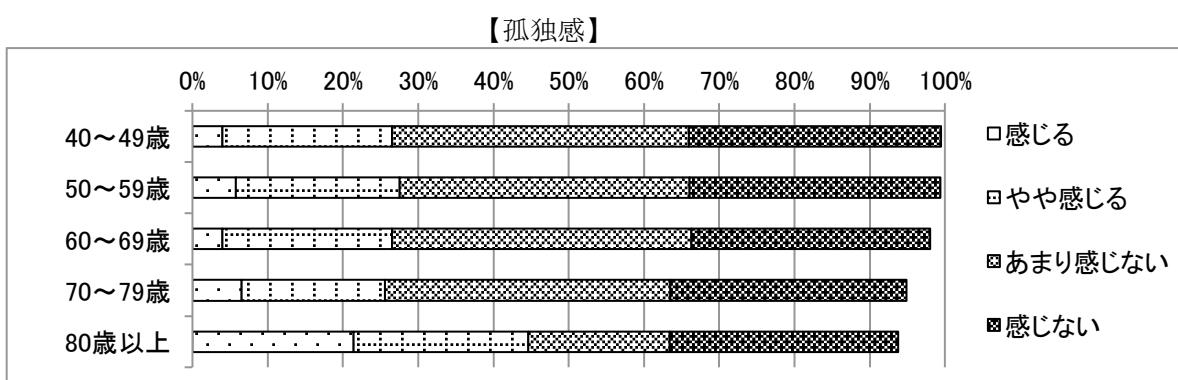
- ㉘規則正しい生活習慣は、60歳代以上になって自覚している。



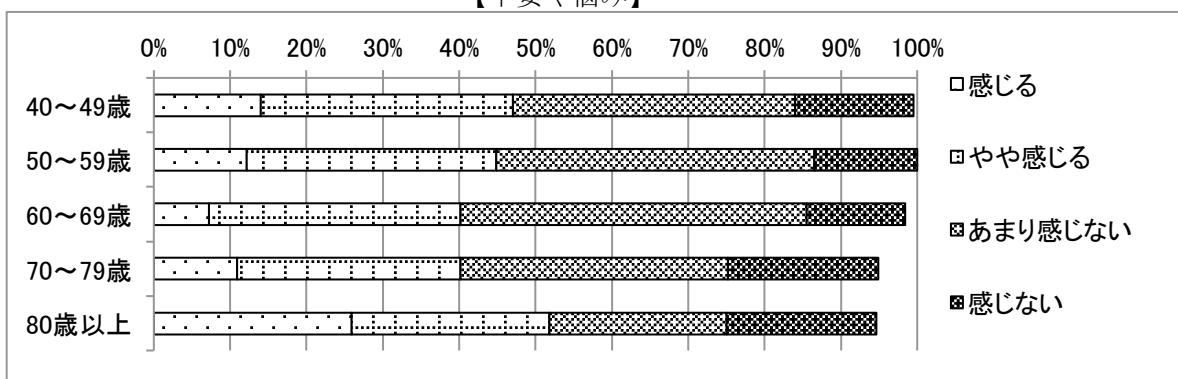
- ㉙ 70歳代以上の人々は積極的に地域の祭りや伝統行事に参加している。



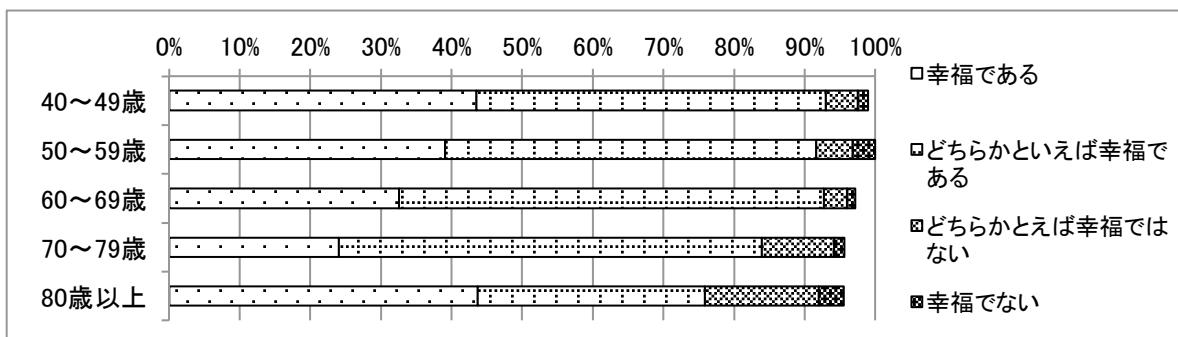
- ㉚ 80歳代になると孤立感や生活の悩みや不安が強くなっている。



【不安や悩み】



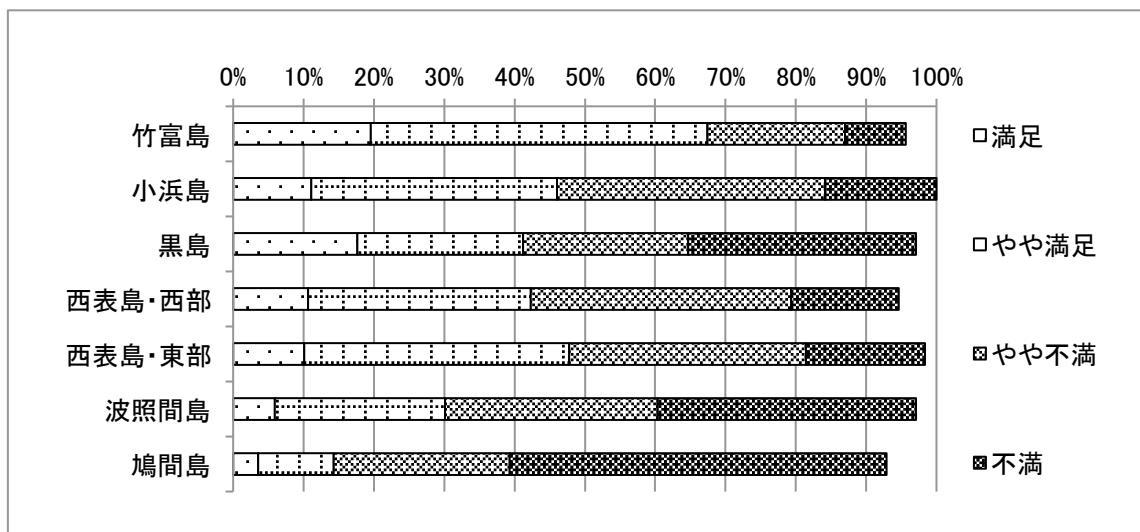
- ㉛ 幸福感は、全世代で高い。「幸福である」と言い切る人は40歳代と80歳代で高い。



5 島（地区）別クロス集計の結果

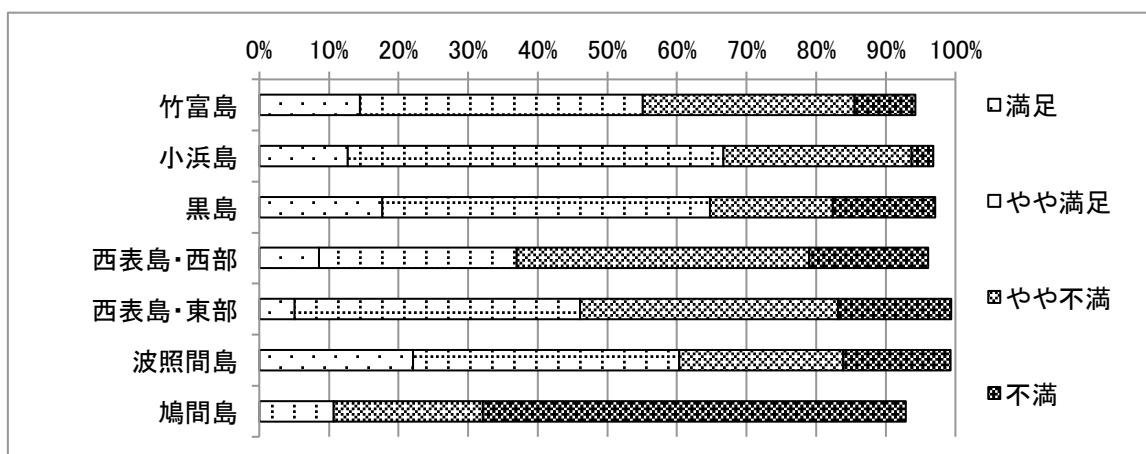
福祉要求を島(地区)別のみると、以下のような特徴が見受けられます。

(1) 日常的な移動手段の確保に関する満足度(問4)⑤



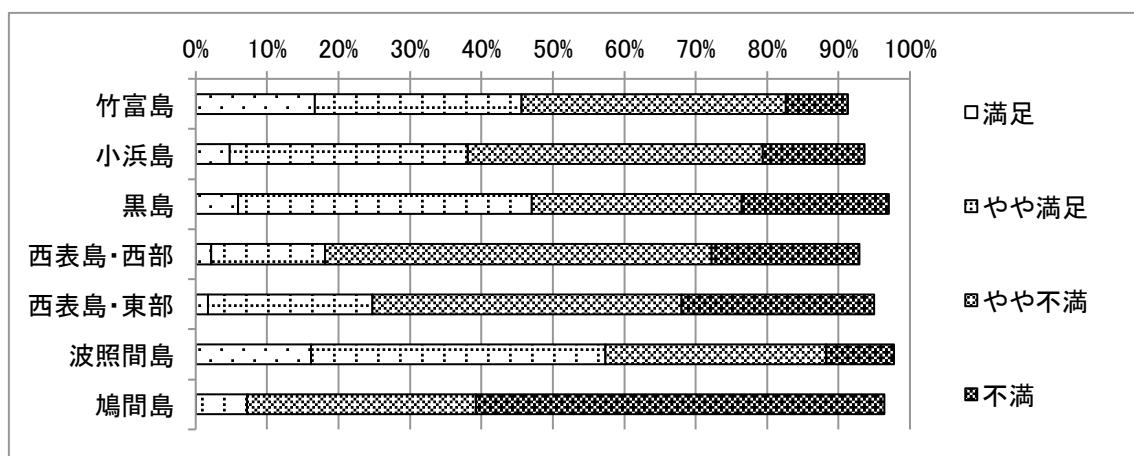
- 竹富のみ満足が不満を上回っています。
- 波照間、鳩間は不満が7割程度になっています。

(2) 病気やけがなどの際に利用できる医療サービスの満足度(問6)①



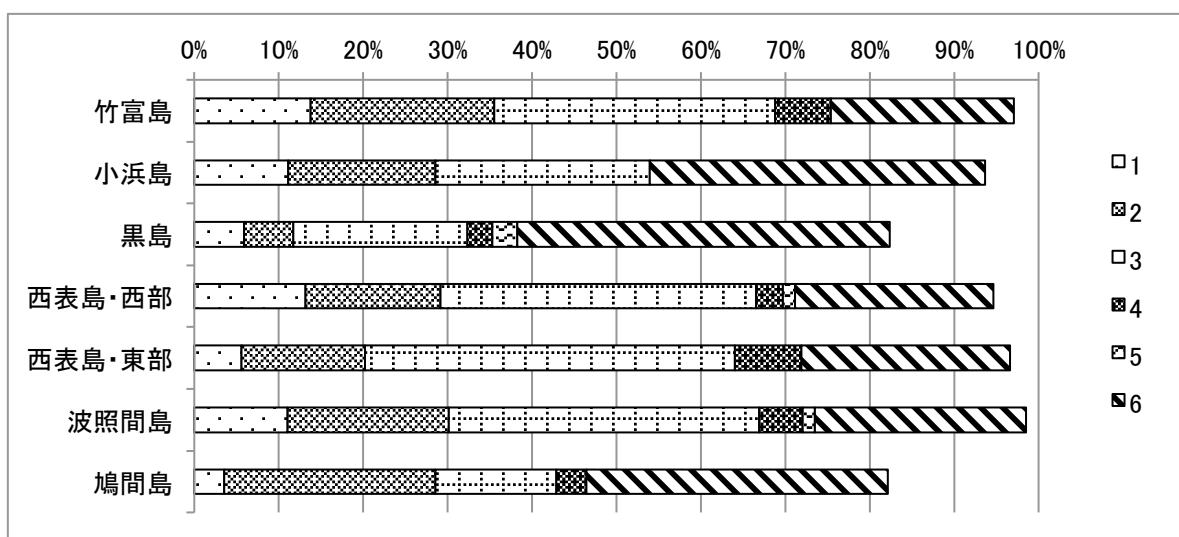
- 西表西部、西表東部、鳩間で不満が満足を上回っています。
- 特に診療所のない鳩間は不満が8割を超えていました。

(3) 高齢者が利用できる介護・福祉サービスの満足度(問6)②



- 波照間のみ満足が不満を上回っています。
- 鳩間、西表西部、西表東部は不満が7割を超えています。

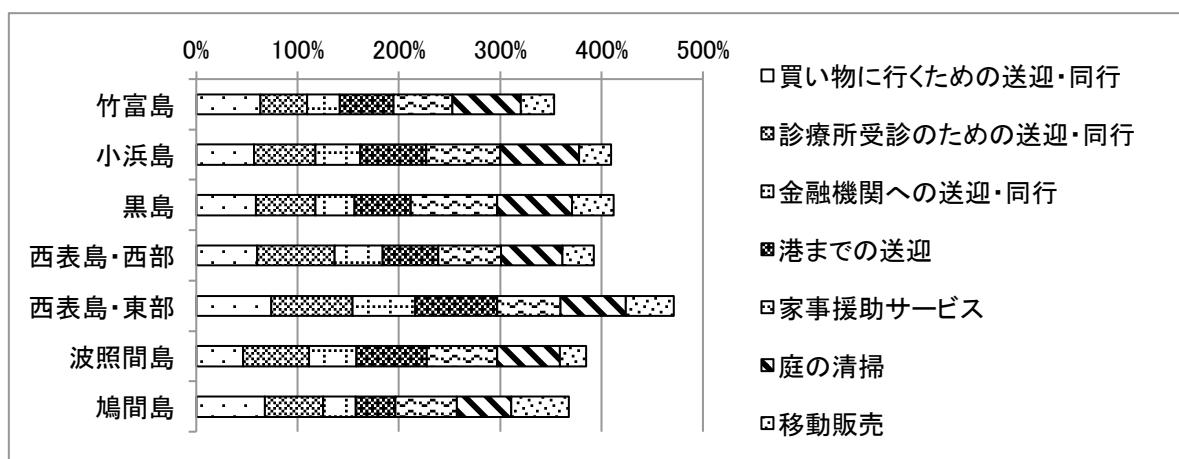
(4) 家族がわからないくらいの認知症になった場合(問13)



1. 家族による介護は期待できないが、そのまま自宅で生活したい
2. 家族に介護してもらい、そのまま自宅で生活したい
3. 島のサービスがあるなら使いたい
4. 島外にいる家族(子ども等)に介護してほしい
5. 島外にいる親戚に介護してほしい
6. 石垣・沖縄本島の介護施設を使いたい

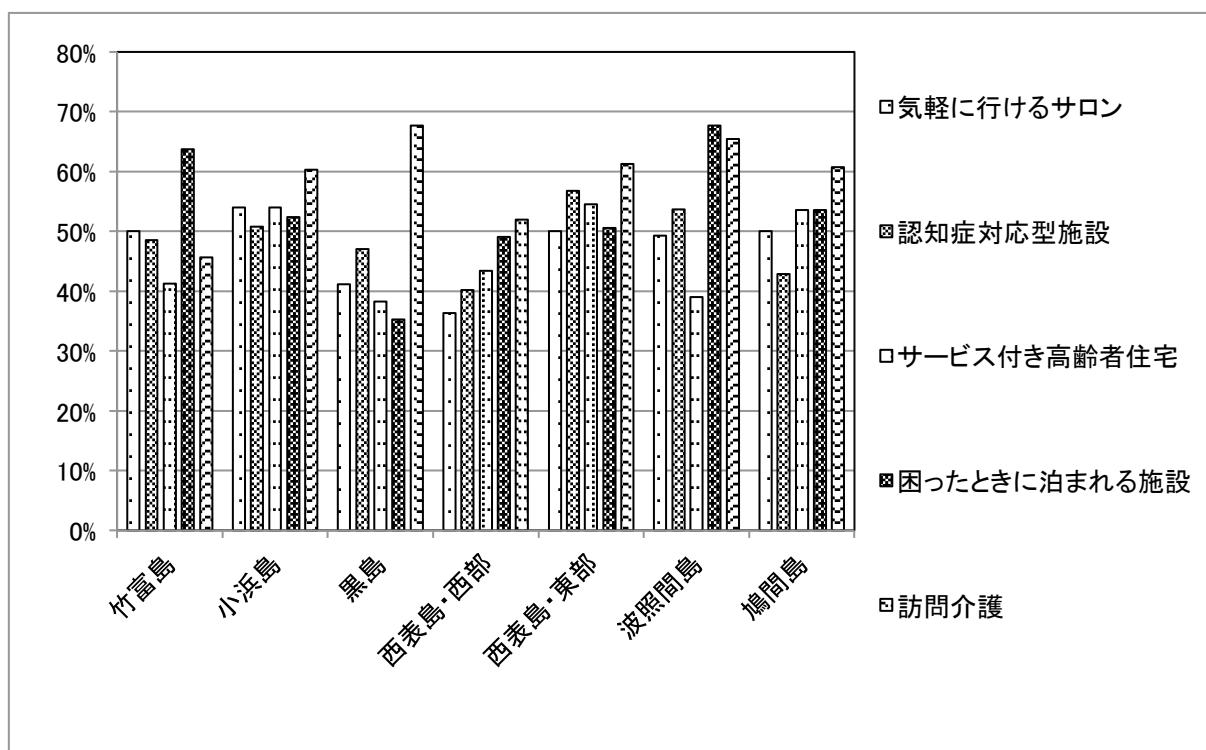
- 黒島と鳩間島は、島外での介護を希望する人の割合が多くなっています。
- 他の島(地域)では、島内での介護を希望する人が多くなっています。

(5) 高齢になった場合に利用したいサービス(問14)(複数回答可)



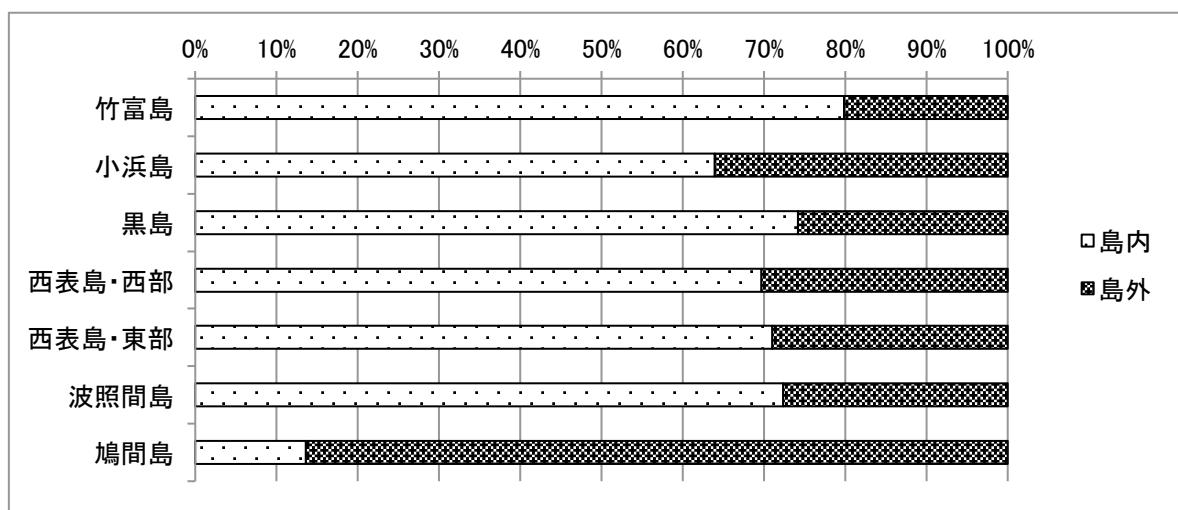
- 鳩間のみ移動販売の要望が5割を超えています。
- 全島(地域)で半数以上に人が利用したいと思うサービスは家事援助と庭の清掃です。
- 西表東部は、4つの送迎同行への要望が高くなっています。

(6) 島にあつたら利用したいサービス(問16)



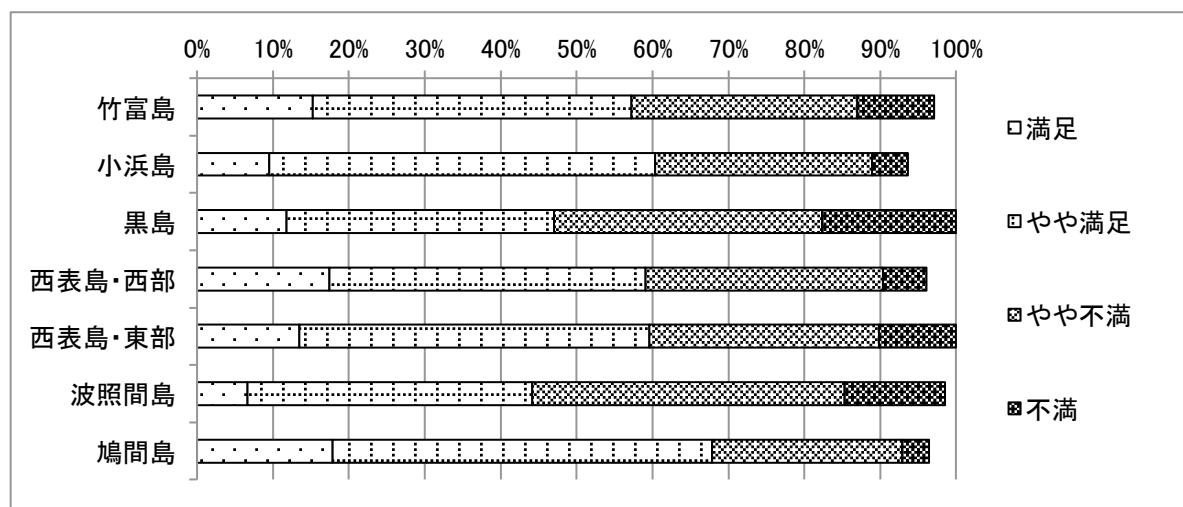
- 竹富と波照間では、「困ったときに泊まれる施設」についての要望が一番高くなっています。
- 小浜、黒島、西表西部、西表東部、鳩間では「訪問介護」への要望がトップです。

(7) 最後はどこで迎えたいか(問17)



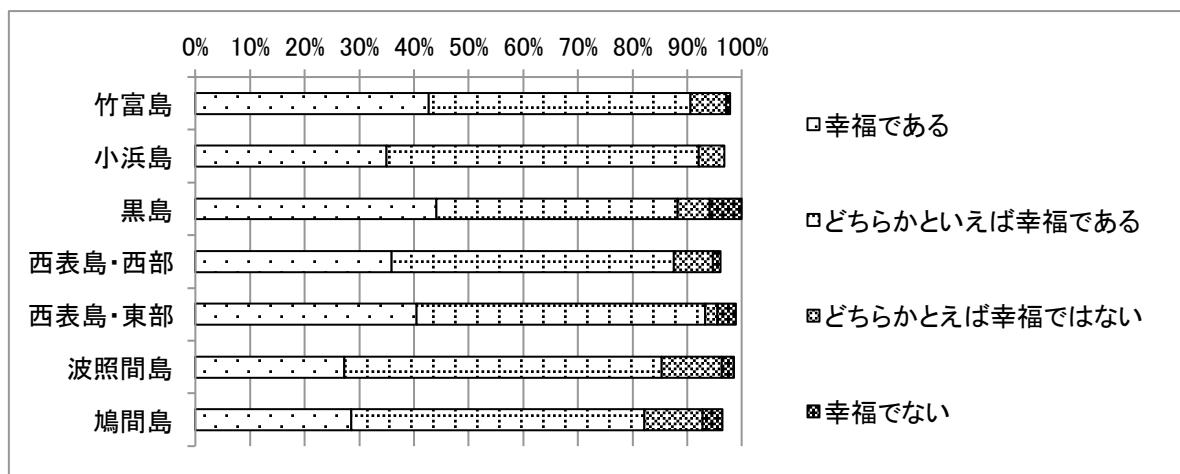
- 鳩間では島外が8割を超えています。他の6地域は島内が多く、竹富は、8割近くが島内を希望しています。

(8) 自分の健康状態への満足度(問21)①



- 黒島と波照間以外では、満足度が高くなっています。

(9) 幸福度について(問 22)



- 幸福度が一番高いのは西表東部、一番低いのは鳩間です。

6 項目別・カテゴリー別分析

項目別・カテゴリー別分析は、まず、満足度を測定した設問(選択肢が4段階の尺度になっている設問=項目)を回答に応じて1点から4点の得点に換算しました。以下、回答と得点の関係です。

- ① 「感じる」、「そう思う」、「満足」、「安心」「積極的」、「幸福である」:4点
- ② 「まあまあ感じる」、「どちらかといえばそう思う」、「やや満足」、「やや安心」、「やや積極的」、「どちらかといえば幸福である」:3点
- ③ 「あまり感じない」、「どちらかといえばそう思わない」、「やや不満」、「やや不安」、「やや消極的」、「どちらかといえば幸福ではない」:2点
- ④ 「感じない」、「そう思わない」、「不満」、「不安」、「消極的」、「幸福ではない」:1点

ただし、問20の②と③は設問の性質上、「感じない」を4点、「あまり感じない」を3点、「やや感じる」を2点、「感じる」を1点としました。

次に設問項目ごとに平均点を算出し、これを項目の得点としました。最後に12のカテゴリーごとに平均点を算出し、これをカテゴリーの得点としました。このような操作を加えることで他の項目や他のカテゴリーと比較することができます。

カテゴリーの分類は、表2-4を参照してください。

【表2-4 カテゴリー分類】

町への思い
身の回りの環境
住宅環境
医療・福祉の環境
安心・安全な暮らし
地域の状況
行政と住民のかかわり方
自分の健康や診療所とのかかわり方
自分の行動
自分の意識
自分の満足度
幸福度

(1) 項目の全体の平均点は 2.56、

カテゴリー全体の平均点は 2.66 点

項目の全体の平均点は 2.56、カテゴリー全体の平均点は 2.66 点となりました。この平均点は大きな参考になります。各項目や各カテゴリーの得点がこの平均点より高ければ満足、低ければ不満と判断する基準になるからです。

(2) 「地域に対する愛着・親しみ」が最高点 3.49

「地域に対する愛着・親しみ」の項目の得点が最高得点 3.49 となりました。この分析からも町民が地域に対する強い愛着や親しみを感じていることが証明されました。

(3) 「住み続けたいか」が高得点 3.45

「竹富町に住み続けたいか」の項目の得点が 2 番目に高く 3.45 点となりました。この分析からも町民は今後も竹富町に住み続けたいと思っていることが証明されました。

(4) 「いま幸せか」が高得点 3.27

「いま幸せか」の項目の得点が 3 番目に高く 3.27 点となりました。この分析からも町民が幸福であることが証明されました。

(5) 病気や介護は「家族の負担が増えること」が最低点 1.53

病気や介護が必要になった場合、「家族の負担が増えること」の項目の得点が最低点 1.53 となりました。町民が最も大きな不安を抱いているのが、病気や介護が必要になった場合に家族の負担が増えてしまうことです。

(6) 「施設に入れるかどうか」が低得点 1.59

病気や介護が必要になった場合、「施設に入れるかどうか」の項目の得点が 2 番目に低く 1.59 となりました。この分析からも町民が病気や介護が必要になった場合、施設に入れるかどうかに大きな不安を抱いていることが証明されました。

(7) 病気や介護に「お金がかかること」が低得点 1.61

病気や介護が必要になった場合、「お金がかかること」の項目の得点が 3 番目に低く 1.61 となりました。この分析からも町民が病気や介護が必要になった場合にお金がかかることに対して大きな不安を抱いていることが証明されました。

(8) 町への思いが最高点 3.47、幸福度も高得点 3.14

カテゴリー別に得点を見ると「町への思い」が最高点 3.47、「幸福度」が 2 番目に高く 3.14 点となりました。町民は、いま幸せであり、地域に愛着や親しみを感じています。今後も住み続けたいと思っています。

この結果は、「町を良くしたい」という思いの表れと見ることができます。今後、町を良くするための取り組みには町民が協力してくれることが期待できるでしょう。

(9) 自分の健康や診療所とのかかわり方が最低点 1.73

カテゴリー別の得点で最も低かったのが「自分の健康や診療所とのかかわり方」1.73 でした。2 番目に低かったのは「行政と住民のかかわり方」2.20、3 番目に低かったのは「医療・福祉の環境」2.22 でした。

町民は幸福である一方、医療(健康)や介護に関して大きな不安を抱えています。町への思いや幸福度をより強固なものにするために、大きな不安材料である医療や介護の問題を解消することが切望されます。

(10) 平均点が最も高かったのは竹富島で 2.72 点

島ごとに得点を見ると、項目全体の平均点が最も高かったのは竹富町で 2.72 点でした。2 番目は波照間島で 2.59 でした。以下、小浜島 2.56、西表島東部 2.55、黒島 2.52、西表島西部 2.49 点、平均点がもっとも低かったのは鳩間島で 2.38 でした。

(11) 6 地域で「地域に対する愛着・親しみ」が最高点

竹富島、小浜島、黒島、西表島西部、西表島東部、鳩間島の 6 地域で「地域に対する愛着や親しみ」の項目の得点が最も高いという結果でした。波照間島でも 2 番目に高いという結果だったことから、どの島でも町民(島民)は今後も島に住み続けたいと思っていることが確認できました。

(12) 5地域で「家族の負担が増えること」が最低点

小浜島、黒島、西表島西部、西表島東部、波照間島の5地域で「家族の負担が増えること」の項目の得点が最も低いという結果でした。竹富島では3番目、鳩間島では5番目に低いという結果だったことから、どの島でも町民(島民)は病気や介護が必要になった場合に家族の負担が増えてしまうことに不安を抱いていることが確認できました。

(13) 全島で町への思いが最高点

島ごとにカテゴリー別の得点を見ると、全島(地域)で「町への思い」の得点が最も高いという結果でした。町民の「町を良くしたい」という思いに島による違いはありません。

(14) 全島(地域)で「自分の健康や診療所とのかかわり方」が最低点

島ごとにカテゴリー別の得点を見ると、全島(地域)で「自分の健康や診療所とのかかわり方」の得点が最も低いという結果でした。医療(健康)や介護に関しての不安に島ごとの違いはありません。

(15) 竹富島では消防団の活動に関する項目が高得点

竹富島の得点は他島に比べて全体的に高い傾向がありました。幸福度も7地域の中で最も高く、竹富島の町民(島民)はいま幸せであり、地域に愛着や親しみを感じています。また、大きな特徴として消防団の活動に対する満足度が高いことが明らかとなりました。

(16) 小浜島では「病気やけがなどの際に利用できる医療サービス」が高得点

小浜島の得点を見ると、「病気やけがなどの際に利用できる医療サービス」の項目の得点が7地域の中で最も高いという結果でした。また、大きな特徴として住宅の広さに対する満足度、地域の祭りや伝統行事への参加への満足度が高いことが明らかとなりました。

(17) 黒島では集落の一員としての連帯感に関する項目が高得点

黒島の得点を見ると、医療や介護が必要になった時の「相談できる相手がいるかどうか」の項目

の得点が7地域の中で最も高いという結果でした。また、「集落(部落)の一員としての連帯感」の項目の得点も7地域の中で最も高いという結果でした。この結果から、黒島は住民間の結びつきが最も高い島といえます。

(18) 西表島西部では話し相手に関する項目が高得点

西表島西部の得点を見ると、7地域の中で最も得点の高い項目はありませんでした。また、大きな特徴として「話し相手」に対する満足度が高いことが明らかとなりました。

(19) 西表島東部では日々の生活の中での孤独感が小さい

西表島東部の得点を見ると、「上下水道、道路、情報通信などの生活基盤」の項目の得点が7地域の中で最も高いという結果でした。また、大きな特徴として日々の生活の中での孤独感に関する満足度が高い(孤独感が小さい)ことが明らかとなりました。

(20) 波照間島では「住み続けたい」という思いが最も大きい

波照間島の得点を見ると、「竹富町に住み続けたいか」の項目の得点が全項目の中で最も高いという結果でした。また、この項目の得点は7地域の中で最も高いという結果でした。今後も竹富町に住み続けたいという思いは全島共通ですが、その中でも波照間島の町民(島民)の思いが強いことが明らかとなりました。

(21) 鳩間島では地域の祭りや伝統行事への参加に関する項目が高得点

鳩間島の得点を見ると、「身の回りの環境問題を意識した生活行動」や「身の回りの環境保全のための活動」の項目の得点が7地域の中で最も高いという結果でした。また、大きな特徴として地域の祭りや伝統行事への参加に関する満足度が高いことが明らかとなりました。

一方で、「日常的な買い物の便利さ」の項目が全項目の中で最も得点が低いという結果でした。

項目別・カテゴリー別得点(全体版)

町への思い	地域に対する愛着・親しみ	3.49	3.47
	住み続けたいか	3.45	
身の回りの環境	自然環境の保全	2.54	2.35
	ごみの減量やリサイクルの取り組み	2.35	
	上下水道、道路、情報通信などの生活基盤	2.36	
	日常的な買い物の便利さ	2.14	
	日常的な移動手段の確保	2.38	
住宅環境	住宅の数	2.55	2.77
	住宅の広さ	3.07	
	住宅の強度	2.69	
医療・福祉の環境	病気やけがなどの際に利用できる医療サービス	2.45	2.22
	高齢者が利用できる介護・福祉サービス	2.21	
	障がい者が利用できる介護・福祉サービス	1.98	
	健康相談や指導、健診などの病気予防対策	2.50	
	健康増進のための施設整備	1.96	
安心・安全な暮らし	交通安全にかかわる対策	2.61	2.67
	治安・防犯にかかわる対策	2.71	
	町の防災・避難対策及び災害時の体制	2.34	
	消防団の活動	3.03	
地域の状況	保育・子育て環境の整備	2.67	2.80
	お年寄りが気軽に楽しめる場	2.39	
	島の行事などの活動	2.94	
	子どもとお年寄りなどの世代間交流	2.96	
	困ったときに地域で支え合う関係	3.03	
	冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事、入学・卒業・成人式・お葬式)	2.80	
行政と住民のかかわり方	役場に町民の声が届いているか	2.01	2.20
	必要な情報が入手しやすいか	2.15	
	気軽に意見が言えるか	2.16	
	職員の対応は丁寧か	2.49	
自分の健康や診療所とのかかわり方	お金がかかること	1.61	1.73
	家族の負担が増えること	1.53	
	施設に入れるかどうか	1.59	
	介護者がいるかどうか	1.76	
	相談できる相手がいるかどうか	2.14	
	在宅で利用できるサービスがあるかどうか。	1.77	
自分の行動	身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など)	2.97	2.76
	身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など)	2.88	
	規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり	2.86	
	防犯・防災活動	2.56	
	学習活動	2.50	
	日常の趣味やスポーツ、文化活動への取り組み	2.62	
	地域の祭りや伝統行事への参加	2.92	
自分の意識	集落(部落)の一員としての連帯感	3.16	2.90
	日々の生活の中での孤独感	2.96	
	日々の生活の中での不安や悩み	2.58	
自分の満足度	自分の健康状態	2.71	2.86
	話し相手	3.11	
	日常の食生活の内容	3.04	
	仕事と生活のバランス	2.88	
	あなたの生活費	2.58	
幸福度	幸福度	3.27	3.14
	平均	2.56	2.66

項目別得点(島による違い)

		竹富島	小浜島	黒島	西表島 (西部)	西表島 (東部)	波照間島	鳩間島
町への思い	地域に対する愛着・親しみ	3.62	3.51	3.59	3.43	3.52	3.41	3.36
	住み続けたいか	3.52	3.30	3.45	3.41	3.52	3.53	2.96
身の回りの環境	自然環境の保全	2.69	2.58	2.66	2.39	2.62	2.53	2.56
	ごみの減量やリサイクルの取り組み	2.40	2.24	2.00	2.17	2.36	2.78	2.29
	上下水道、道路、情報通信などの生活基盤	2.57	2.46	2.13	2.00	2.62	2.60	2.04
	日常的な買い物の便利さ	2.32	2.02	2.03	2.11	2.16	2.27	1.27
	日常的な移動手段の確保	2.82	2.41	2.27	2.40	2.42	1.99	1.62
住宅環境	住宅の数	2.80	2.76	2.19	2.44	2.59	2.51	2.23
	住宅の広さ	3.21	3.17	3.03	3.00	3.00	3.14	3.04
	住宅の強度	2.77	2.69	2.50	2.64	2.81	2.64	2.52
医療・福祉の環境	病気やけがなどの際に利用できる医療サービス	2.65	2.79	2.70	2.30	2.35	2.67	1.46
	高齢者が利用できる介護・福祉サービス	2.59	2.31	2.33	2.00	1.99	2.65	1.48
	障がい者が利用できる介護・福祉サービス	2.23	1.96	1.77	1.86	1.99	2.16	1.43
	健康相談や指導、健診などの病気予防対策	2.77	2.64	2.53	2.41	2.43	2.61	1.81
	健康増進のための施設整備	2.31	2.05	1.87	1.88	1.84	2.02	1.50
安心・安全な暮らし	交通安全にかかわる対策	2.70	2.59	2.56	2.60	2.62	2.62	2.40
	治安・防犯にかかわる対策	2.82	2.83	2.56	2.63	2.77	2.72	2.65
	町の防災・避難対策及び災害時の体制	2.41	2.38	2.19	2.13	2.46	2.55	2.31
	消防団の活動	3.23	2.90	2.88	3.01	3.06	3.02	2.73
地域の状況	保育・子育て環境の整備	2.80	2.84	2.70	2.56	2.67	2.81	2.15
	お年寄りが気軽に楽しめる場	2.93	2.40	2.26	2.19	2.31	2.68	2.11
	島の行事などの活動	3.12	2.95	2.85	2.94	2.94	2.78	2.73
	子どもとお年寄りなどとの世代間交流	3.12	2.97	2.79	2.85	3.04	2.97	2.85
	困ったときに地域で支え合う関係	3.19	3.00	3.13	2.99	3.04	2.95	2.88
	冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事、入学、卒業・成人式・お葬式)	3.08	2.81	2.85	2.72	2.76	2.74	2.63
行政と住民のかかわり方	役場に町民の声が届いているか	2.27	2.27	1.84	1.86	1.91	2.08	2.08
	必要な情報が入手しやすいか	2.31	2.12	2.23	1.94	2.10	2.51	1.85
	気軽に意見が言えるか	2.30	2.31	2.16	2.05	2.14	2.18	2.27
	職員の対応は丁寧か	2.49	2.60	2.63	2.36	2.47	2.60	2.88
自分の健康や診療所とのかかわり方	お金がかかること	1.81	1.55	1.36	1.58	1.57	1.64	1.44
	家族の負担が増えること	1.83	1.42	1.30	1.45	1.52	1.53	1.46
	施設に入れるかどうか	1.81	1.50	1.61	1.47	1.62	1.65	1.44
	介護者がいるかどうか	1.94	1.64	1.67	1.64	1.79	1.85	1.59
	相談できる相手がいるかどうか	2.39	2.10	2.42	1.92	2.15	2.38	1.67
	在宅で利用できるサービスがあるかどうか。	2.11	1.62	1.75	1.58	1.74	1.92	1.56
自分の行動	身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など)	2.90	2.86	3.19	3.04	2.96	2.85	3.15
	身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など)	2.90	2.69	3.00	3.00	2.82	2.71	3.15
	規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり	2.79	2.72	2.88	2.94	2.97	2.69	2.96
	防犯・防災活動	2.67	2.50	2.59	2.57	2.48	2.51	2.88
	学習活動	2.59	2.46	2.58	2.48	2.53	2.41	2.50
	日常の趣味やスポーツ、文化活動への取り組み	2.63	2.57	2.81	2.67	2.57	2.56	2.74
	地域の祭りや伝統行事への参加	3.05	2.95	3.27	2.90	2.68	2.94	3.33
自分の意識	集落(部落)の一員としての連帯感	3.27	3.16	3.29	3.11	3.08	3.24	2.89
	日々の生活の中での孤独感	2.93	2.86	2.73	2.98	3.07	2.93	2.93
	日々の生活の中での不安や悩み	2.72	2.48	2.21	2.59	2.65	2.50	2.48
自分の満足度	自分の健康状態	3.15	2.71	2.41	2.74	2.63	2.38	2.85
	話し相手	3.22	3.05	3.19	3.10	2.98	3.21	3.04
	日常の食生活の内容	3.13	3.02	3.12	3.07	2.93	2.99	3.04
	仕事と生活のバランス	2.98	2.77	2.87	2.89	2.87	2.80	2.81
	あなたの生活費	2.71	2.56	2.48	2.55	2.55	2.67	2.30
幸福度	幸福度	3.36	3.31	3.26	3.27	3.32	3.12	3.11
	平均	2.72	2.56	2.52	2.49	2.55	2.59	2.38

カテゴリー別得点(島による違い)

		竹富島	小浜島	黒島	西表島 (西部)	西表島 (東部)	波照間島	鳩間島
町への思い	地域に対する愛着・親しみ	3.57	3.40	3.52	3.42	3.52	3.47	3.16
	住み続けたいか							
身の回りの環境	自然環境の保全	2.56	2.34	2.22	2.21	2.43	2.43	1.96
	ごみの減量やリサイクルの取り組み							
	上下水道、道路、情報通信などの生活基盤							
	日常的な買い物の便利さ							
	日常的な移動手段の確保							
住宅環境	住宅の数	2.93	2.87	2.57	2.69	2.80	2.76	2.60
	住宅の広さ							
	住宅の強度							
医療・福祉の環境	病気やけがなどの際に利用できる医療サービス	2.51	2.35	2.24	2.09	2.12	2.42	1.54
	高齢者が利用できる介護・福祉サービス							
	障がい者が利用できる介護・福祉サービス							
	健康相談や指導、健診などの病気予防対策							
	健康増進のための施設整備							
安心・安全な暮らし	交通安全にかかわる対策	2.79	2.67	2.55	2.59	2.73	2.73	2.52
	治安・防犯にかかわる対策							
	町の防災・避難対策及び災害時の体制							
	消防団の活動							
地域の状況	保育・子育て環境の整備	3.04	2.83	2.76	2.71	2.79	2.82	2.56
	お年寄りが気軽に楽しめる場							
	島の行事などの活動							
	子どもとお年寄りなどの世代間交流							
	困ったときに地域で支え合う関係							
	冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事・入学・卒業・成人式・お葬式)							
行政と住民のかかわり方	役場に町民の声が届いているか	2.34	2.32	2.21	2.06	2.16	2.34	2.27
	必要な情報が入手しやすいか							
	気軽に意見が言えるか							
	職員の対応は丁寧か							
自分の健康や診療所とのかかわり方	お金がかかること	1.98	1.64	1.69	1.61	1.73	1.83	1.53
	家族の負担が増えること							
	施設に入れるかどうか							
	介護者がいるかどうか							
	相談できる相手がいるかどうか							
	在宅で利用できるサービスがあるかどうか。							
自分の行動	身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など)	2.79	2.68	2.90	2.80	2.72	2.67	2.96
	身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など)							
	規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり							
	防犯・防災活動							
	学習活動							
	日常の趣味やスポーツ、文化活動への取り組み							
自分の意識	地域の祭りや伝統行事への参加	2.97	2.83	2.74	2.90	2.93	2.89	2.77
	集落(部落)の一員としての連帯感							
	日々の生活の中での孤独感							
自分の満足度	日々の生活の中での不安や悩み	3.04	2.82	2.82	2.87	2.79	2.81	2.81
	自分の健康状態							
	話し相手							
	日常の食生活の内容							
	仕事と生活のバランス							
幸福度	あなたの生活費	3.36	3.31	3.26	3.27	3.32	3.12	3.11
	幸福度							
平均		2.82	2.67	2.62	2.60	2.67	2.69	2.48

項目別得点(年齢による違い)

		40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
町への思い	地域に対する愛着・親しみ 住み続けたいか	3.48 3.26	3.40 3.24	3.45 3.58	3.48 3.50	3.68 3.71
身の回りの環境	自然環境の保全 ごみの減量やリサイクルの取り組み 上下水道、道路、情報通信などの生活基盤 日常的な買い物の便利さ 日常的な移動手段の確保	2.33 1.99 2.07 2.16 2.29	2.25 2.03 2.20 1.98 2.27	2.45 2.27 2.32 2.06 2.33	2.86 2.68 2.68 2.12 2.54	3.13 3.32 2.83 2.58 2.62
住宅環境	住宅の数 住宅の広さ 住宅の強度	2.31 2.93 2.57	2.42 2.93 2.62	2.65 3.13 2.71	2.74 3.18 2.64	2.77 3.30 3.08
医療・福祉の環境	病気やけがなどの際に利用できる医療サービス 高齢者が利用できる介護・福祉サービス 障がい者が利用できる介護・福祉サービス 健康相談や指導、健診などの病気予防対策 健康増進のための施設整備	2.23 2.12 1.83 2.45 1.98	2.34 2.11 1.92 2.39 1.86	2.40 2.09 1.90 2.41 1.86	2.65 2.27 2.10 2.58 1.91	2.88 2.78 2.44 2.92 2.39
安心・安全な暮らし	交通安全にかかる対策 治安・防犯にかかる対策 町の防災・避難対策及び災害時の体制 消防団の活動	2.65 2.63 2.21 3.03	2.40 2.53 2.17 2.92	2.53 2.70 2.31 3.03	2.88 2.91 2.50 3.09	2.73 2.93 2.73 3.19
地域の状況	保育・子育て環境の整備 お年寄りが気軽に楽しめる場 島の行事などの活動 子どもとお年寄りなどとの世代間交流 困ったときに地域で支え合う関係 冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事、入学・卒業・成人式・お葬式)	2.47 2.48 2.86 3.07 3.12 2.78	2.52 2.29 2.86 2.92 2.98 2.85	2.71 2.28 2.90 2.88 2.94 2.70	2.79 2.30 3.06 2.83 2.98 2.71	3.12 2.79 3.13 3.15 3.21 3.07
行政と住民のかかわり方	役場に町民の声が届いているか 必要な情報が入手しやすいか 気軽に意見が言えるか 職員の対応は丁寧か	1.73 1.86 1.96 2.29	1.86 1.96 1.99 2.34	2.02 2.07 2.20 2.48	2.16 2.24 2.22 2.52	2.55 3.04 2.68 3.07
自分の健康や診療所とのかかわり方	お金がかかること 家族の負担が増えること 施設に入れるかどうか 介護者がいるかどうか 相談できる相手がいるかどうか 在宅で利用できるサービスがあるかどうか	1.38 1.35 1.39 1.56 1.92 1.63	1.54 1.48 1.63 1.71 2.04 1.68	1.65 1.54 1.59 1.69 2.10 1.70	1.79 1.70 1.68 1.94 2.37 1.91	1.84 1.75 1.84 2.14 2.58 2.15
自分の行動	身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など) 身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など) 規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり 防犯・防災活動 学習活動 日常の趣味やスポーツ、文化活動への取り組み 地域の祭りや伝統行事への参加	2.92 2.88 2.75 2.49 2.51 2.64 2.93	2.91 2.94 2.71 2.61 2.53 2.67 2.88	2.90 2.90 2.80 2.54 2.42 2.55 2.76	3.10 2.98 3.18 2.59 2.42 2.69 3.12	3.11 2.65 3.10 2.72 2.57 2.59 3.10
自分の意識	集落(部落)の一員としての連帯感 日々の生活の中での孤独感 日々の生活の中での不安や悩み	3.10 3.03 2.54	2.98 3.00 2.56	3.18 3.01 2.65	3.32 2.99 2.67	3.33 2.62 2.39
自分の満足度	自分の健康状態 話し相手 日常の食生活の内容 仕事と生活のバランス あなたの生活費	2.80 3.18 2.95 2.84 2.41	2.55 3.02 2.88 2.72 2.63	2.59 3.11 3.05 2.90 2.62	2.85 3.07 3.13 3.02 2.64	2.89 3.15 3.25 2.95 2.70
幸福度	幸福度	3.36	3.28	3.28	3.11	3.21
	平均	2.47	2.46	2.53	2.66	2.83

カテゴリー別得点(年齢による違い)

		40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
町への思い	地域に対する愛着・親しみ 住み続けたいか	3.37	3.32	3.52	3.49	3.70
身の回りの環境	自然環境の保全 ごみの減量やリサイクルの取り組み	2.17	2.15	2.29	2.58	2.90
	上下水道、道路、情報通信などの生活基盤					
	日常的な買い物の便利さ					
	日常的な移動手段の確保					
住宅環境	住宅の数	2.61	2.66	2.83	2.85	3.05
	住宅の広さ					
	住宅の強度					
医療・福祉の環境	病気やけがなどの際に利用できる医療サービス	2.12	2.12	2.13	2.30	2.68
	高齢者が利用できる介護・福祉サービス					
	障がい者が利用できる介護・福祉サービス					
	健康相談や指導、健診などの病気予防対策					
安心・安全な暮らし	健康増進のための施設整備	2.63	2.50	2.64	2.85	2.89
	交通安全にかかわる対策					
	治安・防犯にかかわる対策					
	町の防災・避難対策及び災害時の体制					
地域の状況	消防団の活動	2.80	2.74	2.73	2.78	3.08
	保育・子育て環境の整備					
	お年寄りが気軽に楽しめる場					
	島の行事などの活動					
	子どもとお年寄りなどとの世代間交流					
行政と住民のかかわり	困ったときに地域で支え合う関係	1.96	2.04	2.19	2.28	2.83
	冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事、入学、卒業・成人式・お葬式)					
	役場に町民の声が届いているか					
	必要な情報が入手しやすいか					
自分の健康や診療所	気軽に意見が言えるか	1.54	1.68	1.71	1.90	2.05
	職員の対応は丁寧か					
	お金がかかること					
	家族の負担が増えること					
	施設に入れるかどうか					
自分の行動	介護者がいるかどうか	2.74	2.75	2.69	2.90	2.80
	相談できる相手がいるかどうか					
	在宅で利用できるサービスがあるかどうか。					
	身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など)					
	身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など)					
	規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり					
自分の意識	防犯・防災活動	2.89	2.85	2.95	2.99	2.78
	学習活動					
	日常の趣味やスポーツ、文化活動への取り組み					
	地域の祭りや伝統行事への参加					
自分の満足度	集落(部落)の一員としての連帯感	2.84	2.76	2.85	2.94	2.99
	日々の生活の中での孤独感					
	日々の生活の中での不安や悩み					
	自分の健康状態					
幸福感	話し相手	3.36	3.28	3.28	3.11	3.21
	日常の食生活の内容					
	仕事と生活のバランス					
	あなたの生活費					
平均		2.58	2.57	2.65	2.75	2.91

項目別得点(被保険者による違い)

		第一号 被保険者	第二号 被保険者	差
町への思い	地域に対する愛着・親しみ	3.49	3.47	0.02
	住み続けたいか	3.57	3.35	0.21
身の回りの環境	自然環境の保全	2.76	2.36	0.40
	ごみの減量やリサイクルの取り組み	2.71	2.09	0.62
	上下水道、道路、情報通信などの生活基盤	2.56	2.21	0.36
	日常的な買い物の便利さ	2.21	2.10	0.12
	日常的な移動手段の確保	2.49	2.29	0.20
住宅環境	住宅の数	2.70	2.45	0.25
	住宅の広さ	3.18	2.99	0.18
	住宅の強度	2.78	2.64	0.14
医療・福祉の環境	病気やけがなどの際に利用できる医療サービス	2.61	2.32	0.29
	高齢者が利用できる介護・福祉サービス	2.35	2.11	0.23
	障がい者が利用できる介護・福祉サービス	2.10	1.89	0.21
	健康相談や指導、健診などの病気予防対策	2.61	2.43	0.19
	健康増進のための施設整備	2.03	1.91	0.12
安心・安全な暮らし	交通安全にかかる対策	2.73	2.53	0.20
	治安・防犯にかかる対策	2.82	2.63	0.18
	町の防災・避難対策及び災害時の体制	2.47	2.24	0.23
	消防団の活動	3.09	3.00	0.10
地域の状況	保育・子育て環境の整備	2.84	2.55	0.28
	お年寄りが気軽に楽しめる場	2.38	2.41	-0.02
	島の行事などの活動	3.02	2.88	0.15
	子どもとお年寄りなどとの世代間交流	2.93	2.98	-0.04
	困ったときに地域で支え合う関係	3.04	3.02	0.02
	冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事、入学、卒業・成人式・お葬式)	2.80	2.79	0.01
行政と住民のかかわり方	役場に町民の声が届いているか	2.21	1.86	0.35
	必要な情報が入手しやすいか	2.38	1.97	0.42
	気軽に意見が言えるか	2.34	2.03	0.30
	職員の対応は丁寧か	2.65	2.37	0.28
自分の健康や診療所とのかかわり方	お金がかかること	1.76	1.49	0.27
	家族の負担が増えること	1.69	1.42	0.27
	施設に入れるかどうか	1.72	1.50	0.22
	介護者がいるかどうか	1.92	1.64	0.27
	相談できる相手がいるかどうか	2.32	2.02	0.30
	在宅で利用できるサービスがあるかどうか。	1.90	1.67	0.23
自分の行動	身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など)	3.06	2.89	0.16
	身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など)	2.88	2.88	0.00
	規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり	3.05	2.71	0.34
	防犯・防災活動	2.62	2.52	0.10
	学習活動	2.53	2.48	0.05
	日常の趣味やスポーツ、文化活動への取り組み	2.65	2.60	0.06
	地域の祭りや伝統行事への参加	2.97	2.88	0.09
自分の意識	集落(部落)の一員としての連帯感	3.25	3.09	0.16
	日々の生活の中での孤独感	2.91	3.00	-0.10
	日々の生活の中での不安や悩み	2.58	2.57	0.01
自分の満足度	自分の健康状態	2.79	2.65	0.15
	話し相手	3.09	3.13	-0.04
	日常の食生活の内容	3.13	2.96	0.18
	仕事と生活のバランス	2.95	2.82	0.13
	あなたの生活費	2.65	2.53	0.12
幸福度	幸福度	3.20	3.31	-0.11
	平均	2.66	2.48	0.17

カテゴリー別得点(被保険者による違い)

		第一号 被保険者	第二号 被保険者	差
町への思い	地域に対する愛着・親しみ 住み続けたいか	3.53	3.41	0.12
身の回りの環境	自然環境の保全 ごみの減量やリサイクルの取り組み 上下水道、道路、情報通信などの生活基盤 日常的な買い物の便利さ 日常的な移動手段の確保	2.55	2.21	0.34
住宅環境	住宅の数 住宅の広さ 住宅の強度	2.88	2.69	0.19
医療・福祉の環境	病気やけがなどの際に利用できる医療サービス 高齢者が利用できる介護・福祉サービス 障がい者が利用できる介護・福祉サービス 健康相談や指導、健診などの病気予防対策 健康増進のための施設整備	2.34	2.13	0.21
安心・安全な暮らし	交通安全にかかわる対策 治安・防犯にかかわる対策 町の防災・避難対策及び災害時の体制 消防団の活動	2.78	2.60	0.18
地域の状況	保育・子育て環境の整備 お年寄りが気軽に楽しめる場 島の行事などの活動 子どもとお年寄りなどとの世代間交流 困ったときに地域で支え合う関係 冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事、入学・卒業・成人式・お葬式)	2.84	2.77	0.06
行政と住民のかかわり	役場に町民の声が届いているか 必要な情報が入手しやすいか 気軽に意見が言えるか 職員の対応は丁寧か	2.39	2.06	0.34
自分の健康や診療所	お金がかかること 家族の負担が増えること 施設に入れるかどうか 介護者がいるかどうか 相談できる相手がいるかどうか 在宅で利用できるサービスがあるかどうか	1.88	1.62	0.26
自分の行動	身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など) 身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など) 規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり 防犯・防災活動 学習活動 日常の趣味やスポーツ、文化活動への取り組み 地域の祭りや伝統行事への参加	2.82	2.71	0.11
自分の意識	集落(部落)の一員としての連帯感 日々の生活の中での孤独感 日々の生活の中での不安や悩み	2.91	2.89	0.02
自分の満足度	自分の健康状態 話し相手 日常の食生活の内容 仕事と生活のバランス あなたの生活費	2.92	2.82	0.11
幸福度	幸福度	3.20	3.31	-0.11
	平均	2.75	2.60	0.15

項目別得点(病気の有無による違い)

		病気なし	病気あり	差
町への思い	地域に対する愛着・親しみ	3.46	3.49	-0.03
	住み続けたいか	3.37	3.51	-0.14
身の回りの環境	自然環境の保全	2.39	2.63	-0.25
	ごみの減量やリサイクルの取り組み	2.10	2.53	-0.43
	上下水道、道路、情報通信などの生活基盤	2.19	2.47	-0.29
	日常的な買い物の便利さ	2.15	2.14	0.02
	日常的な移動手段の確保	2.36	2.36	0.00
住宅環境	住宅の数	2.42	2.65	-0.23
	住宅の広さ	2.98	3.13	-0.15
	住宅の強度	2.58	2.79	-0.21
医療・福祉の環境	病気やけがなどの際に利用できる医療サービス	2.35	2.52	-0.17
	高齢者が利用できる介護・福祉サービス	2.14	2.26	-0.12
	障がい者が利用できる介護・福祉サービス	1.93	2.03	-0.10
	健康相談や指導、健診などの病気予防対策	2.48	2.51	-0.03
	健康増進のための施設整備	1.92	1.98	-0.05
安心・安全な暮らし	交通安全にかかわる対策	2.63	2.61	0.03
	治安・防犯にかかわる対策	2.65	2.77	-0.12
	町の防災・避難対策及び災害時の体制	2.28	2.37	-0.09
	消防団の活動	2.99	3.07	-0.08
地域の状況	保育・子育て環境の整備	2.56	2.76	-0.20
	お年寄りが気軽に楽しめる場	2.36	2.42	-0.06
	島の行事などの活動	2.91	2.95	-0.04
	子どもとお年寄りなどとの世代間交流	2.99	2.92	0.07
	困ったときに地域で支え合う関係	3.05	3.01	0.03
	冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事、入学、卒業・成人式・お葬式)	2.77	2.81	-0.04
行政と住民のかかわり方	役場に町民の声が届いているか	1.93	2.07	-0.14
	必要な情報が入手しやすいか	2.04	2.23	-0.19
	気軽に意見が言えるか	2.12	2.19	-0.07
	職員の対応は丁寧か	2.37	2.57	-0.21
自分の健康や診療所とのかかわり方	お金がかかること	1.55	1.66	-0.10
	家族の負担が増えること	1.52	1.54	-0.02
	施設に入れるかどうか	1.56	1.62	-0.07
	介護者がいるかどうか	1.72	1.78	-0.05
	相談できる相手がいるかどうか	2.05	2.20	-0.15
	在宅で利用できるサービスがあるかどうか。	1.69	1.81	-0.11
自分の行動	身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など)	2.97	2.95	0.02
	身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など)	2.98	2.79	0.18
	規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり	2.92	2.81	0.11
	防犯・防災活動	2.66	2.50	0.16
	学習活動	2.54	2.49	0.05
	日常の趣味やスポーツ、文化活動への取り組み	2.73	2.54	0.19
	地域の祭りや伝統行事への参加	3.03	2.82	0.22
自分の意識	集落(部落)の一員としての連帯感	3.15	3.15	0.00
	日々の生活の中での孤独感	3.02	2.90	0.12
	日々の生活の中での不安や悩み	2.68	2.52	0.17
自分の満足度	自分の健康状態	3.09	2.39	0.70
	話し相手	3.16	3.06	0.10
	日常の食生活の内容	3.05	3.01	0.05
	仕事と生活のバランス	2.89	2.87	0.02
	あなたの生活費	2.56	2.60	-0.05
幸福度	幸福度	3.36	3.19	0.16
	平均	2.54	2.57	-0.03

カテゴリー別得点(病気の有無による違い)

		第一号 被保険者	第二号 被保険者	差
町への思い	地域に対する愛着・親しみ 住み続けたいか	3.42	3.50	-0.09
身の回りの環境	自然環境の保全 ごみの減量やリサイクルの取り組み 上下水道、道路、情報通信などの生活基盤 日常的な買い物の便利さ 日常的な移動手段の確保	2.24	2.43	-0.19
住宅環境	住宅の数 住宅の広さ 住宅の強度	2.66	2.86	-0.20
医療・福祉の環境	病気やけがなどの際に利用できる医療サービス 高齢者が利用できる介護・福祉サービス 障がい者が利用できる介護・福祉サービス 健康相談や指導、健診などの病気予防対策 健康増進のための施設整備	2.16	2.26	-0.10
安心・安全な暮らし	交通安全にかかわる対策 治安・防犯にかかわる対策 町の防災・避難対策及び災害時の体制 消防団の活動	2.64	2.70	-0.07
地域の状況	保育・子育て環境の整備 お年寄りが気軽に楽しめる場 島の行事などの活動 子どもとお年寄りなどとの世代間交流 困ったときに地域で支え合う関係 冠婚葬祭(赤ちゃんの祝い事、入学・卒業・成人式・お葬式)	2.77	2.81	-0.04
行政と住民のかかわり	役場に町民の声が届いているか 必要な情報が入手しやすいか 気軽に意見が言えるか 職員の対応は丁寧か	2.11	2.27	-0.15
自分の健康や診療所	お金がかかること 家族の負担が増えること 施設に入れるかどうか 介護者がいるかどうか 相談できる相手がいるかどうか 在宅で利用できるサービスがあるかどうか。	1.68	1.77	-0.09
自分の行動	身の回りの環境問題を意識した生活行動(節電など) 身の回りの環境保全のための活動(地区活動・清掃活動など) 規則正しい食事や運動など、自身の健康づくり 防犯・防災活動 学習活動 日常の趣味やスポーツ、文化活動への取り組み 地域の祭りや伝統行事への参加	2.83	2.70	0.13
自分の意識	集落(部落)の一員としての連帯感 日々の生活の中での孤独感 日々の生活の中での不安や悩み	2.95	2.86	0.10
自分の満足度	自分の健康状態 話し相手 日常の食生活の内容 仕事と生活のバランス あなたの生活費	2.95	2.79	0.16
幸福度	幸福度	3.36	3.19	0.16
	平均	2.65	2.68	-0.03

7 幸福感の比較結果

内閣府「国民生活選好度調査」では「現在、あなたはどの程度幸せですか」という設問にて幸福感を測定しています。この調査では「とても幸せ」(10点)から「とても不幸」(0点)まで、11段階の尺度を用いています。また、これに類似する調査は全国の自治体で行われています。

それに対して、本調査の尺度は「幸福である」、「どちらかといえば幸福である」、「どちらかといえば幸福ではない」、「幸福ではない」の4段階です。

そこで、本調査の結果と内閣府等の調査と比較するために本調査の4段階の尺度に以下の修正を加えました。

幸福である:10点

どちらかといえば幸福である: $\frac{20}{3}$ 点

どちらかといえば幸福ではない: $\frac{10}{3}$ 点

幸福ではない:0点

その結果、竹富町の平均値は7.55でした。

なお、内閣府「国民生活選好度調査」における2011年の幸福感の平均値は6.41です。これは日本の幸福感の平均値とみることができます。

全国の自治体が調査した幸福感の平均値は表2-5の通りです。

高齢者福祉・介護保険事業計画を策定するため65歳以上を対象に調査しているものは多いのですが、それに比べて全市民を対象にした幸福感の調査は少ないので現状です。

尺度の違いから一概に比較することはできないのですが、竹富町の住民の幸福感は非常に高いと考えられます。

【表 2-5 幸福度比較】

自治体	幸福感の平均値	調査年	備考
竹富町	7.55	2018年	
南大東村	7.14	2015年	
内閣府	6.41	2011年	
愛知県安城市	6.64	2016年	
愛知県長久手市	7.41	2014年	
北海道斜里町	6.51	2016年	
和歌山県岩出市	7.16	2016年	65歳以上対象
兵庫県神戸市	6.9	2018年	
石川県かほく市	7.34	2018年	佐藤が算出
大阪府門真市	5.76	2015年	佐藤が算出
島根県安来市	7	2017年	65歳以上が対象
群馬県伊勢崎市	7.14	2017年	65歳以上が対象
第一生命	6.81	2012年	モニタ一抽出
岡山県玉野市	6.6	2015年	
三重県名張市	6.81	2018年	
東京都多摩市	6.41	2014年	
佐賀県佐賀市	6.60	2016年	
岐阜県瑞浪市	6.4	2017年	
北海道栗山町	6.73	2015年	
静岡県伊東市	6.39	2015年	
茨城県取手市	7.0	2017年	

8 自由記入の特徴

(1) 自由記入の内容について

- ① 自由記入欄への記入者が多く、359項目の要望や意見が寄せられました。他の地域で経験したアンケートと比較しても特段に多いと考えられます。
- ② 自由記入欄の要望や意見は、多岐にわたっています。暮らしと福祉に関する要望を中心ですが、集団記入会方式で意見交換しながら記入したことや、離島の特徴から普段要望を出しにくいことにより、町行政そのものに対する要望や交通(航行)に関する要望などもたくさん出されています。
- ③ 自由記入欄の記載内容を、①医療・福祉(介護)に関して、②保育・子育てに関して、③生活(健康・収入など)に関して、④交通機関(交通費)に関して、⑤島の施設・生活環境整備に関して、⑥地域での活動(行事)に関して、⑦住宅問題に関して、⑧就労問題に関して、⑨防災問題に関して、⑩石垣島での宿泊先に関して、⑪買い物など日常生活に関して、⑫行政(役場)に関して、⑬ごみ処理問に関して、⑭自然環境の保護に関して、⑮観光(客)に関して、⑯移住者(Uターン・Iターン)に関して、⑰役場移転問題に関して、⑱今回のアンケートに関して、⑲その他、の19項目に分類しました。
- ④ ここでは、今回のアンケートの目的から、①医療・福祉(介護)に関して、②保育・子育てに関して、③生活(健康・収入など)に関して、④交通機関(交通費)に関して、⑤島の施設・生活環境整備に関して、⑥地域での活動(行事)に関して、⑦住宅問題に関して、⑧就労問題に関して、⑨防災問題に関して、⑩石垣島での宿泊先に関して、⑪買い物など日常生活に関して、の11項目についてその特徴をまとめました。

(2)自由記入の全体的な特徴

項目	特徴的な記入
①医療・福祉(介護)に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●介護サービスの少なさについての指摘が多い ●ショートステイなど家族の負担軽減の要望が多い ●健康増進施設の要望が強い ●人材不足についての不安が多い ●送迎サービスの要望が多い ●認知症対応施設の要望が多い ●夜間や休日の医療への不安が多い ●リハビリサービス(施設)への要望が多い ●一人暮らし対策への要望が多い ●子どもや高齢者のサロンへの要望が多い
②保育・子育てに関して	<ul style="list-style-type: none"> ●休日に子供を預けるところの要望が多い ●子どもを預けて働くことへの要望が強い ●給付型奨学金への要望がある
③生活(健康・収入など)に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●収入の少なさへの不安が多い ●体調不良への不安が多い ●最期への不安がある
④交通機関(交通費)に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●船便の時間、便数、定期運行などへの要望が多い ●船賃が高いことへの不満が多い ●通院などでの船賃への補助の要望が多い ●島内の公共交通機関への要望が多い ●港までへの送迎の要望が多い ●石垣での交通への補助の要望が多い
⑤島の施設・生活環境整備に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●道路整備への要望が多い ●インターネット環境の整備要望が多い ●安心して遊べる公園や運動施設への要望が多い
⑥地域での活動(行事)に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●行事参加のあり方への意見が多い
⑦住宅問題に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家や空き地の活用への要望が多い ●町営住宅の増加や補助への要望が多い
⑧就労問題に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●有資格者の就労場所への要望がある ●働く場所がないこと、人手不足の両方の意見がある
⑨防災問題に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所への要望が多い ●訓練、無線等への要望がある
⑩石垣島での宿泊先に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●石垣島に宿泊施設が欲しいとの要望が多い
⑪買い物など日常生活に関して	<ul style="list-style-type: none"> ●食品などの物価高への不満が多い ●買い物が不便なことへの不満がある

(3) 自由記入の島(地域)別の特徴

各島(地域)のアンケートの自由記入の特徴は、以下の表の通りです。

地区名	①医療・福祉(介護)に関して	②保育・子育てに関して
竹富	<ul style="list-style-type: none"> ● ショートステイが欲しい ● 認知症対応の施設が欲しい ● ゆんたくの場所が欲しい ● がん検診や人間ドックなどの健康診断を受けたい ● サービス付き高齢者向け住宅が欲しい ● 介護施設が欲しい ● 歯科や皮膚科などの往診をしてほしい ● 保育や介護の人手不足を解消して欲しい ● 総合的な判断で介護認定をして欲しい ● 同行援護の有資格者が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て中に仕事に就けない ● 夏休みや学校の休日などに子供を預けるところが欲しい
黒島	<ul style="list-style-type: none"> ● 自立している高齢者の孤立化が心配 ● サロンがあるといい ● 港までの送迎が欲しい 	
小浜	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問介護、ショートステイ等の在宅支援サービスが欲しい ● 入所施設が欲しい 	
新城		
西表東部	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護施設が欲しい ● 健康維持の活動が欲しい ● ショートステイが欲しい ● 介護度の認定に疑問がある ● 福祉予算の増加、誰でも入所できる施設・支援が欲しい ● 週に1度のデイサービスやサロンでは寂しい ● 気軽に集まれる場所が欲しい ● 島内でヘルパーの養成を ● 西表に病院ができないか ● レクレーション施設が欲しい ● 運動器具のあるサロンが欲しい ● 老人ホームが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 0歳児保育が欲しい ● 保育、教育に関わる人の健康(栄養など)に関する意識を高めて欲しい
西表西部	<ul style="list-style-type: none"> ● 台風などの自然災害時の介護が心配 ● 介護サービスのガイドが欲しい ● 介護施設の人員不足の解消が必要 ● 救急時の医療体制が心配 ● 介護施設・サービスが少ない ● リハビリの施設や人員が欲しい ● 高齢になった時の交通手段が心配 ● 障がい者のリハビリ施設が必要 ● 歯科医院の改善を ● ドクターヘリを導入して欲しい ● 福祉の相談ができる専門家が欲しい ● 自由に使えるコミュニティセンターが欲しい ● 一人暮らしの高齢者が増え民生委員も対応できない ● 船賃、時間、港までの送迎、欠航など石垣までの通院が大変 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学童が欲しい ● 保育園の開園時間を早くして欲しい

鳩間	● 診療所が欲しい ● 高齢者が多いので心配	
波照間	● 乳幼児・家族・高齢者が自由に集う場所が欲しい	● 子育て中の女性の経済的負担の軽減 ● 高校・大学の給付型奨学金を望む

地区名	③生活(健康・収入など)に関する意見	④交通機関(交通費)に関する意見	⑤島の施設・生活環境整備に関する意見
竹富	● 収入が少ない ● 一人暮らしで病気や怪我が心配	● 介護者に対する船賃やタクシーの補助が欲しい ● 石垣市でのバス代の補助が欲しい	● 凈化槽の水の散水による健康被害が心配 ● 献血ルームが欲しい ● 道路の砂の撤去 ● 港の乗降時の風雨対策 ● 水道料金のクレジット払い ● 道路に木陰がない
黒島	● 最期をどうするかが心配	● 船賃値上がりが負担	● 街灯が少ない ● 道路の凹凸の解消 ● 港の放置パレットの撤去 ● 黒島芸能館に空調を
小浜	● 身体障がいの子供が石垣の施設にいるのが心配 ● 年金が少なくて暮らしが大変	● 石垣への船便の時間の延長 ● 沖縄本島への客船就航を ● 小浜～石垣の増便 ● 船賃を安くして	● 駐車場不足 ● 道路の除草を ● インターネット環境の整備を ● 農地からの赤土流出防止を
新城			
西表東部	● 足が悪くて寝ている時間が長い ● 身体が不自由で石垣島の病院通いが大変	● 石垣への船賃が高い ● 石垣の病院に行く時の船賃補助をして欲しい ● 始発最終時間が不便 ● 子供の通院の付き添い者の船代支援を ● 桟橋への送迎サービスを全島で ● 離島同士の船便が欲しい ● 病気の時は夜など石垣へいけない ● バス代が高い ● 日帰りできる運行時間に ● 安定運行	● 県道の除草の強化を。場所によっては除草剤を使ってはどうか ● 公園の整備 ● ごみの野焼き対策を ● 児童館を作つて欲しい ● 島内に水道業者が欲しい ● 仲間港トイレのリニューアル ● 子供が安心して遊べる場所作り
西表西部	● 家族に迷惑をかけるのが心配 ● 子供の大学進学の学費が大変	● 高齢者は船賃を半額か無料に ● 船賃の値上げ幅が高すぎる ● 船とバスの時間が合わない ● 島内の公共交通の整備を ● どこでも乗降できるバスの制度の復活を ● 冬場の船会社の送迎バスの改善を	● 多目的グランドの整備を ● インターネット環境の整備を ● 毎日の草刈りが大変 ● ゲートボール場が欲しい ● 下水道の不備 ● 県道の除草回数の増加 ● 不使用地・空き家の活用を ● 子供とお年寄りの遊び場を

鳩間	<ul style="list-style-type: none"> ● 身体が衰えてきた ● 定期船欠航時に町で鳩間～上原便を出して欲しい ● 欠航対策をして欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設が少ない
波照間	<ul style="list-style-type: none"> ● 身体が弱って病院通いが辛い ● 老後が心配 ● 船賃が高い ● 観光客優先で船に乗れないことがある ● 欠航対策と安定運行を ● 空港を再開して欲しい ● 大型船の導入を ● 港までの送迎を ● 航路を町営で ● 大型船の故障が多い ● 石垣日帰りでの時間が不足 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路の修繕 ● 火葬場が欲しい ● 土地改良工事のために大雨で床下浸水するようになった

地区名	⑥地域での活動(行事)について	⑦住宅問題に関して	⑧就労問題に関して
竹富	<ul style="list-style-type: none"> ● 強制的な行事参加 ● 伝統芸能の衣装の費用補助を ● 博物展示の整備資金補助 	<ul style="list-style-type: none"> ● 島で仕事をしたいが住む家がない ● 公共住宅がないので若い人が移住できない 	
黒島		<ul style="list-style-type: none"> ● 借家がないので島に住めない ● リニューアルの工事費が高い ● 若い人が住めないので人口が減っていく 	
小浜			<ul style="list-style-type: none"> ● 有資格者でも島内に就労先がない
新城			
西表東部	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動で地域への丸投げが多いのではないか ● 地域・学校の行事が多く、仕事を休むのが大変 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心して住める住宅を作つて ● 定年で社宅を出た時のこと擔心配 ● 住宅の修理がしてもらえない ● 空いている家を探して転々としている ● 民間アパートは家賃が高い ● 町営団地が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 離島した人が島に戻つてこれず、人材が育ちづらい ● 人や物の輸送費の軽減をしてほしい ● 農業支援として補助金を全農家に出してほしい
西表西部	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統行事への強制参加は不得意もあるので対策が必要 ● 学校、保健所、地域の行事が多くすぎる ● PTA の負担が多い ● 公民館長と仕事の両立が難しい ● 派閥がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地の解放や住宅増を ● 誰でも入居できる安価な住宅を ● 住宅難である 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間関係が難しい ● 観光業、農業ともに夏に売れ上げが集中している ● 従業員が不足している一方若い人の仕事がない
鳩間		<ul style="list-style-type: none"> ● 移住者支援の前に高齢者住宅のシロアリ対策などの充実を 	

波照間 波照間	<ul style="list-style-type: none"> ● 行事への強制参加をやめて欲しい ● 移住者の声がない ● 老人会がなくなって男性の出かける機会が減った 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家があっても借りられない ● 町として空き家バンクや空き地対策を 	<ul style="list-style-type: none"> ● 内地からの移住者は漁業者用の国の補助金を受けられない
------------	---	---	--

地区名	⑨防災問題に関して	⑩石垣島での宿泊先に関して	⑪買い物など日常生活に関して
竹富		<ul style="list-style-type: none"> ● 安い宿泊所を用意してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 野菜や豆腐が手に入りにくい ● 石垣島に行かずとも自宅で電話などで注文できるシステムがほしい
黒島			
小浜	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難訓練シミュレーションがないので不安 		
新城			
西表東部	<ul style="list-style-type: none"> ● 大原の避難場所に屋根のある建物がない ● 避難場所の整備が必要 ● 防災無線の修理が必要 		
西表西部	<ul style="list-style-type: none"> ● 地震が多いのに防災体制が整っていない ● 公民館が避難場所になっているが適切な避難場所と言えるのか ● 排水溝に泥がある。危機管理が不十分 ● 避難所にプレハブや仮設トイレ、備蓄食品が欲しい ● 緊急避難場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 石垣での宿泊先がほしい ● 石垣の宿泊費が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物価が高い ● 地域に売店がない ● 石垣島に行く機会が多くすぎる
鳩間			<ul style="list-style-type: none"> ● 生活必需品に必ず輸送費がかかり出費がかさむ
波照間		<ul style="list-style-type: none"> ● 日帰りができるのに安く泊まれる場所もない ● 障がいのある人が使いやすい宿泊先がない ● フェリーバスも宿泊代も高い 	

第3章 “結”カフェの 結 果

1 “結” カフェの概要

(1) “結” カフェの目的とねらい

アンケート調査の結果を共有し、それぞれの島(地域)の住民の意見を直接お聞きすること

- ① アンケート結果や住民が住んでいる地域の状況について主体的に話し合う場を提供します。
- ② 福祉課題の解決や求められているサービスの実現のためにどのような取り組みが必要かを考えるきっかけとします。
- ③ 参加者を中心に、引き続き島(地域)の福祉課題を考える組織づくりにつなげます。

(2) “結” カフェの内容

① 参加者

- それぞれの島(地域)に在住、在勤、通学している方全員を対象にし、自由参加とします。

② 話し合いのテーマ

- アンケート調査結果への質問、感想、意見交換
- 福祉課題の解決のために島(地域)でできること、そのために行政に支援してほしいこと
- 引き続き島(地域)の福祉の向上のために話し合う機会や組織をどう作るか

③ 開催地域、開催日、参加者数

島・地区名	対象地域	会場	開催日	参加者数
竹富島	竹富	まちなみ館	2019年3月8日(金)	15名
黒島	黒島	黒島伝統芸能館	2019年3月6日(水)	13名
小浜島	小浜・細崎	小浜公民館	2019年3月15日(金)	17名
西表島 東部	大原・豊原・大富・古見・ 美原・由布・高那	離島振興総合 センター	2019年3月13日(水)	17名
西表島 西部	(上原) 船浦・上原・ 中野・住吉・浦内	上原デンサ会館	2019年3月12日(火)	16名
	(西表) 祖納・干立・ 白浜・船浮	祖納公民館	2019年3月11日(月)	13名
鳩間島	鳩間	鳩間島コミュニティ センター	2019年4月23日(火)	19名
波照間島	波照間	農村集落センター	2019年3月4日(月)	15名
合計		8会場		125名

④ 実施手法と次第

- 自由討論方式とし、それぞれの参加者から出されたテーマを全員で論議しました。
- 竹富町福祉支援課から開会のあいさつを行い、地域医療・福祉研究所が討論のコーディネートを行いました。最後に竹富町福祉支援課と地域医療・福祉研究所がまとめを行いました。

2 “結” カフェのまとめ

(1) “結” カフェでいただいた意見のまとめ

“結” カフェで出された意見の特徴をまとめると以下のようになります。具体的な内容は、資料編2の

“結” カフェの島(地域)別実施報告をご覧ください。

① アンケートの感想について

- 大規模で詳しい内容の調査で、住民の声が良くわかる。
- 報告会で説明してもらうのは初めて。報告書を見ただけではわからないことがある。今回はアンケート結果がよくわかった。

② 竹富町での福祉介護政策や事業のあり方についての意見

- 島ごと、地域ごとに違った福祉政策が必要だということがよくわかった。
- 島の中の介護事業者が少ないので、住民主体の事業やボランティアを増やす必要がある。
- 計画されている総合型福祉施設の設計や内容に住民の意見を反映させることが大事になる。

③ 必要な事業についての意見

- 「移動サービス」「配食サービス」「家事支援サービス」など介護保険の対象にならない軽度なサービスを住民の手で作る必要があるのではないか。
- デイサービスやサロンを広げて欲しいという声は全地域で共通している。地域につながりがあるので、集まる場所や機会があれば、在宅のまま島に住み続けることができる。

④ その他の意見

- 人材の確保が共通の課題。移住者や町内の有資格者が働くような環境をつくることが必要となっている。住宅や研修なども福祉の専門職を確保する上で大事な条件になる。
- 住民が福祉について話し合う仕組みや組織が必要になる。行政頼りだけでは、地域の福祉の充実は難しい。“結” カフェをやって見て自分たちで福祉のことを話し合える機会が必要なことがよくわかった。

(2) “結” カフェで出た島(地域)別の取り組み案

島・地区名	配食サービス	送迎サービス
竹富島	ゆくい処のキッチンの拡充ができれば、月1回ぐらいから配食ができるのではないか	ゆくい処の利用者送迎をお願いしている方にその他の送迎をお願いできないかを「命果報の会」で検討
黒島	個人で火・木曜に10食程度実施しているが土曜か日曜にあと1日配食してほしい。ボランティアが増えれば可能かもしれない。	石垣在住の看護師さんが石垣島での送迎をしてくれているので助かっている。 福祉車両を持っている人に港までの送迎などが有料でお願いできるようになると良いのではないか。
小浜島	石垣の「まごころ弁当」をつかっているが、不満などは聞かない。	特に要望は出ていない。
西表島 東部	玉盛スーパーが週5日配食をしている。	「スオウの木」のサービスがあり助かっているが休日や時間外が問題。福祉タクシーがあれば良いのではないか。タクシーチケットの補助などがあれば実現できると思う。
西表島 西部(上原)	介護食以外の食事のサービスがあれば良い。自炊で栄養バランスの悪い人がいる。	路線バスが便利。学校の送迎バスを空いている時間に高齢者・老人会などで利用できるようにならないか。
西表島 西部(西表)	南風見苑の配食サービスがある。介護食なので普通のご飯がいいという人もいる。	南風見苑のサービスがあるが、土日などの利用ができない。福祉タクシーや福祉レンタカーがあると良い。
鳩間島	現状では必要ないと考えている。	港までが近く、要望がない。
波照間島	すむづれの家の配食サービスがあるので安心している。	すむづれの家の送迎サービスがあり、便利だ。

島・地区名	サロン活動	施設サービス
竹富島	「まーまーす」での百歳体操が評判がいいのでさらに普及させたい。	3年後にできる複合施設の中にどのような施設サービスを入れるかを住民参加で早めに検討したい。
黒島	ふれあいサロンが現在休止している。今後「食事なし」などでボランティアの負担を軽くして再開してほしい。引きこもりの対策やいざという時の安心のためにサロンは必要。	石垣島の特養になかなか入れない。老健では退院を迫られるので、施設を利用できる方策を示してほしい。
小浜島	百歳体操を進めたいと思っている。以前やっていたサークル(味噌作りなど)の活動が途絶えている。	複合施設の建設の時に島民の意見を反映させることが大事。波照間島の「すむづれの家」のような施設ができるといい。
西表島 東部	当初3回だった「さみん」のデイサービスが2回に減ったので増やして欲しい。 あしながおばさんの会のサロンや大富の新しいサロンがあるが関わっている人が重なっている。	西部には南風見苑があるが東部にはない。建設が予定されている複合施設に期待している。
西表島 西部(上原)	地域別にサロンや百歳体操を行っている。ヘルスマイトの講習を受けた人を中心に行きたいのではないか。	西部の人口からすると上原地域にもう一つ診療所があつてもいと思う。 室内ゲートボール場などの健康増進のための施設が欲しい。
西表島 西部(西表)	しまっている民宿などを活用してサロンや施設ができないか。	診療所と介護施設の連携は波照間の例が参考になる。入居者の層から考えると南風見苑の医療要求度の高い利用者と石垣島の医療要求度の低い利用者を入れ替えることも考える必要があるのではないか。
鳩間島	100歳体操を実施し、その延長線としてカラオケやでゆんたくができるといい。	いざという時に西表西部や石垣島に行ける船便があることが大事で、施設への要望は出なかった。
波照間島	「すむづれの家」で実施している。利用者は、介護対応のデイサービスとの区別などは考えず、カレンダーに印をつけて「すむづれの家」からの迎えの来るのを楽しみに待っている。	小規模多機能の運営は大変だが、波照間に住み続けるためには絶対に必要なサービス。 看取りもできている。

島・地区名	認知症対応	在宅支援
竹富島	これまで認知症カフェを不定期で3回実施した。 今後も続ける必要がある。	訪問介護を受けている人は少ないと思う。掘り起こせば利用が増えるかもしれない。
黒島	特別な施設が必要だとは思わない。早く家族が気付けば、医療で対応できる。デイサービスなどで認知症対応を行うことが現実的。	ヘルパーの入っている家は少ない。 島での看取りは経験がない。家族だけでは看きれないとと思う。
小浜島	認知症の人は少ないが家族の負担が大変になっている。家族を支援するための仕組みや施設が必要だ。	泊まりのサービスがあれば在宅で過ごせる期間が増える。
西表島 東部	認知症の人も「さみん」に通って刺激になっている。	今訪問リハビリは石垣島から来てもらっているが、リハビリスタッフがいれば、もっと在宅の支援ができる。
西表島 西部(上原)	認知症の目立つ人はいない。ゲートボールなどが認知症予防に役立っていると思う。	在宅サービスは少ない。家族が面倒を見れなくなると施設に入ることが多いのではないか。
西表島 西部(西表)	認知症対応での意見は出なかった。	ヘルパーの資格保有者が多いので看取りも可能ではないか。石垣からサービスを呼ぶと高くなる。島内いろいろな在宅支援のサービスがあるといい。
鳩間島	現役の人が多く、認知症の目立つ人は少ない。	月2回ぐらい医師が往診に来てくれるといいと思う。 訪問介護を受けている人はいない。
波照間島	「すむづれの家」で対応ができている。	「すむづれの家」の小規模多機能型居宅介護で訪問も行なっており、各家庭のこともよくわかっているので安心している。

島・地区名	福祉を支える仕組み	その他
竹富島	消防団がいざという時に活動してくれるので安心。 「命果報の会」が島の福祉のことを考えて活動している。この会で今後の検討を進めていくのが良い。	人材確保が最大の課題。 竹富島は、重要伝統的建造物群保存地区なので家が簡単に建てられない。介護資格のある移住者の募集は住宅が無ければ難しいのではないか。
黒島	今定期的に福祉を話す場がない。この“結”カフェの参加者で定期的に話し合つたらどうか。	飲酒など男性の健康問題が心配。娯楽がなく酒に走っているのではないか。 医療や介護に关心を持つ人を増やす必要がある。
小浜島	行事が多くてボランティアをするのが難しい。「小浜島ばあちゃん合唱団」「グランドゴルフ同好会」などで高齢者が元気に過ごしている。この仕組みを大事にしたい。	人材の確保を進める必要がある。 子供達に小浜島の行事などを見せて将来小浜島に帰ってくるようにしたい。 専門職の確保のための住宅確保などが必要。
西表島 東部	月1回のケア会議をやっている。この場でケース検討をしている。医療と介護の連携はできている。	西部に比べて介護サービスが少ないと思う。ショートステイなどで家族の負担を軽減することが必要となる。
西表島 西部(上原)	ヘルスマイトを中心に福祉を考える会ができるないか。	町営住宅の適切な運用が望まれる。 介護保険対応外のサービスが少ないのでないか。
西表島 西部(西表)	高齢者と移住で仕事をしている人が多く、何か始めるときに中心となる人がいない。	島の福祉が充実すれば、移住者が親を呼び寄せることもできる。サービスの拡大が求められる。 スポーツ施設の充実が望まれる。
鳩間島	現在老人クラブもサロンもない。元気な高齢者への100歳体操の普及を通じて介護予防などが始まれば良いのではないか。	冬場の船便が安定し、日帰りができるようになれば、島での暮らしやすさが向上する。現状では介護サービスを必要とする人は島外に出るしかない状況。
波照間島	診療所と「すむづれの家」の連携が密に取れており、島の福祉を支えている。	島に火葬場がないので船で遺体を運ぶか、観光客と一緒には心苦しいので「靈柩船」が欲しい。 空き家対策では、水回りなどの工事を安くできれば可能だと思う。

第4章 ぱいぬ島共生意識・要求調査の まとめ

1 全体のまとめ

竹富町の町民は、いま幸せであり、地域に愛着や親しみを感じています。移住者も含めて今後も住み続けたいと思っていますが、一方で、病気や介護が必要になった場合に大きな不安を抱えています。

島内で利用できる高齢者施設や高齢者向けのサービス、最期を島内で迎えられるための施設が切実に求められていると言えます。

求められるサービスや施設は、島(地域)ごとに違いがあり、住民の要望をよく聞いて住民が参画して内容を検討することが必要です。

(1) 竹富町の町民は地域に愛着や親しみを感じ、今後それぞれの島に住み続けたいと思っています。その思いは、島に長く住み続ける人も移住者の人も同じです。

竹富町の町民は、島で生まれた人も移住者も島に住み続けたいと考えています。両者の間に顕著な差異は見られませんでした。

“結”カフェでは、移住者の方から「好きで移住してきたのだから島にすみ続けたいと思うのは当然」という意見が寄せられています。「できれば親を呼び寄せて暮らしたい」という方もいらっしゃいました。同時に「島に住み続けるための施設やサービス」が決定的に重要であることがわかりました。

(2) 竹富町の9割の町民は今の状況を「幸せ」と感じています。

竹富町の町民は、全国の自治体と比較しても幸福感が高いことがわかりました。“結”カフェでの論議では、「高齢者は戦中戦後にとても厳しい暮らしをしているので、それと比べているのではないか」「みんな高校入学のために島外に出る。外で暮らしてみて便利さよりも自然環境が大事なことがよくわかっているのではないか」などの意見が寄せられました。

(3) 竹富町の町民の約7割は島内で最期を迎えたいと思っています。

竹富町には火葬場がありません。しかし全ての島(地域)で「島で最後を迎えたい」という人が多数でした。“結”カフェでは、「家で家族に囲まれて死にたい」「家の周りの自然を最後まで見てみたい」などの意見が出されました。

(4) 竹富町の町民は自分が病気や介護が必要になった場合の不安を抱えています。

病気や介護になった時の不安の内容は、「家族の負担が増えること」が9割近く、「お金がかかること」が8割以上となっています。特に若い世代に、「家族に負担をかけたくない」と考える人が多い傾向です。

(5) 竹富町の町民の多くは高齢者施設が島にあれば利用したいと思っています。

要望の多さは、以下の順番になっています。

- ①「訪問介護を利用したい」56.7%
- ②「困ったときに泊まれる施設」54.6%
- ③「認知症対応型施設」48.3%
- ④「サービス付き高齢者住宅」45.5%
- ⑤「気軽に行けるサロン」45.3%

(6) 竹富町の町民は高齢になったときに使える送迎や家事援助などのサービスを希望しています。

どの島(地域)でも「買い物に行くための送迎・同行」61.3%、「診療所に行くための送迎・同行」67.8%、その他「港までの送迎」、「家事援助サービス」、「庭の清掃」を利用したいという回答が6割を超えています。

お金を払ってでもちょっとした移動支援や家事の手伝いなどのサービスを希望している人がたくさんいらっしゃいます。

(7) 島(地域)ごとに福祉に関する意識や必要なサービスへの要求が大きく違っています。

町全体で福祉施策を進めると同時に、島(地域)ごとの要望や特徴に合わせた施設やサービスの提供が求められており、丁寧な要望の把握や状況の変化への対応が重要となると考えられます。

2 島（地域）別のまとめ

アンケート調査の結果や島（地域）ごとの“結”カフェで出された意見をまとめると以下のようになります。なお、医療や福祉・介護などに直接関連のない事項は省いています。

(1) 竹富地区

- ① アンケート結果でも、“結”カフェでも介護者の負担軽減に関する関心や要望が高く、ショートステイなど「泊まれる施設」についての要望が多く出されました。
- ② デイサービスや百歳体操などには多くの高齢者が参加しています。
- ③ 配食サービスを島内で実施したいという要望が強く、そのためのキッチンの拡大などの要望があります。
- ④ 島民の中にある「命果報の会」が介護サービスや福祉について論議し、具体的な送迎サービスなどの検討を行っています。

(2) 小浜地区

- ① 持ち家率が高く、自宅への訪問サービスを望む人が多く、在宅での医療や福祉サービスの強化が求められています。
- ② サロン活動や百歳体操、グランドゴルフ同好会、小浜島ばあちゃん合唱団などに多くの高齢者が参加しており、孤立は少ないと考えられます。
- ③ 島ですみ続けるためには、泊りの施設が必要だと考えられます。以前波照間島の「すむづれの家」のような小規模多機能型居宅介護を検討した時期もありますが、経営や人材上の問題でできていません。
- ④ デイサービスの回数を増やして欲しいという要望が多く、保育や子育ても含めて複合型福祉施設への期待が高くなっています。

(3) 黒島地区

- ① 配食サービスへの期待が高いのですが、ボランティアが減って1人の人に負担がかかっているため将来に対する不安が広がっています。
- ② 畜産業などに就労している高齢者が多く、孤立への不安や施設や介護サービスへの要求度はそれほど高くありませんでした。
- ③ 石垣島への通院や介護施設へ通うための島内の移動手段やフェリーの利用条件（運賃など）などの要望が強く述べられています。

第4章 ぱいぬ島共生意識・要求調査のまとめ

- ④ 以前実施されていたゆんたくできるサロンが現在中止されているため、昼食などをなくしても高齢者が集まるれる場を復活させて欲しいとの要望が出されています。
- ⑤ 健康増進の施設への要望が高く、診療所のメンバーがテニスコートの整備などをしています。
- ⑥ 石垣市に黒島出身の看護師さんがおり、その人に石垣島でのいろいろなサポートをお願いしてとても助かっているという声がありました。

(4) 西表東部地区

- ① 認知症対応の施設や、いざという時に泊まれる施設、リハビリサービスについての要望が多くなっています。
- ② 介護の施設がないため、施設の要望が高くなっています。特に町庁舎の移転に合わせて現状のデイサービスの建物に段差が多いことなどから、子育ても含めた複合型福祉施設への期待が高まっています。
- ③ 「スオウの木」の送迎サービスがありますが、休日や時間外のサービスの要望が出されています。
- ④ 週2回に減ったデイサービスの3回への復活を望む声が多く出されました。
- ⑤ ボランティア主催のサロンが開催されていますが、人手不足などが課題になっています。
- ⑥ 介護を担う人材の確保を課題としてあげる人が多くいます。

(5) 西表西部地区

- ① 町の人口の3割を超える住民が居住していますが、人口比で医療・福祉のサービスが少ないのが特徴です。また、診療所と町唯一の特別養護老人ホームがありますが、診療所は西表地区にあり、特養は上原地区にあるため連携などに不安や課題があります。
- ② 上原と西表の2つの地区にそれぞれ医療や介護の施設が欲しいという要望があります。
- ③ 歯科も含めて医療への要望が高くなっています。
- ④ 欠航時の東部地域への移動手段、船便などの交通に関する要望が高くなっています。
- ⑤ ほとんどの介護事業が、特別養護老人ホームの南風見苑に委託されているため、配食や送迎、サロンなど軽度なサービスは、民間でできないかとの要望があります。
- ⑥ “結”カフェでは、地域に資格者はかなりいるが介護の仕事に就いていないのはなぜか、就けるようにするために何が必要か、などが論議になりました。
- ⑦ 南風見苑の介護職員の確保が課題だと意見が出されました。
- ⑧ 民家を改修して小規模多機能のようなサービスができるかとの意見や、そういう取り組みをやりたいという意見がありました。

(6) 鳩間地区

- ① 介護・医療とも島内にサービスがなく、不満感が高くなっています。
- ② 往診や医師の訪問診療回数を増やしてほしいとの要望があります。
- ③ 冬場を中心に船便の欠航対策、石垣島や西表西部に日帰りで行ける船便の時間変更への要望が高くなっています。
- ④ 医療や健康への不安、高齢者の一人暮らしへの不安、住宅改修への要望が高くなっています。

(7) 波照間地区

- ① NPO 法人の提供するサービスへの満足度が高いのが特徴です。
- ② 島で最期を迎えるという要望が高く、それを実現するために、看取りの強化や火葬場の問題、「靈柩船」などの要望が出ています。
- ③ 石垣島から距離があるため、いざという時の交通の確保に不安が高くなっています。また、飛行場の再開、船賃の軽減などに関する意見と要望が多くなっています。
- ④ 石垣島での宿泊場所や補助に関する要望が多くだされています。

3 ぱいぬ島共生意識・要求調査から見えてきた課題

今回の「ぱいぬ島共生意識・要求アンケート調査」と「ぱいぬ島“結”カフェ」の取り組みから以下のような課題が見えてきました。

(1) 島(地域)ごとに特徴のある重点化した福祉施策が求められる

島(地域)ごとの地勢的、経済的、歴史的な諸条件の違いにより、求められる福祉サービスにも大きな違いがあります。また、同じ総合型福祉施設についてもその中身は大きな違いがあると考えられます。

そこで何より、それぞれの島(地域)の特徴をよく理解した上で重点化した施策を立案し、全町的な合意のもとに実現する姿勢が求められます。

逆に、一律の福祉サービスでは、効果不足や過不足を生む可能性が高くなると考えられます。

(2) 福祉介護サービスの提供者の確保が求められる

竹富町の全島(地域)で、人材の確保、サービス提供者(企業、NPO、ボランティア、サークルなど)の確保が喫緊の課題となっています。必要なサービスや施設が明確になってもそれを安定的に維持し、サービスを供給する担い手なしには実現できません。

特に、それぞれの島(地域)に必要な福祉サービスは、「地産地消」で町内の福祉企業・団体が行うことが求められます。そのため町民が福祉関連のサービス分野で起業することの支援や経営者の育成が大事になっています。

(3) 地域共生社会実現のためには、島民の主体的参画が不可欠となる

まだ共生社会に対する町民の関心は高いとは言えません。住民が高齢者や障がい者などの福祉に関心を持ち理解を深めることが必要です。そのためには、島民が主体的に地域福祉に関わる機会を増やすことが求められます。

そのための学習や研修の機会を増やし、住民主体の福祉を考える組織を作るなどの取り組みが必要です。そのことによって竹富町でも起こる超高齢社会に島民が主体的に取り組めるようになります。

(4) 島に暮らし続けるために当面必要なことは、軽度な福祉サービスの確保である

特養などの高度な介護福祉サービスは、専門的な機関が担う必要がありますが、離島を抱える竹富町では、島(地域)ごとに地域の人々が担う、比較的軽度な福祉サービスが現実的で持続可能だと考えられ

ます。

具体的には、送迎サービス、配食サービス、サロン活動、日常生活支援総合事業などです。さらに、波照間島のようにNPOなどを組織して小規模多機能型居宅介護を進めることも可能です。

(5) 福祉の人材の確保と育成は、全島(地域)共通の最重要課題となっている

福祉の人材不足が町内でのサービス提供の足かせとなっています。町内に相当数いることが今回のアンケート調査で確認されたのでその人たちが介護事業に参加するために必要な施策を検討する必要があります。

また、福祉関連サービスの絶対数が不足していること、専門職が不足している現場からは、町外、沖縄本島や本土から積極的に人材を確保する必要があります。短期間でも採用する形態や観光に関心のある有資格者の勧誘などの重点的施策が必要となります。

4 今後の取り組みへの提言

(1) いくつかの島(地域)を選んでの地域共生社会のモデルを作ります

調査結果をもとに、いくつかの島(地域)を選んで、モデル的に取り組みを開始します。

まず、ワークショップを開催して、住民の主体的な参加の条件を探り、課題の明確化、優先順位、取り組み順位、担当者、必要な資源などを決めます。

町としてその取り組みをどう支援するか検討します。

(2) 人材の確保・サービス提供者の育成に取り組みます

町内の有資格者等が福祉サービスに従事できるような条件整備を行います。

同時に、専門家に依頼する等の方法も活用して町外からの専門職の確保を強化します。

町内で医療や福祉に關係する人材を対象にした交流会や研修会を開催し、情報交流や人材の育成を行います。将来的には、町の奨学金等を活用して資格を取った町民が町内の福祉を支えられる体制を目指します。

竹富町介護保険サービスおよび保険外サービス状況一覧（2019年2月現在）

	介護保険サービス								介護保険外サービス		予防事業	
	居宅介護 (予防) 支援事業所	通所介護 (デイサービス)	訪問介護	訪問看護 訪問リハビリ	介護老人福 祉施設	小規模多機能型居宅介 護	福祉用具	配食 サービス	お出かけ サポート 事業	ふれあいサロン	ぴんぴん体操	いきいいき 100歳体操
石垣市 からの派遣などで 実施	「指定居宅介護 支援事業所さみ ん」(竹富町社 協)他、石垣市内 の事業所計9か 所利用		「訪問介護ス テーションさみ ん」(竹富町社 協)他、石垣市 内の事業所計4 か所利用	・訪問看護ステーション ・訪問看護ステーション太陽の里 ・八重山病院(訪問リ ハ)			・八重山介護 サービス ・シルバープラザ 石垣 ・ふたば介護 サービス					
竹富		「さみん」竹富町社協(月 ~金)						ほつともと石垣 八島店 (週5回)		・ほほえみの会(第1水) ・まーまーず(第2~4木)	よんな~会(毎週水)	
黒島		「さみん」竹富町社協(月 水金)						ボランティアグ ループ 「ふうがある」(火・ 木)	休止中	ぴんぴんガールズ(毎 週火)	黒島地区(毎週木)	
小浜	合同会社 通所介護事業所 「くま」 男性:木 女性:金 混合:月・水							まごころ弁当石垣 店 (月・火・水・金・ 土)	うふたき・なかよし会(月1回)		・ちゅらさん会(毎週 土) ・細崎地区(毎週火)	
西表東		「さみん」竹富町社協(月 火木)						玉盛スーパー(週 5回)	共同作業所 「オスカの 木」	・あしながおばさんの会(第2月) ・大原サロン(第2水) ・こみゆサロン(第2水) ・豊原カラオケサロン(月2回) ・大富公民館サロン(第3水)		・大富すいよう会 (毎週水) ・オスカの木 (毎週月) ・豊原老人クラブ (毎週水) ・大原(毎週水) ・古見地区(毎週月) ・美原幹生きクラブ (毎週日)
西表西		デイサービスセンター南 風見苑(地域密着型) (月~金)		特別養護老 人ホーム「南 風見苑」			南風見苑 (月~金)	南風見苑	・【白浜】人生ゆいまーるの会 (第3木) ・【祖納・干立】結の会(第3木)		・上原ニコニコ会 (毎週水) ・干立野椰子の会(毎 週火) ・祖納(毎週火) ・舟浮地区(毎週月)	
鳩間									休止中			
波照間					老人共同施 設「すむづれ の家」		すむづれの家 (月・水・金)		・すむづれ会 ・ハイビスカスはあもにい (60~70代)月1回	はてるまで(毎週水) 保健センター	・波照間(毎週水)北 部落会館	

ぱいぬ島共生意識・要求調査報告書【本編】

発行日 平成31（2019）年4月

発行 竹富町 福祉支援課

〒907-8503

沖縄県石垣市美崎町11番地1

TEL (0980)82-6191(代)

調査 一般社団法人 地域医療・福祉研究所

〒164-0013

東京都中野区弥生町1-54-17-101

TEL (03)4283-4360